静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第116集

元島遺跡 I

(遺物・考察編 2 -古墳時代-)

平成6・7・8・9・10年度 太田川住宅宅地基盤特定治水施設等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

1999

財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第116集

元島遺跡 I

（遺物・考察編２ -古墳時代-）

平成６・７・８・９・10年度 太田川住宅宅地基盤特定治水施設等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

1999

財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所

巻頭写真１　古墳前期の土器群

例　　言

1　本書は、静岡県磐田郡福田町豊浜字一本松1634番地他に所在する元島遺跡発掘調査報告書遺物編の第2分冊で、元島遺跡（遺物・考察編2　－古墳時代－）として刊行するものである。

2　調査では以下の方々、団体に御指導、御助言を賜った。厚くお礼申し上げる。（五十音順、敬称略）
浅羽町教育委員会、磐田市教育委員会、福田町教育委員会、袋井市教育委員会、浅野　毅、岩木智絵、菊田　宗、柴田　稔、白澤　崇、鈴木隆夫、塚本和弘、永井義博、中野　宥、巻田克彦、早川保子、松井一明、森井雅彦、守屋豊人、八木勝行、山口和夫、山本恵一、吉岡伸夫、渡井英誉

3　本書の作成、執筆は、岩本　貴がおこなった。また、遺物写真撮影については、巻頭土器集合写真（4×5判）を楠華堂　楠本真紀子が、巻末の遺物写真（6×7判）を技術職員　杉山すず代が行った。

4　発掘調査資料は、すべて静岡県埋蔵文化財調査研究所が保管している。

5　本書の編集は、静岡県埋蔵文化財調査研究所がおこなった。

凡　　例

本書の記載については、以下の基準に従い統一を図った。
1　出土遺物は通し番号を付して取り上げ、土器・P、石器・S、木器・Wの略号を付した。
2　挿図中の番号は、以下の通りとした。（例　第2図の11番　→　2-11）
3　出土遺物の実測図の縮尺は、原則として土器1/3、石器1/1、1/2、木器1/3としたが、一部異なっているものもある。
4　土器の色調は、新版「標準土色帳」（農林水産技術会議事務局監修　1992）を使用した。

目　　次

巻頭写真　古墳前期の土器群
例言
凡例
第Ⅰ章　土器
　第１節　遺構出土土器 …… 1
　第２節　包含層出土土器 …… 9
　　1　弥生時代中期
　　2　弥生時代後期
　　3　古墳時代前期
　　4　古墳時代前期後半～後期
　　5　奈良時代
第Ⅱ章　土製品 …… 67
第Ⅲ章　石器・石製品 …… 72
第Ⅳ章　木器他 …… 72
第Ⅴ章　まとめ …… 94

挿図目次

第１図　遺構出土土器実測図
第２図　遺構出土土器実測図
第３図　遺構出土土器実測図
第４図　遺構出土土器実測図
第５図　遺構出土土器実測図
第６図　遺構出土土器実測図
第７図　包含層出土土器実測図
第８図　包含層出土土器実測図
第９図　包含層出土土器実測図
第10図　包含層出土土器実測図
第11図　包含層出土土器実測図
第12図　包含層出土土器実測図
第13図　包含層出土土器実測図
第14図　包含層出土土器実測図
第15図　包含層出土土器実測図
第16図　包含層出土土器実測図
第17図　包含層出土土器実測図
第18図　包含層出土土器実測図
第19図　包含層出土土器実測図
第20図　包含層出土土器実測図
第21図　包含層出土土器実測図
第22図　包含層出土土器実測図
第23図　包含層出土土器実測図
第24図　包含層出土土器実測図
第25図　包含層出土土器実測図
第26図　包含層出土土器実測図
第27図　包含層出土土器実測図
第28図　包含層出土土器実測図
第29図　包含層出土土器実測図
第30図　包含層出土土器実測図
第31図　包含層出土土器実測図
第32図　包含層出土土器実測図
第33図　包含層出土土器実測図
第34図　包含層出土土器実測図
第35図　包含層出土土器実測図
第36図　包含層出土土器実測図
第37図　包含層出土土器実測図
第38図　包含層出土土器実測図
第39図　包含層出土土器実測図
第40図　包含層出土土器実測図
第41図　包含層出土土器実測図
第42図　遺構及び包含層出土土製品実測図
第43図　遺構及び包含層出土土製品実測図
第44図　包含層出土石器実測図
第45図　包含層出土石器実測図
第46図　遺構及び包含層出土木器実測図
第47図　遺構及び包含層出土木器実測図
第48図　遺構及び包含層出土木器実測図
第49図　遺構及び包含層出土木器実測図
第50図　遺構及び包含層出土木器実測図
第51図　遺構及び包含層出土木器実測図
第52図　遺構及び包含層出土木器実測図
第53図　遺構及び包含層出土木器実測図
第54図　遺構及び包含層出土木器実測図
第55図　遺構及び包含層出土木器実測図
第56図　遺構及び包含層出土木器実測図
第57図　遺構及び包含層出土木器実測図
第58図　遺構及び包含層出土木器実測図
第59図　遺構及び包含層出土木器実測図
第60図　遺構及び包含層出土木器実測図
第61図　遺構及び包含層出土木器実測図
第62図　遺構及び包含層出土木器実測図
第63図　遺構及び包含層出土木器実測図

挿表目次

第1表　出土土器一覧表
第2表　出土土器一覧表
第3表　出土土器一覧表
第5表　出土土器一覧表
第6表　出土土器一覧表
第7表　出土土器一覧表
第8表　出土土器一覧表
第9表　出土土器一覧表
第10表　出土土器一覧表
第11表　出土土器一覧表
第12表　出土土器一覧表
第13表　出土土器一覧表
第14表　出土土器一覧表
第15表　出土土器一覧表
第17表　出土土器一覧表
第18表　出土土器一覧表
第19表　出土土器一覧表
第20表　出土土器一覧表
第21表　管状土錘グラフ
第22表　出土土製品一覧表
第23表　出土土製品一覧表
第24表　出土石器一覧表
第25表　出土木器一覧表

写真図版目次

図版1　遺構出土土器
図版2　遺構出土土器
図版3　遺構出土土器
図版4　遺構出土土器・包含層出土土器
図版5　包含層出土土器
図版6　包含層出土土器
図版7　包含層出土土器
図版8　包含層出土土器
図版9　包含層出土土器
図版10　包含層出土土器
図版11　包含層出土土器
図版12　包含層出土土器
図版13　包含層出土土器
図版14　包含層出土土器
図版15　包含層出土土器
図版16　包含層出土土器
図版17　包含層出土土器
図版18　包含層出土土器
図版19　包含層出土土器
図版20　包含層出土土器
図版21　包含層出土土器
図版22　包含層出土土器
図版23　包含層出土土器
図版24　包含層出土土器
図版25　包含層出土土器
図版26　包含層出土土器
図版27　包含層出土土器
図版28　包含層出土土器
図版29　包含層出土土器
図版30　包含層出土土器
図版31　包含層出土土器
図版32　遺構及び包含層出土土製品
図版33　遺構及び包含層出土土製品、石器、石製品
図版34　遺構及び包含層出土石器
図版35　遺構及び包含層出土木器
図版36　遺構及び包含層出土木器
図版37　遺構及び包含層出土木器
図版38　遺構及び包含層出土木器
図版39　遺構及び包含層出土木器
図版40　遺構及び包含層出土木器
図版41　遺構及び包含層出土木器
図版42　遺構及び包含層出土木器
図版43　遺構及び包含層出土木器

第Ⅰ章　土器

第1節　遺構出土土器（4区）

ここでは、遺構出土の土器について報告する。遺構出土土器は、いずれも4区のものである。土器の形態や調整をはじめとする土器個別の記述については、特筆べき内容以外は主として一覧表によることとした。

SH2

1-2は、内傾する立ち上がりを持つ模倣坏、1-4は、頸部がく字に屈折する鉢である。前者は、古墳後期、後者は、古墳前期に比定される。

SH10

1-1は、椀型の坏部と透かしを穿つ短い脚部を有する小型の高坏である。古墳前期に比定されよう。

SH19

1-3は、小型甕である。口唇部に面を有するが、下端部にキザミを持たないことから、古墳前期に比定される。

SH24

1-5は、S字甕である。古墳前期に比定されよう。

SH29

1-6は、胴部に櫛描紋を施す細頸壺である。胴部の紋様は、3段の横位櫛描直線紋を施した後、櫛描紋間をミガキ、直線及び波状のヘラ描紋で櫛描紋を縦位に区画する。このような形態、紋様構成は、東海西部に系譜が求められる。弥生中期後葉に比定されよう。

SD3

1-8は、細頸壺の口頸部である。細長い頸部から受け口状に開く口縁部を有し、頸部外面に櫛描直線紋を重畳させる。弥生中期中葉～後葉に比定されよう。

SD6

1-9・10は、壺胴部下半の破片である。いずれも縦位を基調とした紋様を施す。1-11は、胴部がほとんど張らず口縁部に最大径を有する甕である。これらは、弥生中期後葉に比定される。

SD8

1-12は、ほぼ完形の細頸壺である。口縁部の外反が弱く、頸部～胴部上半には櫛描紋を施す。弥生中期後葉に比定されよう。

SD17

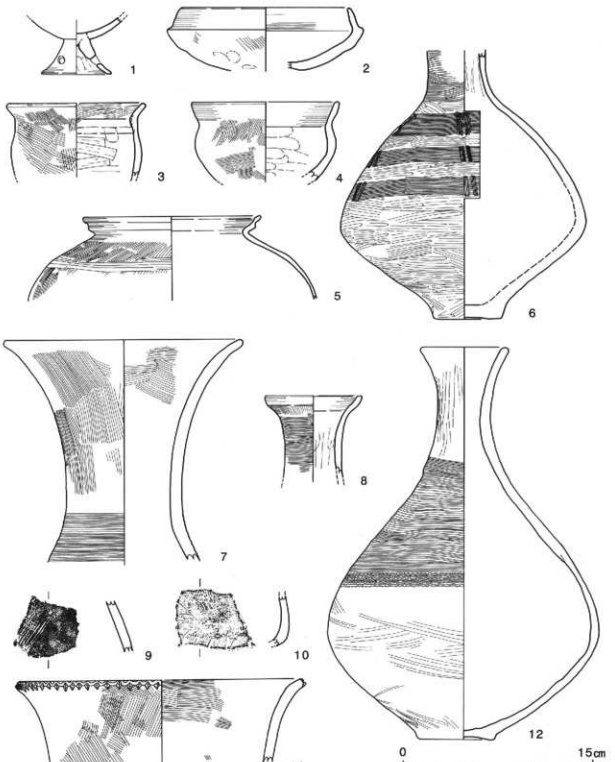
1-7は、大型細頸壺の口頸部である。やや強く開く単純口縁や肩部に施された櫛描直線紋から弥生中期後葉（古相）に比定されよう。

1号墳

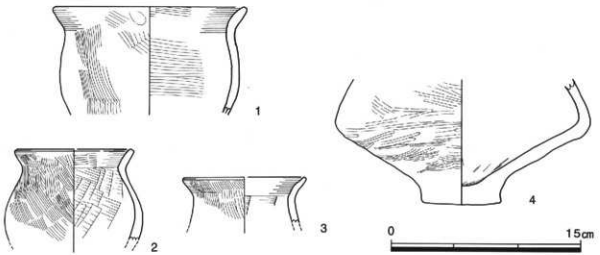
2-1は、胴部の張りが弱い小型のハケ調整の甕である。口唇部を丸く収め、ヨコナデを施すことなどから古墳前期に比定される。

2号墳

2-2・3は、ハケ調整の小型甕である。口唇部に弱い面を持ちヨコナデを施すことなどから、古墳前期に比定される。



第１図　遺構出土土器実測図



第２図　遺構出土土器実測図

3号墳

2-4は、壺の胴部下半である。最大径がやや強く張り、強く突出した底部を有することから、弥生中期後葉に比定されよう。

SF3

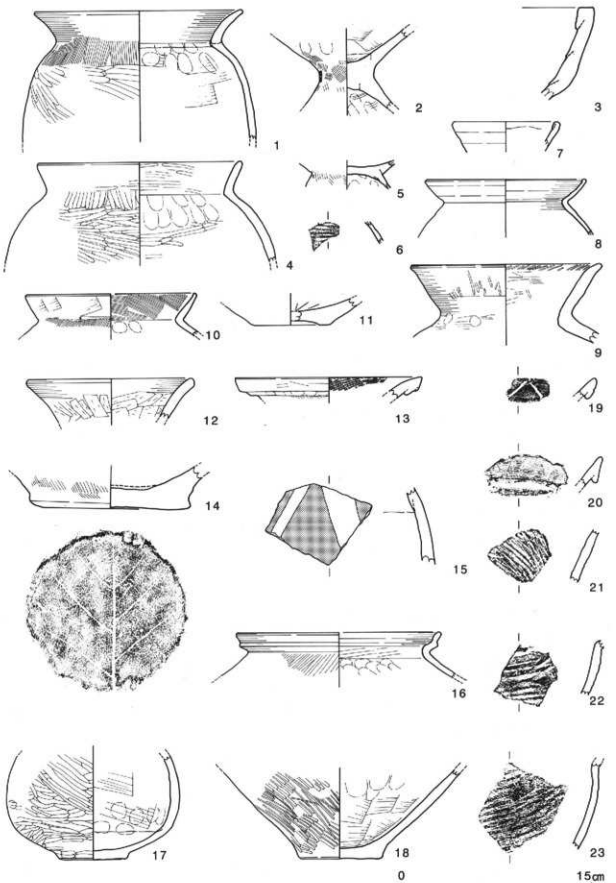
壺、甕、鉢などが出土している。3-2は、台部の開きがやや大きい台付甕の底部である。3-10は、く字に屈折する頸部を有する単純口縁の甕である。口縁部内面にもハケを施す。3-1・4は外面をミガキ調整するもので甕というよりは鉢とすべきものであろう。いずれも口唇部を丸く収めている。いずれも古墳前期に比定される。なお、3-11は、上げ底を呈する壺の底部で弥生中期後葉の混入品である。

SF4

単純口縁壺、複合口縁壺、S字甕、タタキ甕、布留式系甕などが出土している。壺は、いずれも外来系要素が強いもので、口縁部内面に櫛刺突紋を施し、屈折する頸部を有する東海西部系の3-9と、口縁部内面に突帯を持つ駿河系の3-3が認められる。3-5はS字甕の台部である。3-6は、やや細めのタタキを有する甕の胴部破片であり、内面は、ケズリ調整を加える、いわゆる庄内式系の甕である。3-7・8は、いわゆる布留式系の甕である。3-7は、口唇部内面の肥厚が稚拙であるが、3-8は、口唇部を肥厚させ、薄い器壁を有し、胴部内面をケズリ調整するなど比較的布留甕の特徴に忠実なものである。これらの土器は、古墳前期に比定される。

SF7

単純口縁壺、折り返し口縁壺、S字甕、タタキ甕などが出土している。折り返し口縁壺は、3-13のような在地色の強いものと折り返しが痕跡的で外来要素が強い3-19・20が出土している。外来系の単純口縁壺は、口縁部内外面にケズリを施す（3-12）。S字甕（3-16）は、直立気味の口縁部を有し、頸部内面にハケを施すものである。タタキ甕はいずれも破片資料であり（3-21～23）、全形を知り得るようなものは認められないが、やや太めのタタキを外面に有し、平底を呈するいわゆるV様式系甕と呼ばれるものに相当する。以上の土器は、古墳前期に比定される。



第３図　遺構出土土器実測図

SE3

折り返し口縁壺、小型壺、単純口縁甕、S字甕、混入品の鉢などが認められる。4-7は、薄い折り返しを持つ壺の口縁部破片である。口縁部内面に結節縄紋を施している。4-5は、口唇部に内傾面を有するもので、東海西部系の小型壺であろう。4-9は、大型の単純口縁甕である。口唇部を丸く収め、外面をハケ調整するもので、隣接する駿河地域に多い形態である。4-1は、やや厚手の受け口状の口縁、4-2は、口唇部を欠損するが、やや張りが強い胴部を有するS字甕である。これらの土器は、古墳前期に比定される。

明らかな混入品である4-4は、口唇部を外面に折り返す鉢の口縁部破片である。外面には擬縄簾状紋（または波状紋）を数段にわたって施す。形態的な特徴、胎土など明らかに畿内産の土器と共通点が多いことから、搬入品の可能性が高い。弥生中期中葉～後葉に比定される。

SE5

内湾口縁壺、ひさご壺、甕、高坏などが出土している。在地系壺の4-10・12は、無紋化した4-10と結節縄紋を多用する4-12が認められる。ひさご壺とした4-15は、やや大型で広口となるもので、口唇部には内傾面を有する。甕は、胴部破片と台部が出土している。4-11は、頸部がく字に屈折するもので、ヨコナデが確認できることから、口唇部にキザミを持たないものと考えられる。4-17は、やや深めの坏部を持つ高坏、4-13は、脚部が屈曲して大きく開く小型の高坏で、いずれも外面を丁寧にミガキ調整している。これらの土器は、古墳時代前期に比定される。

SE6

小型壺の底部と屈折脚高坏の坏部が出土している。壺は、底部がほとんど突出せず、外面をミガキ調整するもの（6-2）、高坏は、底部をケズリ調整、やや外反する口縁部内外面をヨコナデ調整するもの（6-5）で、前者は、古墳前期、後者は、古墳中期に比定されよう。

SE8

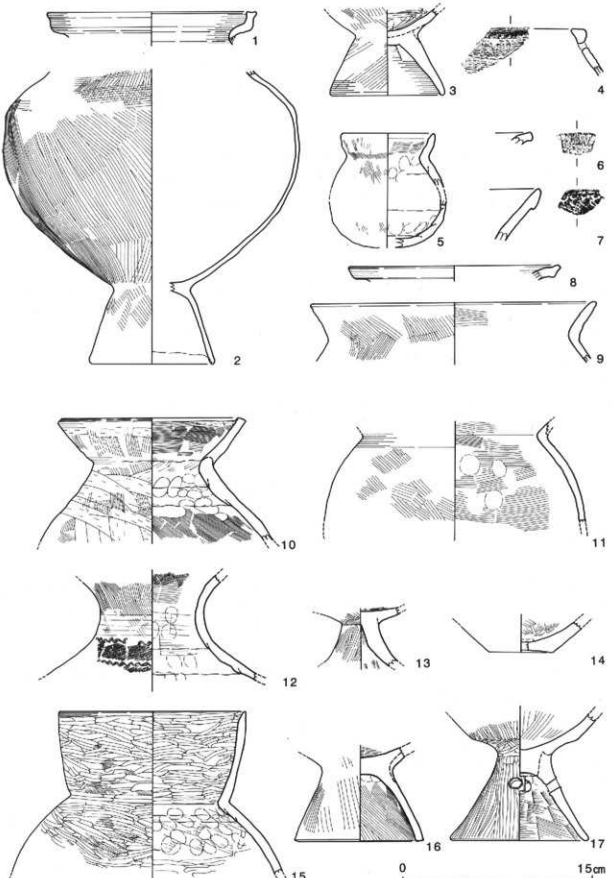
裾部が大きく開く高坏脚部と台付甕の台部が出土している。6-6は、外面にナデ調整を残す台付甕の台部である。6-5は、脚部内面をケズリ調整し、台部は外面をナデ調整する高坏である。古墳前期後半～中期以降に比定されよう。

SD12

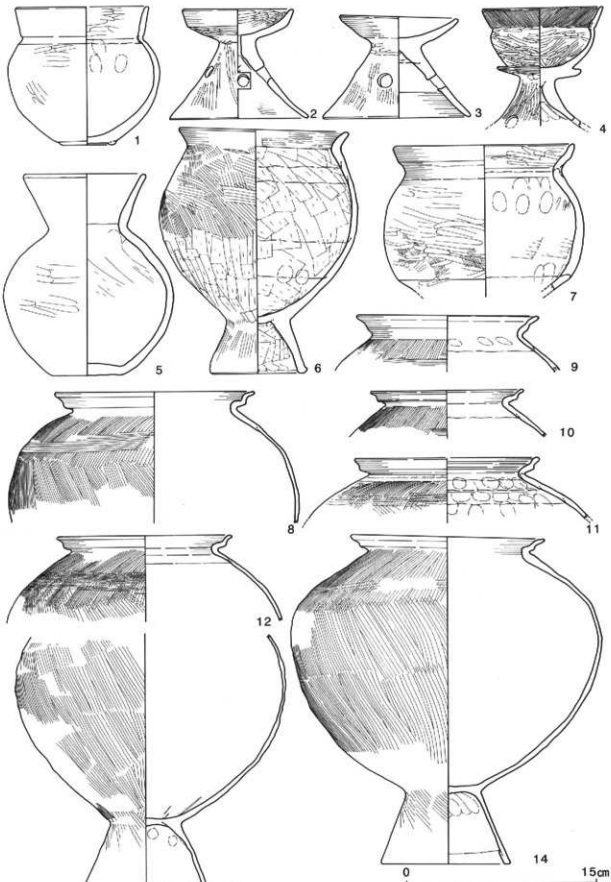
二重口縁壺、単純口縁甕が出土している。6-8は、口唇部を丸く収め、内面の口縁部屈折が痕跡的となった二重口縁部である。6-7は、胴部外面をハケ後ミガキ調整する甕である。前者は、古墳前期～中期、後者は、古墳中期に比定されよう。

SD14

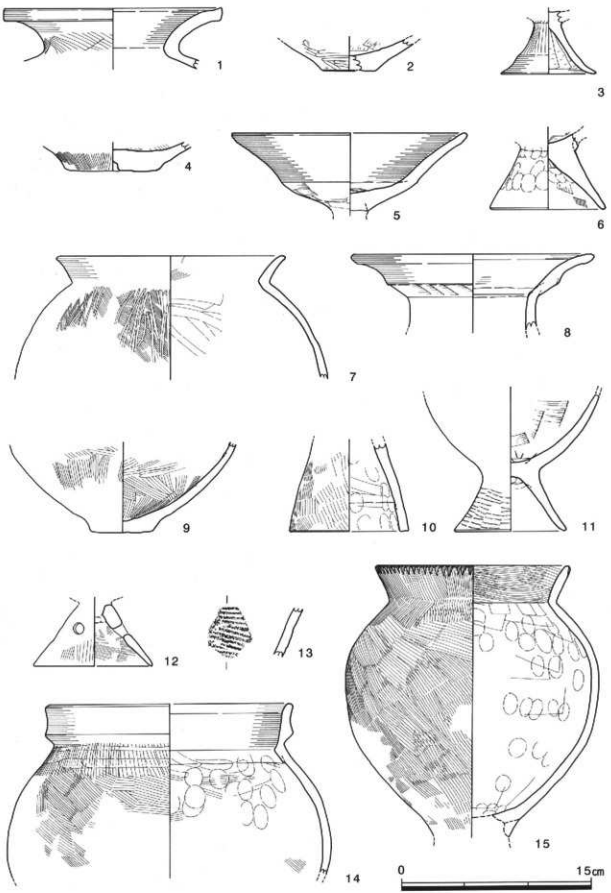
壺、台付甕、タタキ甕、器台などが出土している。壺は、底部が比較的小さく、胴部下位が張らないもので外来系のものと考えられる（6-9）。6-15は、頸部がく字に屈折し、球形を指向した胴部を有する台付甕である。弥生後期の甕とは明らかに型式変化している。タタキ甕は、胴部破片（6-13）と台付のもの（6-11）が認められる。台付のものは、台裾部が開き気味となるもので、台付タタキ甕に特徴的なものである。器台としたものは、直線的に開く脚部を有するもので透かし孔を穿つ（6-12）。



第４図　遺構出土土器実測図



第５図　遺構出土土器実測図



第６図　遺構出土土器実測図

第2節　包含層出土土器

包含層から出土した土器について時期別に報告することとした。これらの遺物は、包含層資料とはいえ完形品を多く含み、当地域の土器研究において欠くことのできない貴重な資料である。前章と同様に土器の形態や調整をはじめとする土器個別の記述については、特筆べき内容以外は主として観察表によることとした。

弥生時代

弥生時代中期中葉～後葉

弥生中期中葉～後葉に比定される土器は、壺、甕が認められる。壺は、①頸～胴部を縄紋やヘラ描き紋等で加飾する一群（7-1）、②頸部～胴部を櫛描紋で加飾する一群（7-2）、③櫛描紋が客体で、無紋化が顕著な一群（7-4～7）、に大別できる。①は中期中葉の新しい段階、②は中期後葉の古い段階、③は、中期後葉の新しい段階にそれぞれ盛行すると考えられる。甕は、口縁部に最大径を持つもので、口唇部にキザミを持つ（7-8）。中期後葉の新しい段階としたものは、暗灰色～黒色を呈する胎土を有することが特徴である。

なお、弥生後期に比定される土器はその前後の時期の豊富な遺物量に比較して非常に少ないことが指摘できる。これは、当時の海岸線や旧太田川の流れなどの自然環境が遺跡の立地に影響を及ぼしていたためと考えられよう。当地域における弥生後期（特に後半）の土器は、次段階の古墳前期（小山角田様式）にも一部残存することから、包含層資料の場合これとの区別が困難な場合が多い。これらは、古墳前期に並行する可能性が高いことから、古墳前期として扱った。

古墳時代

古墳時代前期～中期に比定される土器は、今回の調査で出土した遺物中最も多量であった。残念ながら資料の大半が、包含層出土資料であるため、遺物間の共伴関係を出土状態から明らかにすることは非常に困難である。該期の土器編年については、松井一明氏（松井：1995）、鈴木敏則氏（鈴木：1999）、中嶋郁夫氏（中嶋：1997）、筆者（岩本：1997）によって検討がなされていることから、これらに基づいて報告することとした。記述は、器種ごとに行い、各型式が盛行する時期を示すこととした。また、須恵器については、古墳～奈良時代のものが認められるが、これらは一括して報告した。

在地系の壺

在地系の壺とされるものは内湾口縁、折り返し口縁、複合口縁などが認められる。

内湾口縁壺は、無紋化したものが主体となっている（8-1・3・6など）。また、頸部が強く屈折し、球形に近い胴部を持つものは、より後出するものと推測される（12-1）。折り返し口縁壺は、結節縄紋を施すもの（9-2～6など）と無紋化したもの（8-5、10-1など）の二者が認められ、後者がより球形胴を指向している。他方、頸部がく字に屈折するものは、外来系要素が強いもので時期的に後出する（9-7、12-6など）。複合口縁は、球形胴を指向し、無紋化したものが認められる（10-8など）。

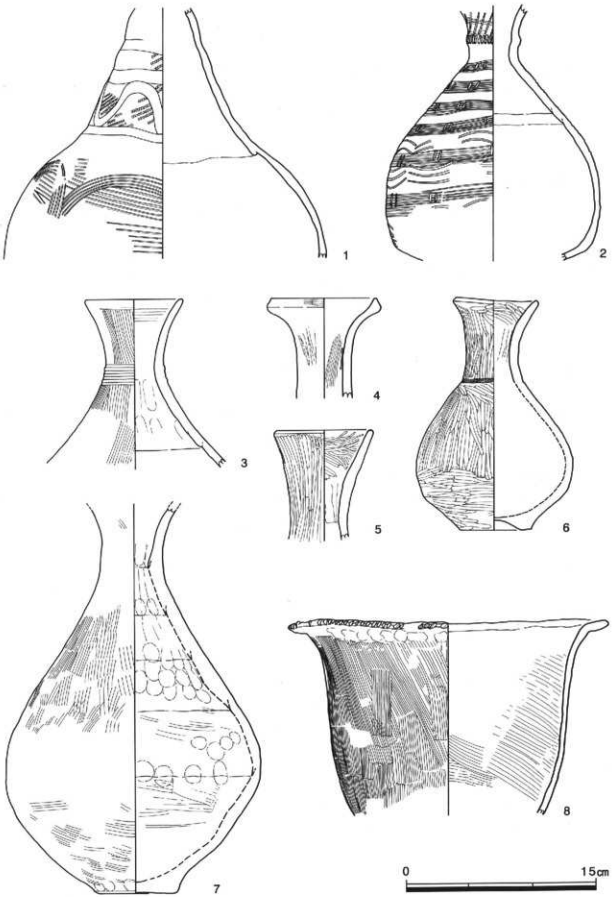
外来系土器（東海西部系・畿内系）

単純口縁壺

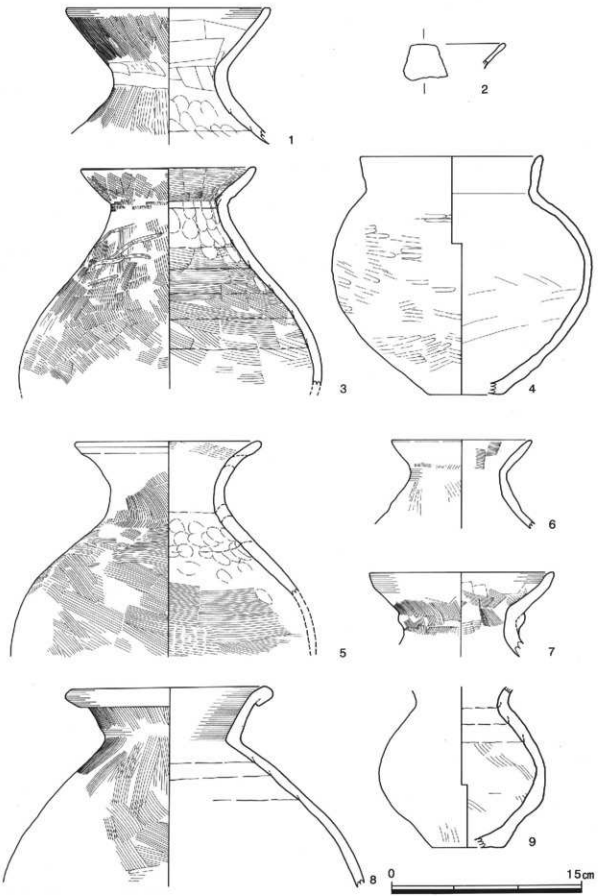
単純口縁壺としたものは、球形に近い胴部から屈折した頸部を有し、わずかに外反する単純口縁を有するものである（13-3・4など）。

二重口縁壺

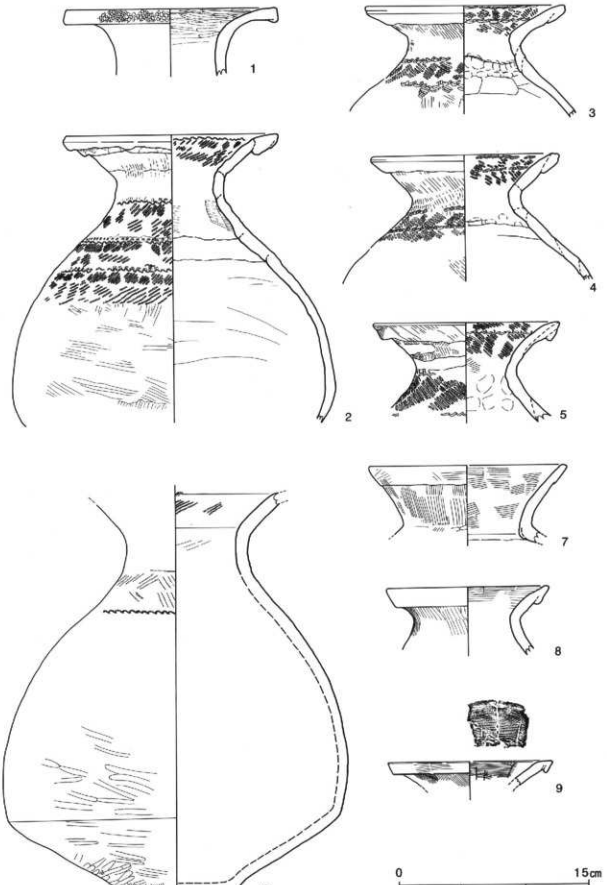
二重口縁壺は、肩部に櫛描紋を施すもの（18-7・10など）と無紋のもの（18-2、19-6など）が認められる。口唇部は面を持ち端部が鋭いものと、丸く収めるものが認められ、前者がより古相を呈するも



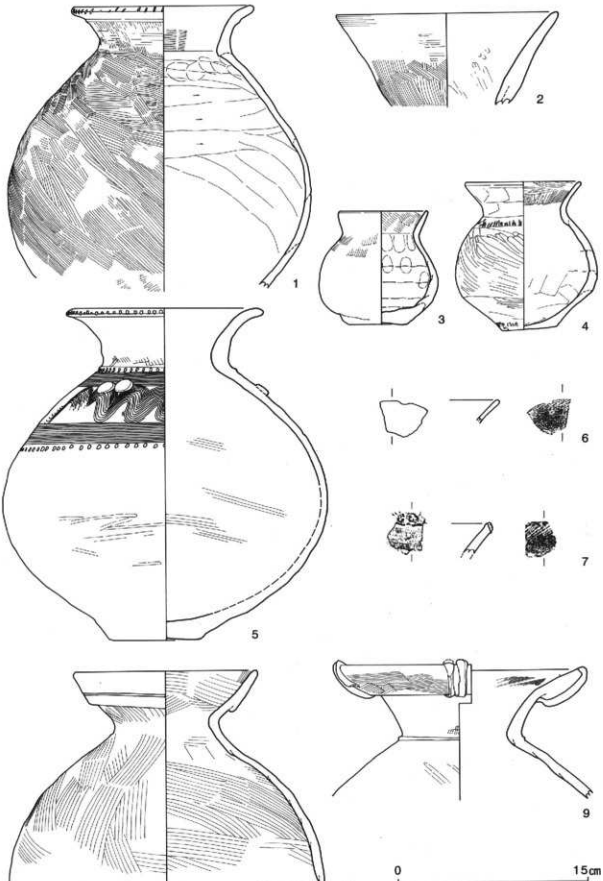
第７図　包含層出土土器実測図



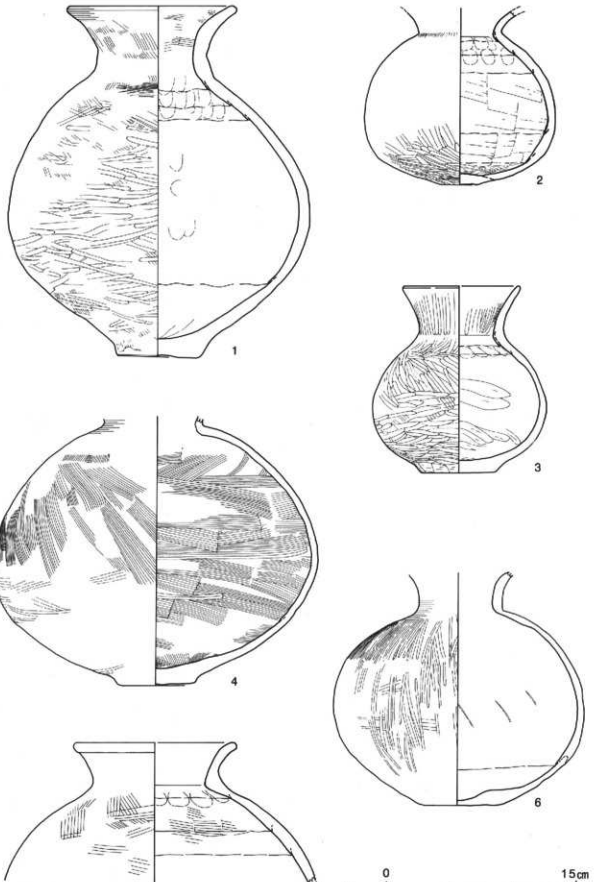
第８図　包含層出土土器実測図



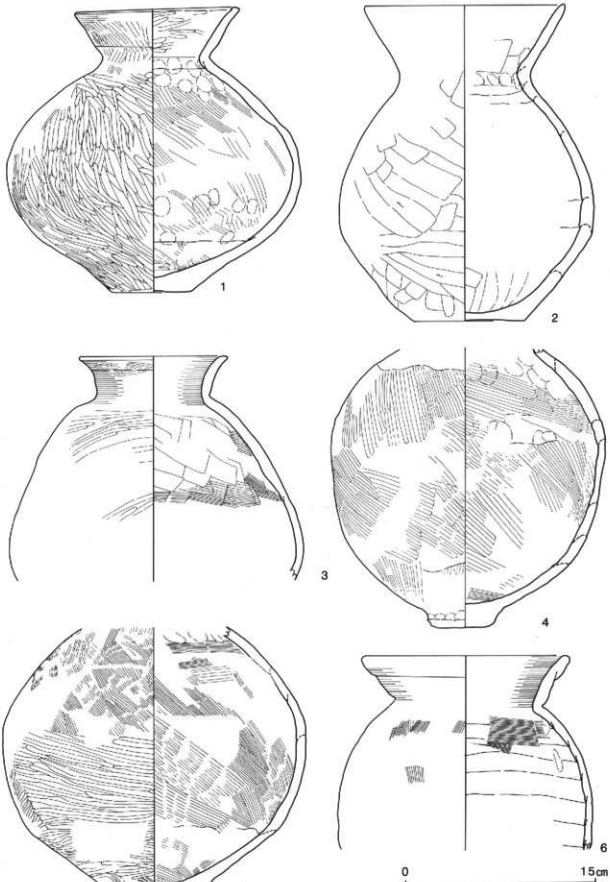
第９図　包含層出土土器実測図



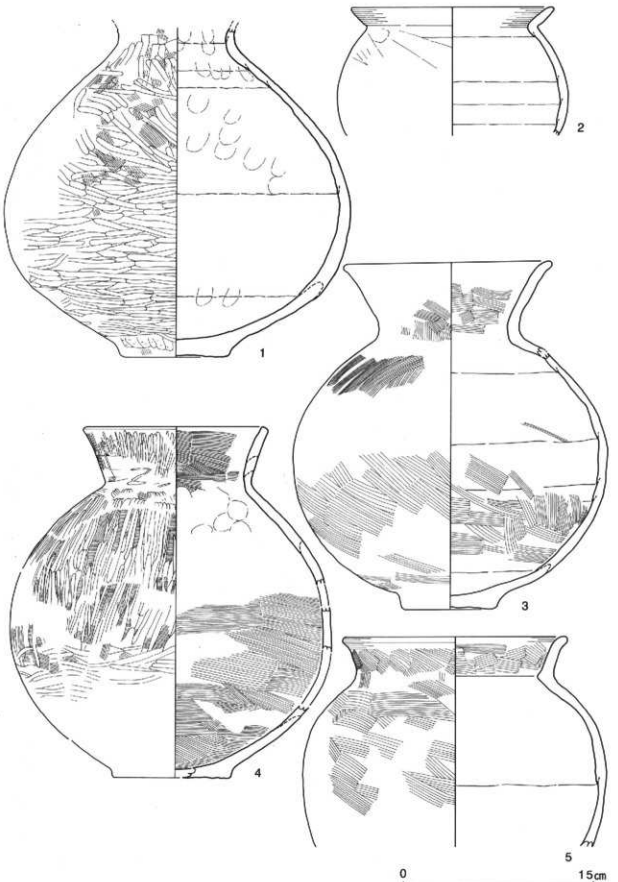
第10図　包含層出土土器実測図



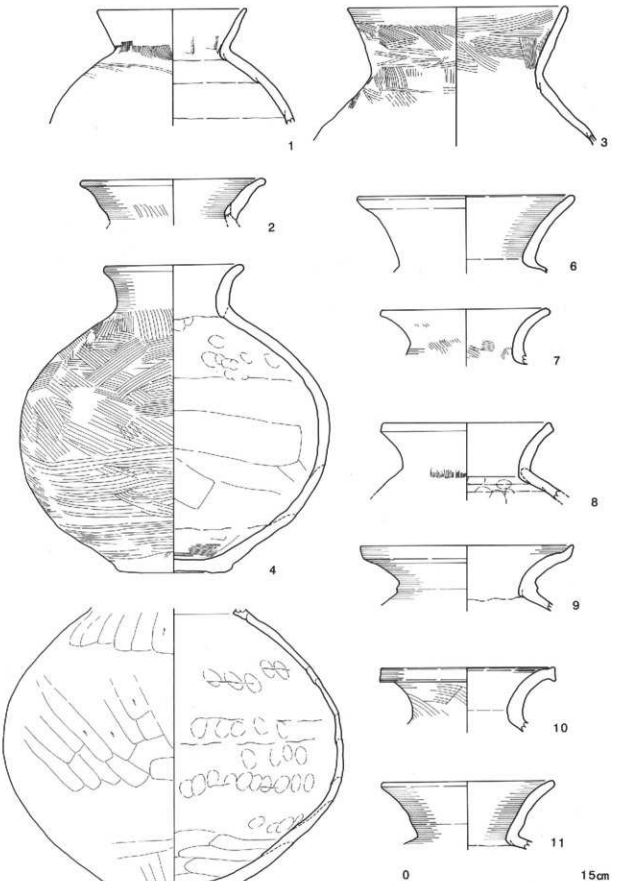
第11図　包含層出土土器実測図



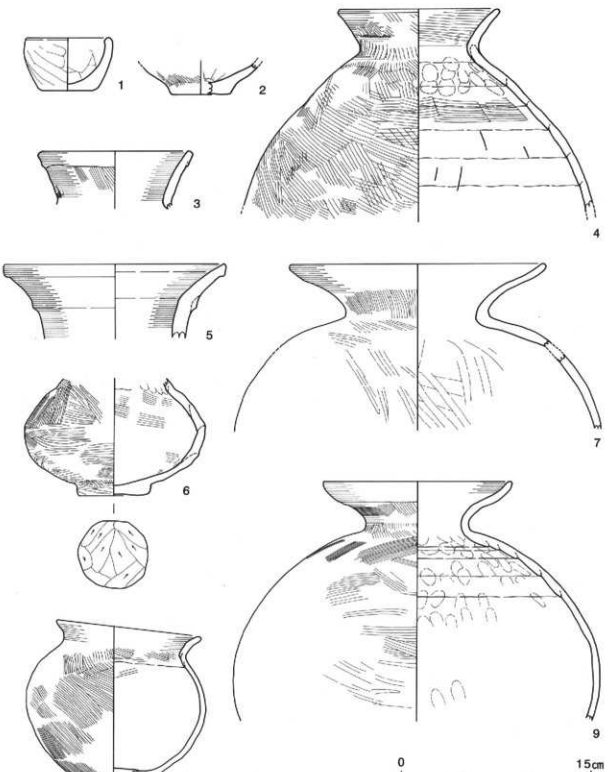
第12図　包含層出土土器実測図



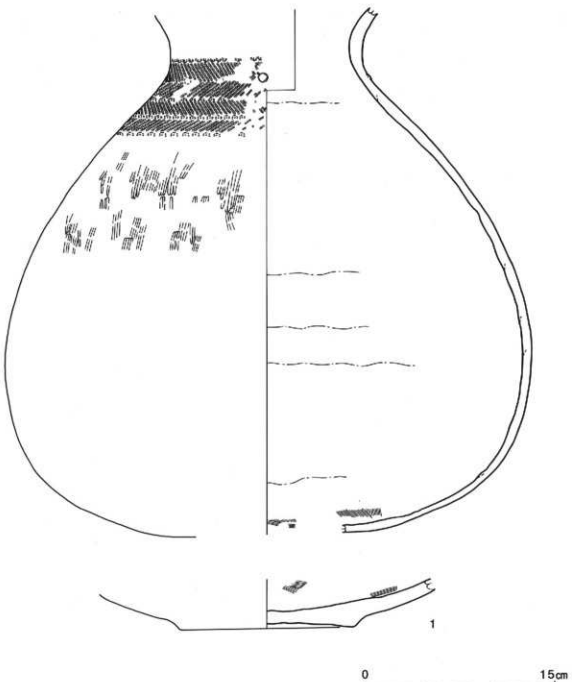
第13図　包含層出土土器実測図



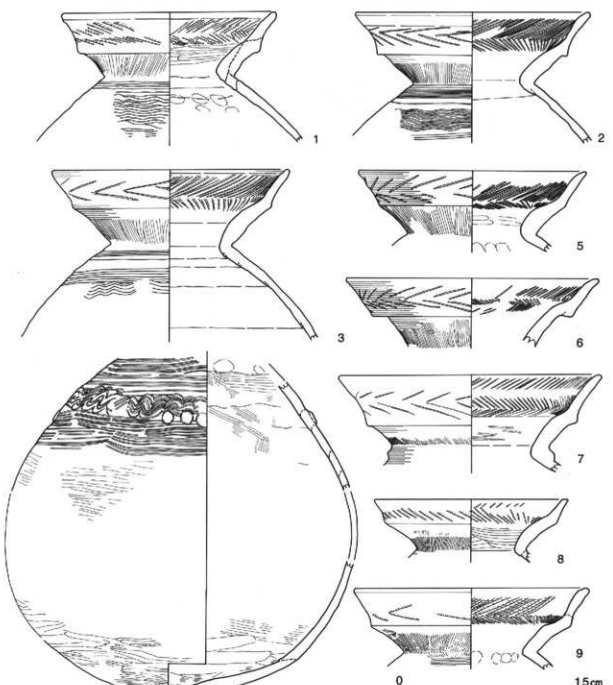
第14図　包含層出土土器実測図



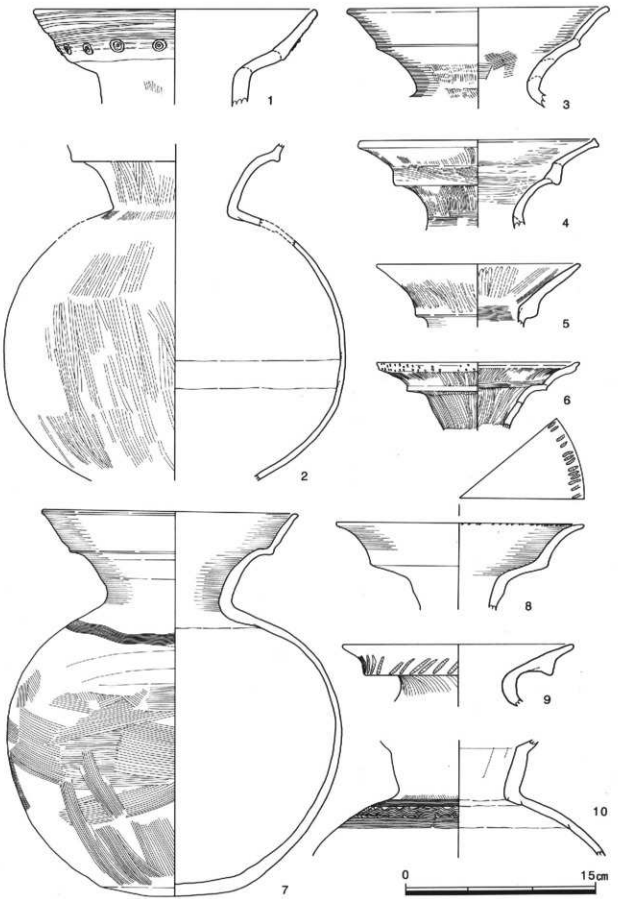
第15図　包含層出土土器実測図



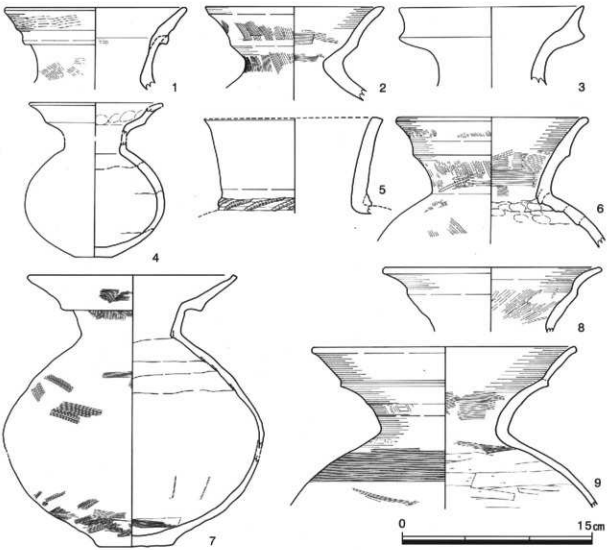
第16図　包含層出土土器実測図



第17図　包含層出土土器実測図



第18図　包含層出土土器実測図



第19図　包含層出土土器実測図

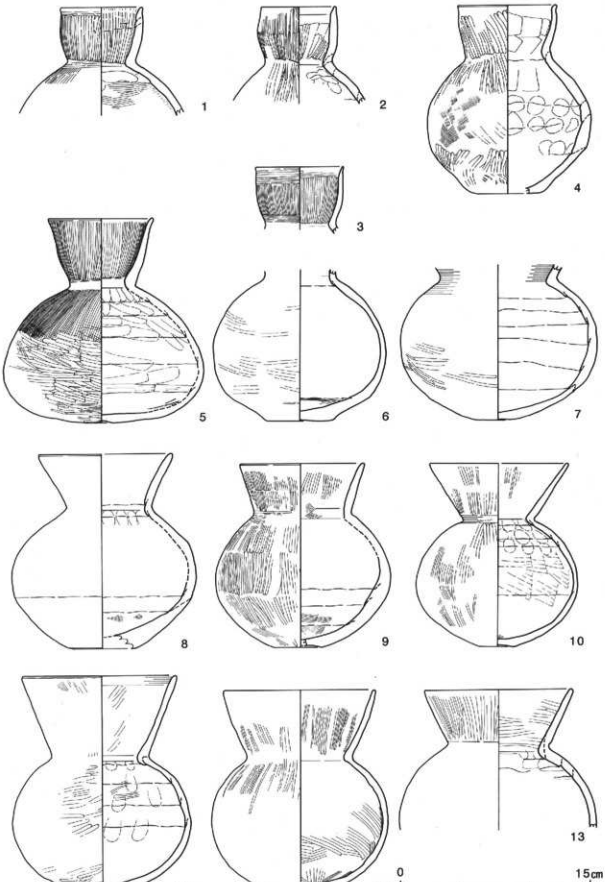
のと考えられる。口頸部が短く、外反も弱いものは、より後出的である（19-6）。なお、ハケ調整を多用する在地系土器の胴部に二重口縁を付したものも認められ（19-7）、搬入品または忠実な模倣品と形態だけを模した明らかな在地品などそのあり方は多用である。

柳ケ坪型壺

二重口縁の内外面に櫛刺突紋を施し、肩部に櫛描直線紋と波状紋を交互に施紋することなどを主な特徴とする柳ヶ坪型壺と呼ばれているものである。口縁部が直立気味となる古相のものは認められず、口縁部が大きく外反し、二重口縁状となるものが出土している。また、頸部に断面三角形の突帯を持つもの（17-7）は客体である。

ひさご壺

ひさご壺は、明確に内湾する口縁を持つもの（20-1～4など）と口縁部が流線的に外反するもの（20-5など）が認められる。



第20図　包含層出土土器実測図

直口壺

直口壺は、直線的に開く口縁部を有するもので、畿内に系譜が求められるものである。完全な丸底を呈するものは皆無であり、底部がわずかに上げ底状となるものが大半である。

長い口縁部に球形に近い胴部を有するもの（20-10～12など）と、やや短い口縁部に偏球形の胴部を有するもの（20-8・9・13など）に大別され、前者は、薄手で丁寧なミガキ調整を行うもの、後者は、厚手で粗いミガキやナデ、ケズリ調整を施すものが多く、より後出的な要素が強い。

甕

甕は、在地系と外来系のに大別できる。在地系の口唇部にキザミを持つ台付甕は弥生後期に系譜が求められるが古墳前期では客体化・消長する。外来系は東海系とされる口唇部をヨコナデによって丸く収める単純口縁の台付甕と、いわゆるS字甕、畿内系のタタキ甕、布留式系甕、近隣のものとして東海東部（駿河）系の大型台付甕などが認められる。

在地系台付甕

在地系台付甕は、弥生後期に盛行するが古墳前期初頭には客体化し、やがて消長することが明らかとなっている。胴部が球形を指向し、胴部最大径が口径を凌駕するものが主体となっていることから（23-1・4・8など）、弥生後期のものからは明らかに型式変化している。

外来系単純口縁台付甕

外来系の単純口縁台付甕は、古墳前期に出現するもので、口縁部形態をはじめ、胴部形態、調整具など在地系の台付甕からは型式変化がたどりにくく、三河地域の型式が当地域に定着したものと考えられている（松井：1995）。口縁部形態は、直線的に開くもの（23-3など）と外反するもの（23-9など）が、胴部形態は、長胴のもの（24-4）と球形に近いもの（23-9）のが認められるようである。

S字甕

S字甕は、赤塚次郎氏のS字甕の分類にしたがえば（赤塚：1990）、B～D類が出土している。また、複合口縁を有し、S字甕の調整方法をとる鉢形の土器も出土している。S字甕は、後述する有稜高坏と共に東海系土器の中心的存在となるものである。口縁部が直立気味で頸部内面にハケを施すB類の特徴を持つもの（26-2・3・6・7など）、頸部の屈曲が強くなり、口縁部が横位に引き出されるC類の特徴を持つもの（27-4・6など）、肩部のヨコハケを消失し、口縁部の屈曲が退化するD類の特徴を持つもの（29-4）が認められる。30-7は、S字甕の調整方法を採用しながらも、口縁部を複合口縁とした鉢形の土器である。また、この他にも東海西部の型式変化とは異なる変化を示す在地化したものも存在し、そのあり方は複雑である。

タタキ甕

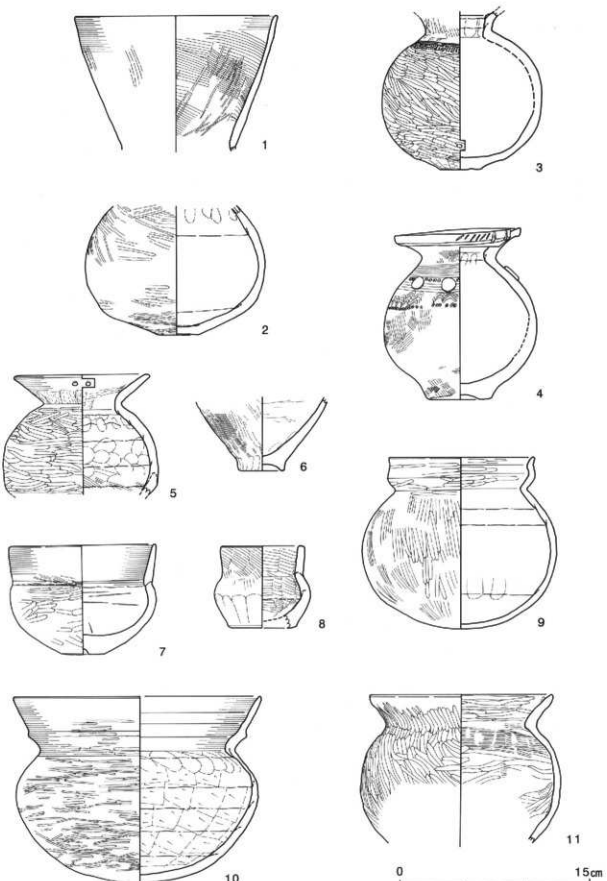
当地域においては器面調整にタタキは使用されていないことから、タタキ甕は、破片資料でも比較的目に付きやすい。30-1・2・4・5は、底部破片で右上がりの粗いタタキを施している。全形を知りうる資料は認められないが、く字に屈折する頸部から肩部あるいは胴部中位に最大径を持つ胴部へとつながり、やや突出した底部を有するいわゆるV様式系甕に相当するものと考えられる。

大型台付甕

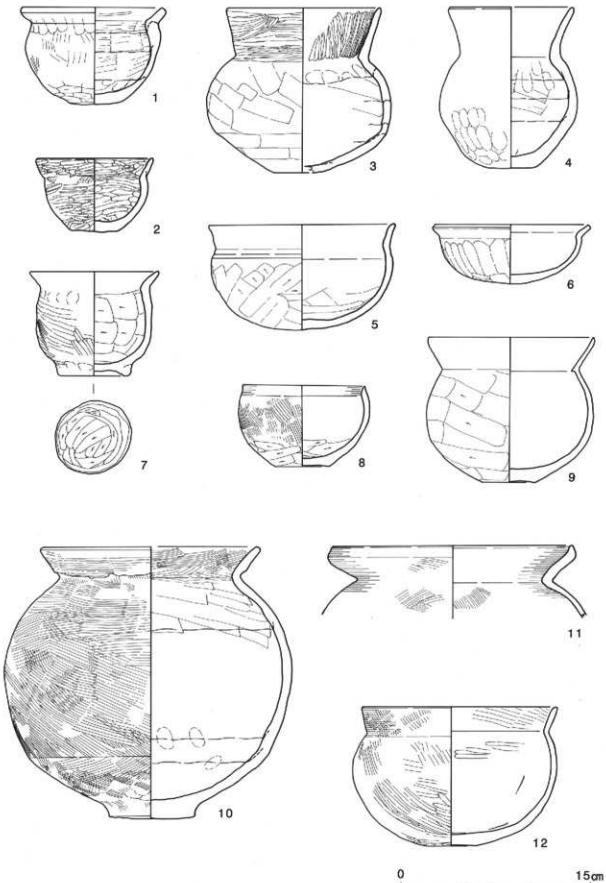
大型台付甕は、東海東部（駿河）の沿岸部に立地する遺跡で出土する特徴的な器種とされているが（渡井：1998）、今回の調査では完形品を含む多くの大型台付甕が出土している（30-8～10、31-1～3、32-1・2）。いずれも単純口縁を呈するもので内外面をハケ調整するものが多い。

高坏

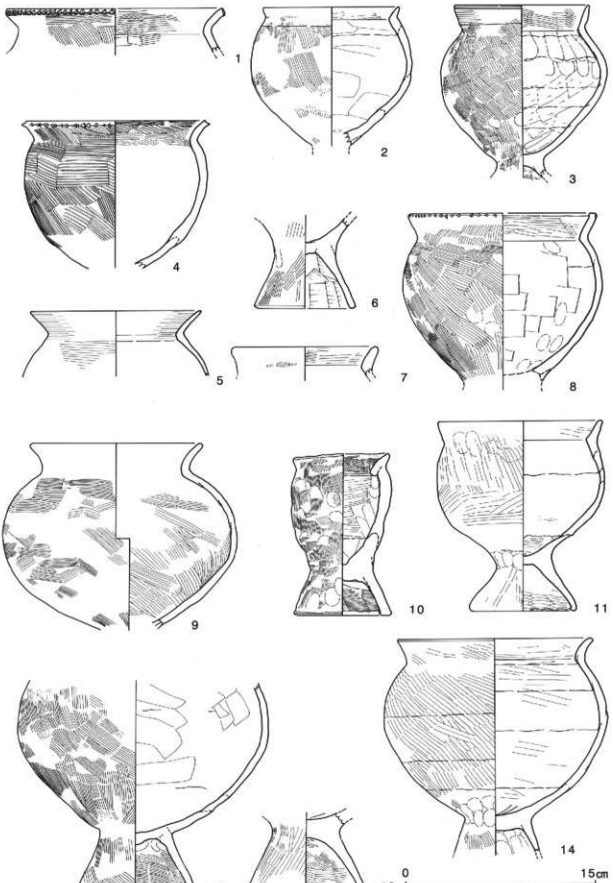
高坏は、弥生中期以来の鍔状口縁高坏は出土せず、外来系のいわゆる有稜高坏、有段高坏、屈折脚高坏などが出土している。



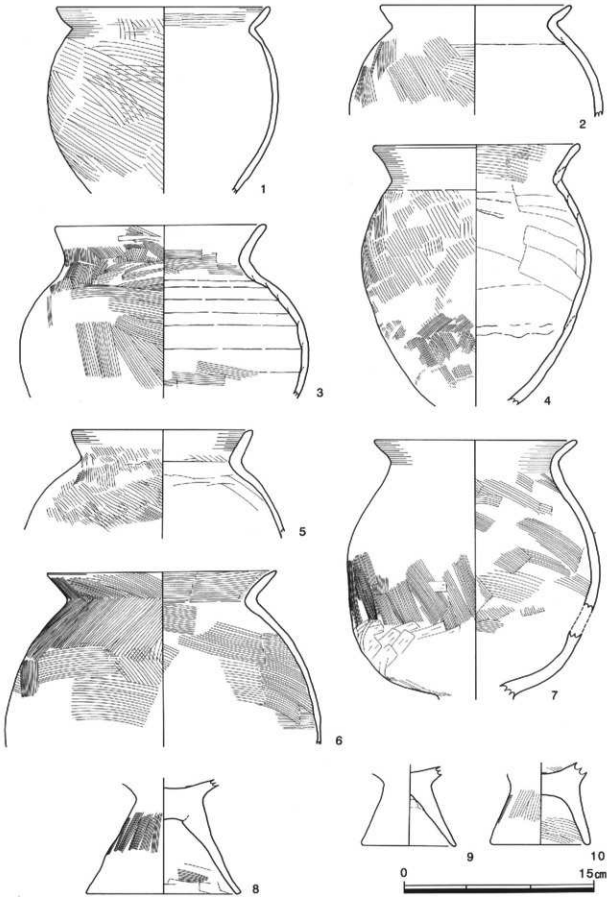
第21図　包含層出土土器実測図



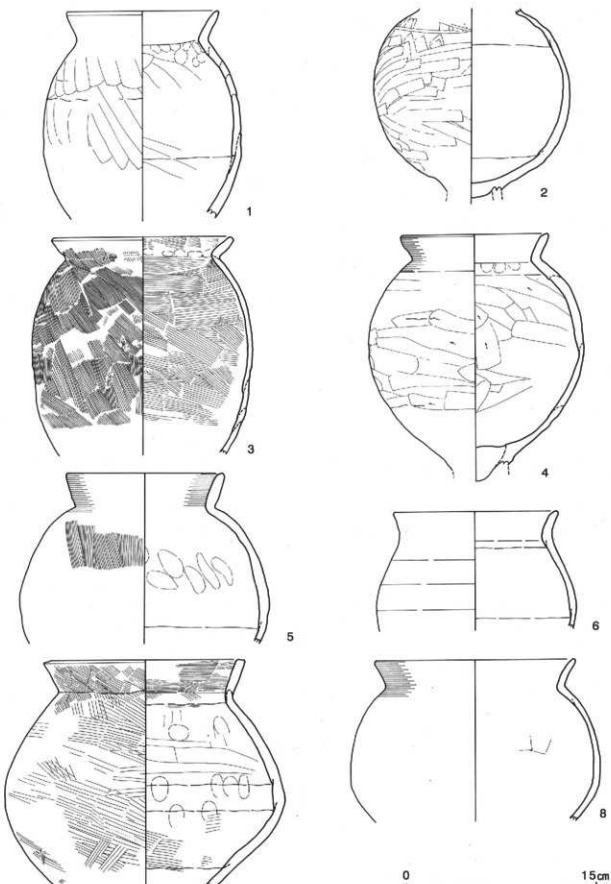
第22図　包含層出土土器実測図



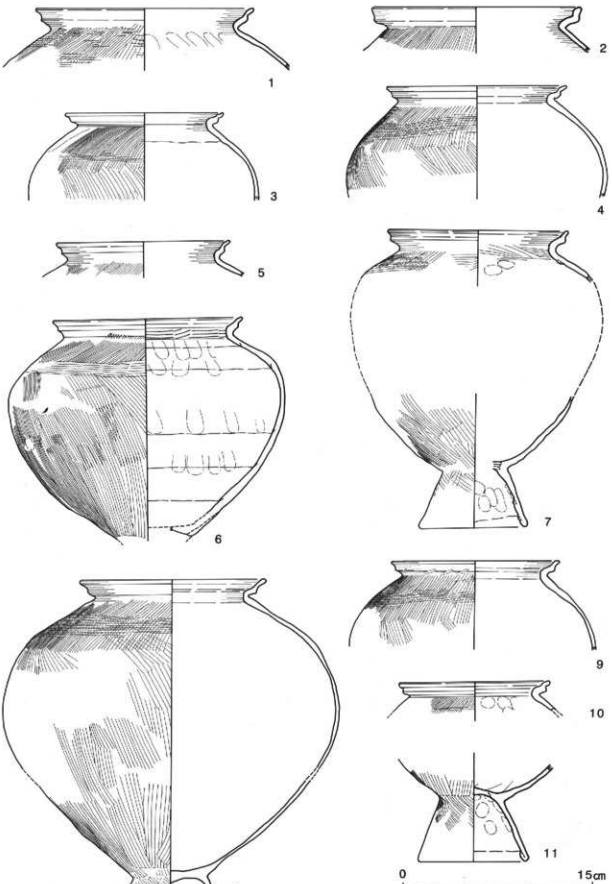
第23図　包含層出土土器実測図



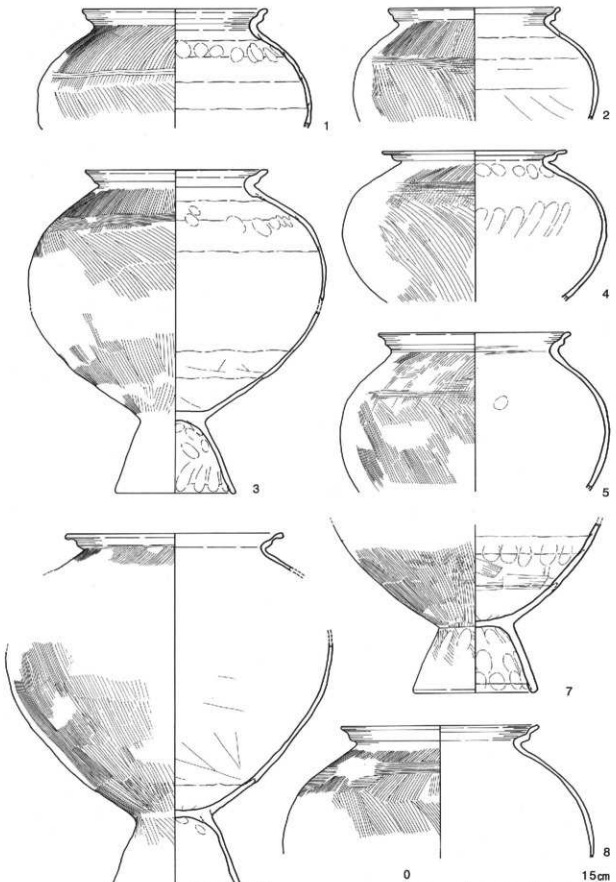
第24図　包含層出土土器実測図



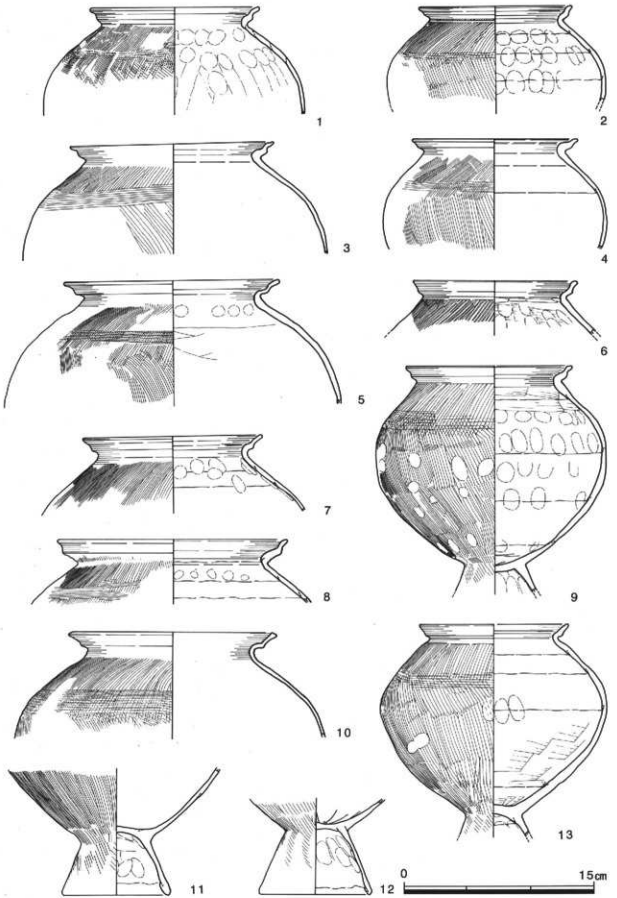
第25図　包含層出土土器実測図



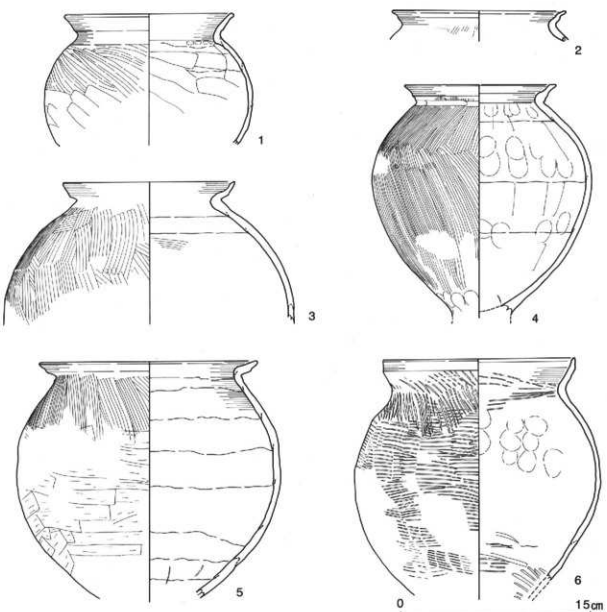
第26図　包含層出土土器実測図



第27図　包含層出土土器実測図



第28図　包含層出土土器実測図



第29図　包含層出土土器実測図

有稜高坏

有稜高坏は東海西部系の土器であり、形態や調整方法において東海西部地域のものと遜色ないものから、ハケ調整を残す型式変化が進んだ在地色の強いものまで様々なものが存在する。やや深めの坏部に直立気味で開きの少ない脚部を有するもの（33-3・4・6～8など）と浅い坏部に大きく開く脚部を有するもの（33-1・5、34-1など）に大別できる。また、在地化の進んだものは坏部が深く、脚部が短脚化した不釣り合いなものが多く、東遠江に特徴的なものと言える（33-6）。

有段高坏

有段高坏は、坏部が半球形を呈するもの（34-16・17など）と有稜高坏と同様に坏底部外面に稜をもつもの（34-12・13など）の2者が認められる。いずれも器壁を丁寧にミガキ調整するもので、在地化したものが多い有稜高坏に比べ精製されたものが多い傾向が認められる。有段高坏は、全形を知りうる資料が皆無であるが、脚部は、裾部が大きく広がる低いもの（34-15など）であろう。

屈折脚高坏

屈折脚高坏は、柱状部がやや開き気味となるもの（37-14・15・17～19など）が認められる。脚部内面は、ケズリ調整するもの（37-14・15・17・19など）とナデ調整のもの（37-18）が存在する。坏部は、浅く大きく開くもの（37-16・19など）が認められ、外面はケズリ調整が施される。37-19の坏底部外面には「×」状のヘラ描きが認められた。

小型丸底（平底）壺

小型丸底（平底）壺は、長い口縁部を有し口径が胴部最大径を大きく上回るもの（38-8・11・12・14・15など）と、口径と胴部最大径がほぼ等しいもの（37-2など）、そして、口径が縮小し、口縁部が短くなるもの（37-1・5など）が認められる。

小型丸底（平底）鉢

小型丸底（平底）鉢は、口縁部が屈曲するもの（38-10など）と、直線的に開くもの（38-13・16・17など）が認められる。

小型器台

器台は、受け部の形態などから半球状のもの（36-7・9・10・11・16など）、口唇部が立ち上がるもの（36-6・14など）、口縁部が大きく外反するもの（36-1・13・18など）に大別できる。受け部中央に脚部への貫通孔を穿つものとそうでないものの2者が認められるが、資料数が少ないことから各型式との相関関係は不明である。

その他の土器

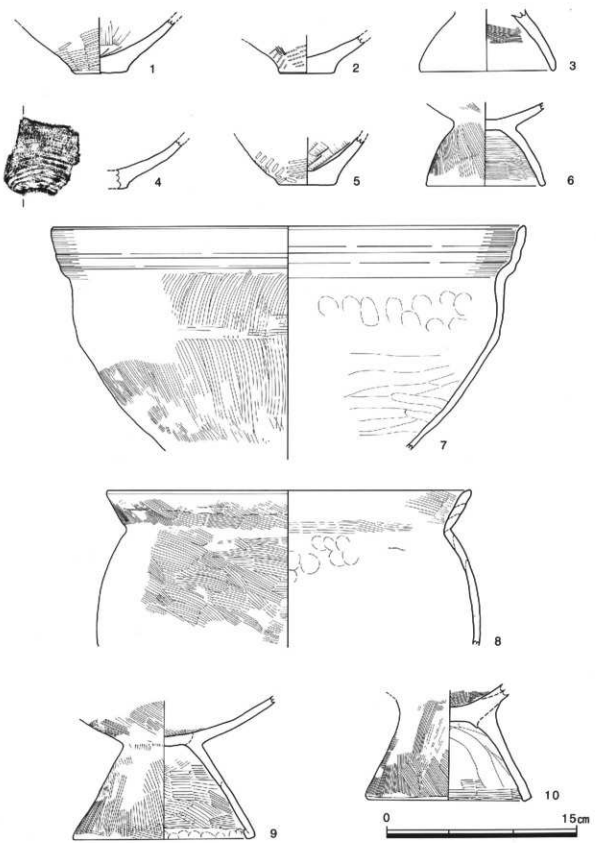
35-3、36-2・5は、「特殊な器台」（熊野：1974）などと呼ばれているものである。底部外面が突出し、その内側に口縁部が付くことや、受部に透かし穴を穿つことが大きな特徴であるが、通常の高坏に似た受部の形態を有するものも認められている。

21-10は、山陰系の有段口縁の広口壺である。有段口縁の形状や頸部内面のやや下がった位置までヘラケズリ調整することなど、各部位の調整方法、形態は、山陰系土器の属性を備えている。

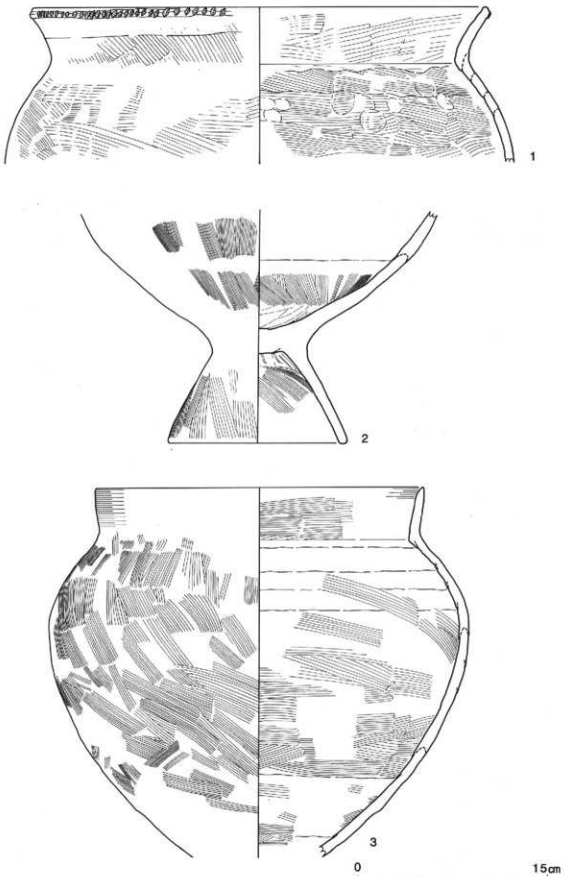
第39図にはミニチュア土器に相当するものを中心に掲載している。時期は古墳時代前期から中期のものまで含まれると考えられるが、S字甕（39-17）、屈折脚高坏（39-15）を模したものは、同時期の土器の特徴を良好に示しているといえる。40-1・2・4・7・8は、土師器坏である。古墳時代中期～後期に比定されよう。

須恵器

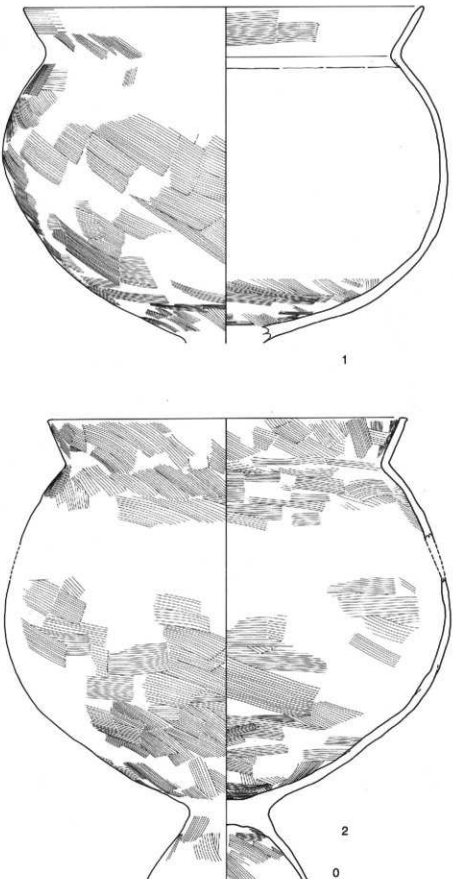
古墳時代の須恵器は、TK208～TK23並行期のものを主体としている。該期のものは、坏身、坏蓋、はそう、壺などが認められる。また、奈良時代の須恵期も若干量認められる。長頸瓶、平瓶、坏身、高坏、壺をわずかに認められる程度である。



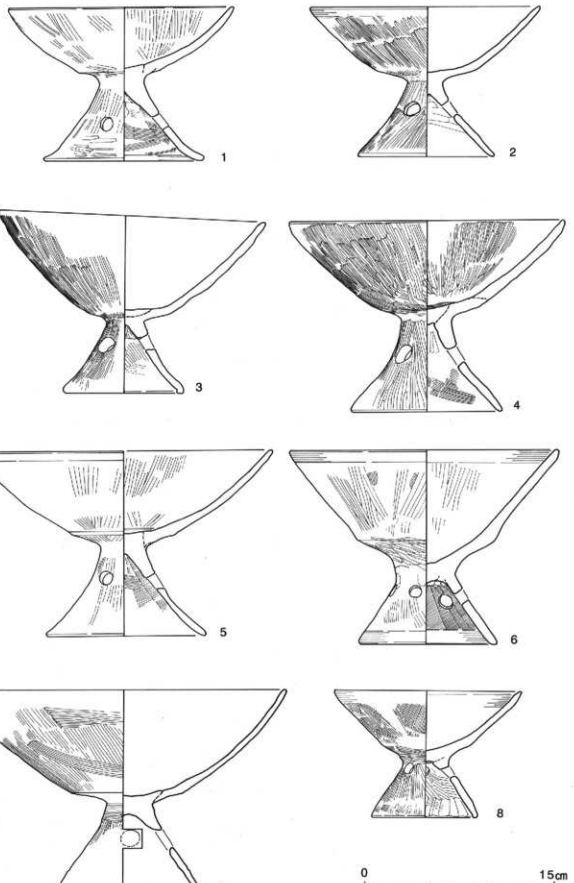
第30図　包含層出土土器実測図



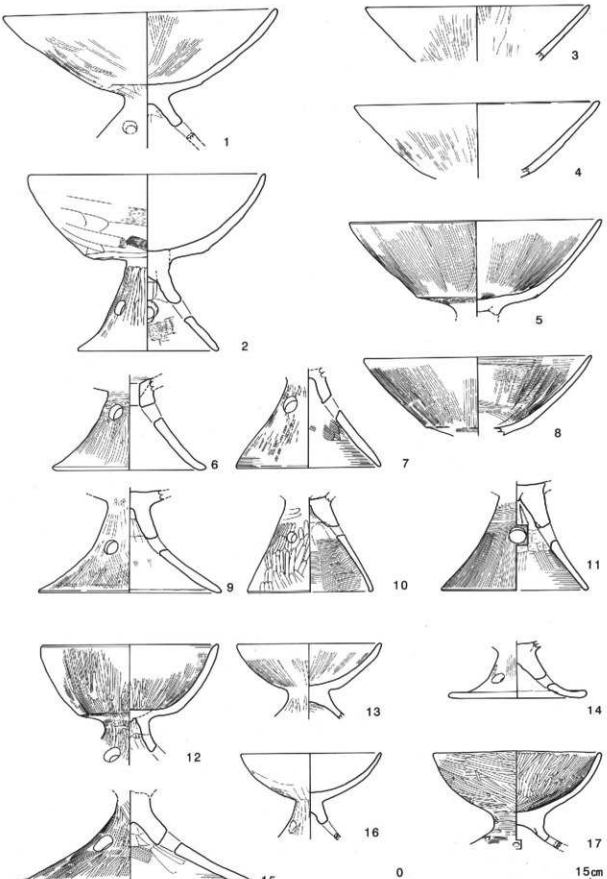
第31図　包含層出土土器実測図



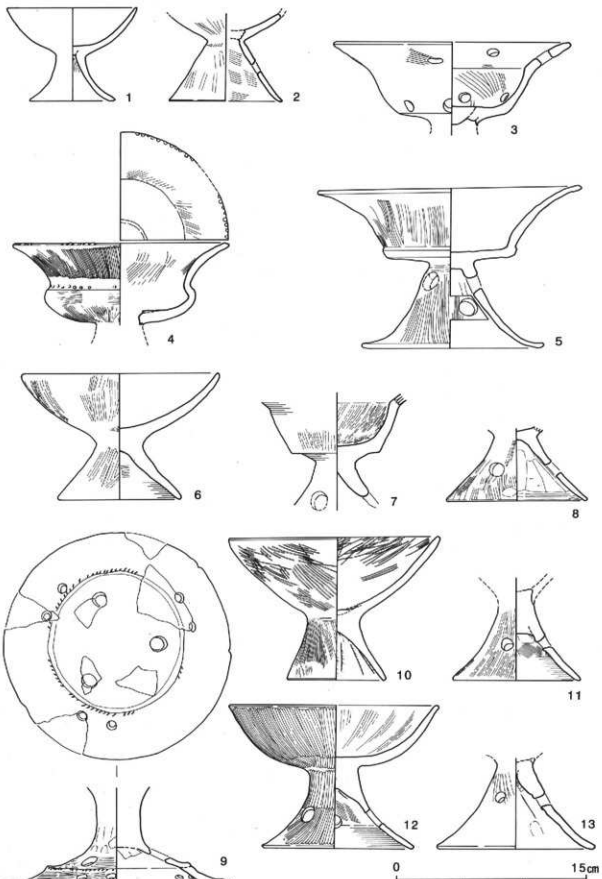
第32図　包含層出土土器実測図



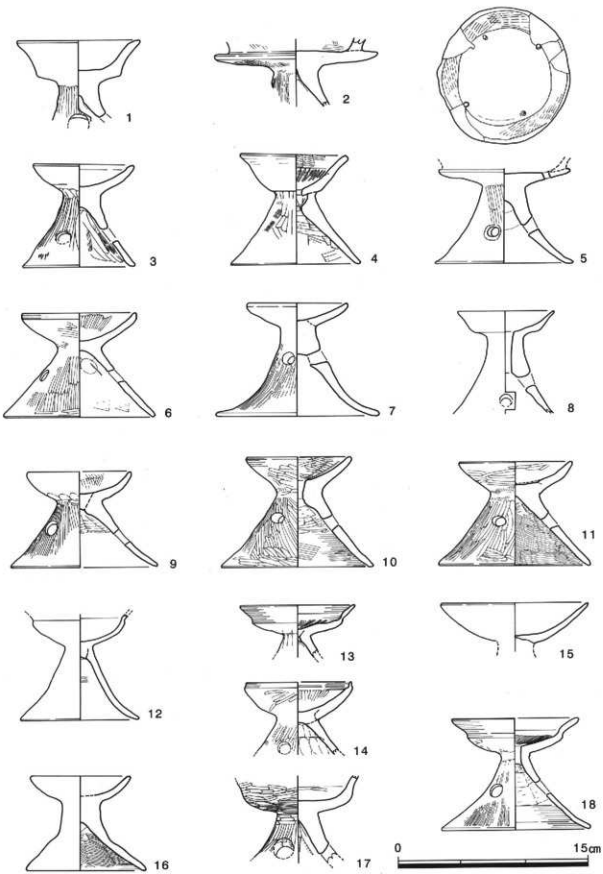
第33図　包含層出土土器実測図



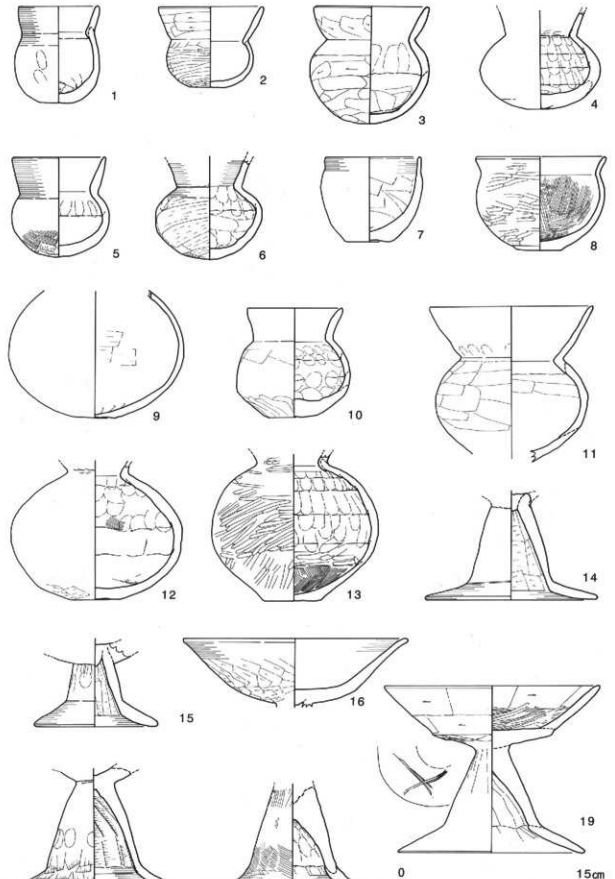
第34図　包含層出土土器実測図



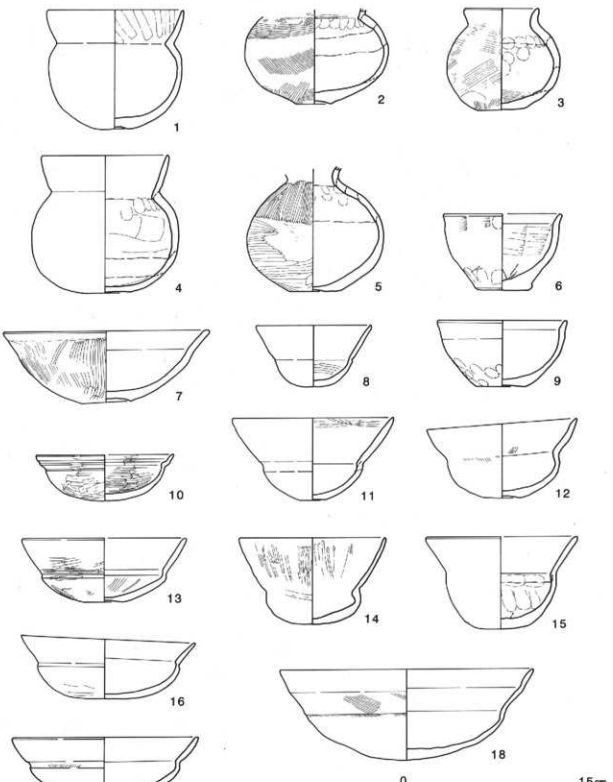
第35図　包含層出土土器実測図



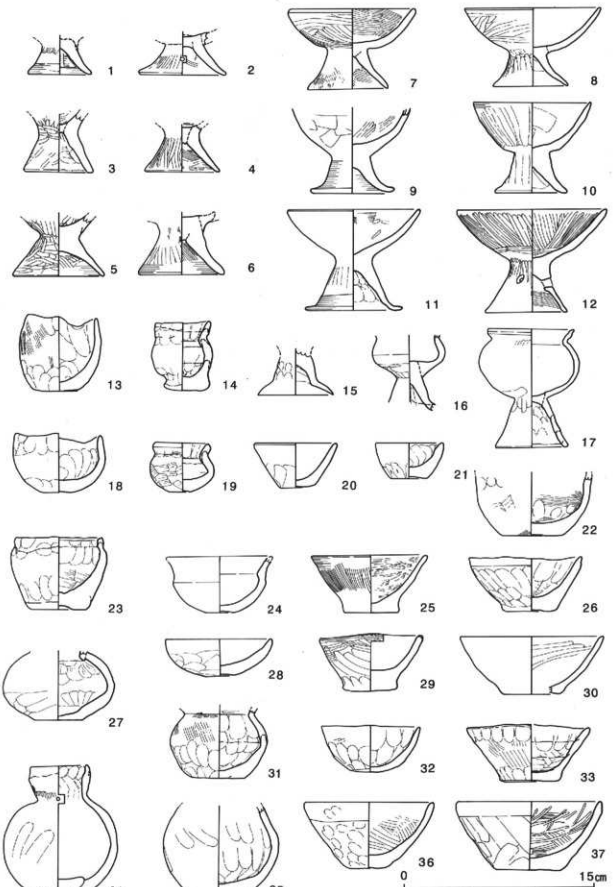
第36図　包含層出土土器実測図



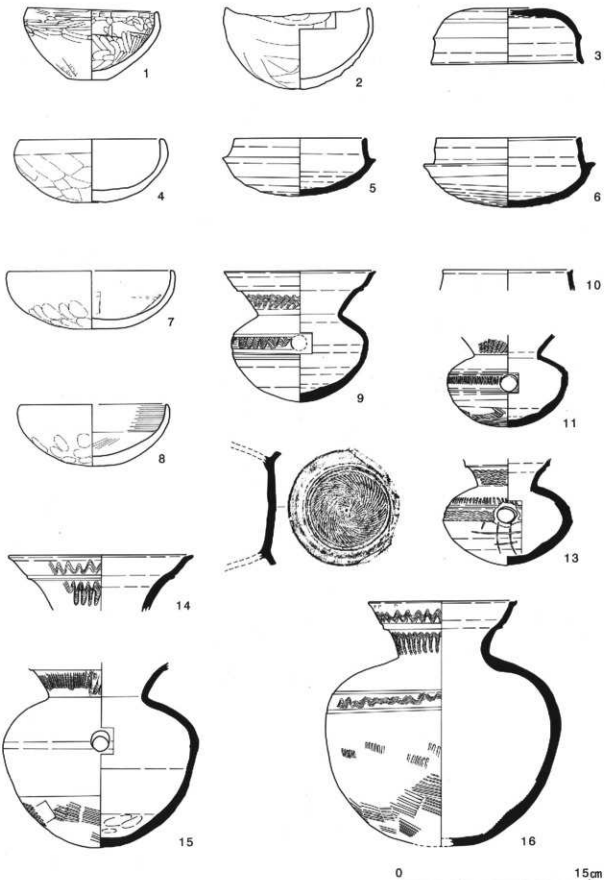
第37図　包含層出土土器実測図



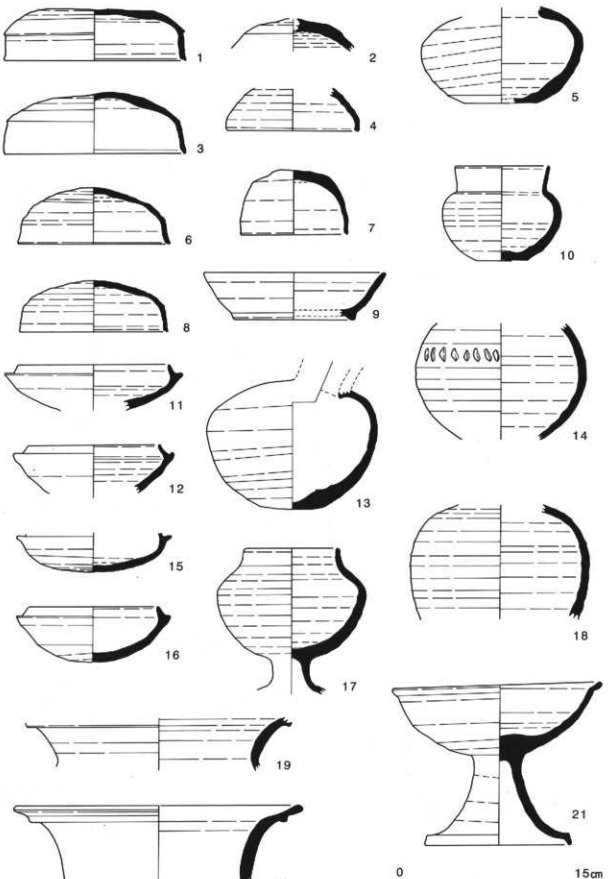
第38図　包含層出土土器実測図



第39図　包含層出土土器実測図



第40図　包含層出土土器実測図



第41図　包含層出土土器実測図

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面　②：内面	備考
1-1	1	4 R-11 SK10 P1	高坏	II期	胎土：密 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR8/3	脚部径：5.4 器高：(4.5)	浅い椀型の坏部を有し、裾部が広がる短い脚部につながる。	①坏部ミガキ、脚裾部ヨコナデ ②坏部ミガキ、脚部ナデ後裾部ヨコナデ	坏部一部、脚部1/2残存
1-2		4 SK2 P4	模倣坏	古墳後期	胎土：やや粗(径4mm以下の橙色粒子・黒色粒子多量、石英・砂粒少量) 焼成：良(軟) 色調：橙5YR7/6	口径：(13.1) 受部径：(15.5) 器高：(4.9)	内傾する口縁部を有し、わずかに開く受部から浅い椀型の坏部につながる。	①口縁部ヨコナデ、坏部ハケ後底部付近に指頭圧痕 ②口縁部ヘラナデ、坏部ナデ	口縁部1/4、体部1/2残存
1-3		4 S-13 SK10 P1	甕	I期	胎土：密(径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：灰白2.5Y7/1	口径：(10.5) 器高：(5.9)	短く外反する口頸部から張りが弱い胴部につながる。	①口縁部～胴部ハケ ②口縁部ハケ、胴部ナデ、板ナデ	口縁部～胴上部1/5残存
1-4		4 T-12 SK2 P1	鉢	II～III期	胎土：密(径1mm以下の礫) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	口径：(11.4) 器高：(8.2) 最大径：(11.1)	直線的に開く単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から中位が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部～胴部1/5残存
1-5		4 SK24 P2	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	口径：(13.9) 器高：(8.6)	直立気味のS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から肩部が張る胴部につながる。	①胴部斜状ハケ後口頸部ヨコナデ、肩部やや下位にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部1/2、胴上部1/4残存
1-6	1	4 T-15 古墳層 SK09 P2	壺	弥生中期後葉	胎土：密(白・黒・灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR5/3	底径：5.4 器高：(21.2) 最大径：19.4	直立した細長い頸部から下膨れの胴部につながる。底部は大きく突出する。	①頸部ハケ、胴部上半に波状紋や直線紋で横位に区画した櫛描直線紋を3段、紋様帯間をミガキ、胴部下半ミガキ ②頸部にシボリ痕	頸部～底部完形 胴部外面黒斑
1-7		4 R-10 弥生層 SD17	壺	弥生中期後葉	胎土：密(径3mm以下の礫、雲母、黒色粒子) 焼成：良 色調：灰白2.5Y7/1	口径：(18.6) 器高：(17.6)	外反する単純口縁を有し、長い頸部から緩やかに胴部につながる。	①口頸部縦ハケ、頸部櫛描直線紋を重畳 ②口縁部ヨコハケ、頸部ナデ	口縁部～頸部1/2残存
1-8	1	4 T-15 SD5	壺	弥生中期後葉	胎土：密(径1mm以下の礫、長石) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2	口径：(7.4) 器高：(6.5)	わずかに受け口状となる口縁部から筒状の頸部へとつながる。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、頸部櫛描直線紋を重畳させる ②口縁部ヨコナデ、頸部ナデ(絞り痕を残す)	口縁部～頸部1/3残存
1-9		4 S-12 SD6	壺	弥生中期後葉	胎土：密(径1mm程の礫・長石多量) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1		張りが弱い胴部を有する。	①胴部ミガキ後ヘラ描斜格子紋 ②胴部摩滅	胴部破片
1-10		4 S-13 SD6	壺	弥生中期後葉	胎土：密(径1mm程の礫・長石多量) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1		胴部下位が張る胴部を有する。	①胴部ミガキ後縦位の櫛描波状紋 ②胴部摩滅	胴部破片
1-11		4 S-12 SD6	甕	弥生中期後葉	胎土：密(径1mm以下の礫、赤色粒子少量) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	口径：(22.2) 器高：(8.7)	外反する単純口縁を有する。口縁部に最大径を持ち、胴部は張りを持たずに底部へとつながる。	①口縁部上下端にハケ状工具によるキザミ、口頸部ハケ ②口頸部ハケ、胴部ハケ	口縁部1/6残存
1-12	1	4 R-11・S-11 SD6・SP242	壺	弥生中期後葉	胎土：やや粗(白・灰色砂粒多量) 焼成：良 色調：黒褐7.5YR3/1	口径：6.5 底径：6.2 器高：(31.1) 最大径：(21.4)	わずかに外反する単純口縁を有し、細長い筒状の頸部から下位が張る胴部につながる。	①口頸部縦ミガキ、頸部～胴部上半櫛描直線紋及び下端に櫛描波状紋、胴部下半ヨコミガキ ②口頸部～胴部ナデ	
2-1		4 SK5、SD5	甕	I～II期	胎土：密(赤色小礫) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：(15.0) 器高：(8.5)	緩やかに外反する口縁部から張りが弱い胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、頸部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ハケ	口縁部～胴上部1/6残存
2-2		4 S-13 墓坑底面 取砂上層 2号墳主体部	甕	I期	胎土：密(径2mm程の長石少量) 焼成：良 色調：褐灰10YR6/1	口径：(9.0) 器高：(7.3) 最大径：(10.9)	く字に屈折する口頸部から中位が張る胴部につながる。口唇部には面を持つ。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口唇部ヨコナデ、口縁～胴部ハケ	口縁部～胴部1/4残存
2-3		4 S-15 2号墳南東区 裏込め上層	甕	I期	胎土：密(径1mm程の長石少量) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/3	口径：(9.5) 器高：(3.7)	緩やかに外反する口頸部から張りが弱い胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ハケ	口縁部1/5残存
2-4	1	4・5 S-14、T-14 砂礫層 東側排水溝、 SK14	壺	弥生中期後葉	胎土：密(黒雲母、クサレ、白・灰色の小礫・砂粒) 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR5/4	底径：6.9 器高：(10.0) 最大径：20.0	算盤玉状に強く張る胴部から突出した小さな底部につながる。	①胴部ミガキ ②胴部板ナデ	胴下部～底部完形
3-1		4 R-11 SP3	甕	古墳中期	胎土：密(径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：褐灰10YR6/1	口径：(16.2) 器高：(10.4)	大きく外反する単純口縁を有し、屈折する頸部から長胴気味の胴部につながる。	①口頸部ハケ後ヨコナデ、胴部ハケ後ミガキ ②口頸部ヨコナデ、胴部板ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部～胴上部1/6残存
3-2		4 R-11 SP3	甕	I～II期	胎土：密(径2mm以下の礫、径1mm以下の長石) 焼成：良 色調：褐灰10YR6/1	器高：(8.4)	張りが強い胴部から大きく広がる台部につながる。	①胴部ハケ後指頭圧痕、台部ハケ ②底部板ナデ、台部ハケ後ナデ	底部完形
3-3		4 R-12 SP4	壺	I期～II期	胎土：密(橙色粒子) 焼成：良 色調：褐7.5YR4/4	器高：(7.3)	外傾する複合口縁を有する。口唇部内面には薄い突帯を付す。	①口縁部ナデ ②口縁部ナデ	口縁部一部残存 駿河系
3-4		4 R-11 SP3	甕	I期	胎土：密(径1mm以下の礫、径0.5mm以下の長石少量) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR6/4	口径：(16.7) 器高：(6.0)	く字に屈折する口頸部を有し、丸みを帯びた胴部につながる。口唇部は丸く収める。	①口頸部～胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、頸部ナデ、胴部ミガキ	口縁部～胴上部1/5残存
3-5		4 R-12 SP4	S字甕	II期	胎土：密(白・灰・黒色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	器高：(2.5)	強く屈折する接合部を有する。	①台部不連続ナナメハケ ②摩滅	脚部完形
3-6		4 R-12 SP4	タタキ甕	I～II期	胎土：密 焼成：良 色調：褐灰10YR4/1		胴部破片	①胴部タタキ ②胴部ケズリ	胴部破片
3-7		4 R-12 SP4	布留式系甕	II期～III期	胎土：密 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：(8.2) 器高：(2.4)	直線的な口縁部を有する。口唇部は内側に肥厚させる。	①口縁部ナデ ②口縁部ナデ	口縁部1/8残存 摩滅化
3-8		4 R-12 SP4	布留式系甕	II期	胎土：密(白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(18.5) 器高：(4.6)	内湾気味の口縁部を有し、く字に屈折した頸部から球形の胴部につながる。口唇部は内側に肥厚し丸く収める。	①口頸部ヨコナデ一部胴部に及ぶ、胴部にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ、頸部やや下位から胴部をヘラケズリ	口縁部1/4残存
3-9		4 R-12 SP4	壺	II期	胎土：密(橙色粒子、長石) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/4	口径：(14.8) 器高：(8.4)	直線的に外傾する口縁部を有し、く字に屈折する頸部から丸みを帯びた胴部につながる。口唇部はわずかに外側に広がる	①口縁部ミガキ後ヨコナデ、頸部ミガキ(一部指頭圧痕) ②口唇部棒状突起、口縁部ミガキ、頸部ケズリ、胴部ナデ	口縁部1/5残存

第1表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
3-10		4 R-11 SP3	甕	Ⅱ期	胎土：密(径1.5mm以下の礫、径1mm以下の長石少量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(13.2) 器高：(9.5)	く字に屈折する口頸部を有する。口唇部はわずかに内側へ肥厚する。	①口縁部板ナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ、頸部指頭圧痕	口縁部1/6残存
3-11		4 R-11 SP3	壺	Ⅰ期	胎土：密(雲母多量) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	底径：(8.5) 器高：(2.1)	ほとんど突出しない底部を有する。底部は上げ底状を呈する。	①摩滅 ②板ナデ	底部1/4残存
3-12		4 S-14 SP7	壺	Ⅱ期	胎土：密(径3mm以上の礫、径1mm以下の石英) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/3	口径：(12.7) 器高：(3.2)	わずかに外反する口縁部を有する。	①口縁部ヨコナデ、頸部ケズリ ②口縁部ヨコナデ、頸部ケズリ	口縁部3/4残存
3-13		4 R-14 SP7	壺	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫、クサレ) 焼成：良(やや甘い) 色調：浅赤橙2.5YR7/4	口径：(14.6) 器高：(1.7)	短い折り返し口縁を有する。	①折り返し部指頭圧痕、頸部ハケ ②口縁部結節縄紋	口縁部1/6残存
3-14		4 S-14 SP7	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径4mm以下の礫、クサレ多量) 焼成：良(やや甘い) 色調：にぶい橙7.5YR7/4	底径：11.3 器高：(3.5)	やや突出した大型の底部を有する。	①底部ハケ ②摩滅	底部ほぼ完形
3-15		4 R-14 SP7	壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径2mm程の礫、径1mm以下の黒雲母) 焼成：良 色調：灰白5Y7/2		やや丸みを帯びた胴部を有する。	①胴部ミガキ後赤彩 ②胴部板ナデ	胴部破片、外面赤彩
3-16		4 S-14 SP7	S字甕	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫、黒雲母) 焼成：良 色調：灰白2.5Y7/1	口径：(18.0) 器高：(5.6)	直立気味のS字状口縁を有し、やや強く屈曲した頸部から張りの強い胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部指頭圧痕	口縁部1/8残存
3-17		4 S-14 SP7	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫・長石・黒雲母少量) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR6/4	底径：5.1 器高：(8.3)	やや寸が詰まった下膨れ状を呈する胴部から突出した底部につながる。	①胴部～底部ミガキ ②胴部板ナデ(指頭圧痕を残す)	胴部1/3残存、底部完形 外面黒斑
3-18		4 S-14 SP7	タタキ甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm程の礫多量、径1mm程の長石少量) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y5/1	底径：6.1 器高：(7.1)	張りの強い胴部からやや突出した底部につながる。	①胴部タタキ後棒状工具による線状痕 ②胴部ハケ後胴部下位をナデ	底部完形
3-19		4 R-14 SP7	壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径1mm以下の礫、白色粒子) 焼成：良 色調：灰白10YR8/2		断面三角形の折り返し部を有する。	①口縁部棒状工具による刺突 ②口縁部ハケ	口縁部破片
3-20		4 R-14 SP7	壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径2.5mm以下の礫) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4		断面三角形の折り返し部を有する。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ハケ後ヨコナデ	口縁部破片
3-21		4 S-14 SP7	タタキ甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径2mm以下の礫、長石) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2		張りが弱い胴部を有する。	①胴部タタキ ②胴部板ナデ	胴部破片
3-22		4 S-14 SP7	タタキ甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径3mm以下の白色粒子、微細の雲母少量) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2		く字に屈折する頸部から張りが弱い胴部につながる。	①胴部タタキ ②胴部板ナデ	胴上部破片 外面煤付着
3-23		4 S-14 SP7	タタキ甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径3mm以下の長石、径1mm以下の礫) 焼成：良 色調：黄橙7.5YR7/8		く字に屈折する頸部から張りが弱い胴部につながる。	①胴部タタキ ②胴部板ナデ	胴上部破片
4-1		4 S-13 SE3	S字甕	Ⅰ期	胎土：密 焼成：良 色調：褐灰7.5YR5/1	口径：(16.5) 器高：(2.7)	直立気味に強く屈折する口縁部から強く屈折する頸部につながる。口唇部に強い面を持つ。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ ②口縁部ヨコナデ	口縁部わずかに残存 口縁部外面一部煤付着
4-2	1	4 SE3	S字甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(クサレ、黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	脚部径：9.9 器高：(23.5) 最大径：(23.5)	やや肩部が張った丸みが近い胴部から直線的に開く台部につながる。脚部内面は折り返す。	①胴部羽状ハケ後肩部上位にヨコハケ、台部不連続斜めハケ ②胴部～台部ナデ	胴部1/3残存、台部完形
4-3	1	4 S-13 SE3	甕	Ⅱ期	胎土：密(径3mm以下の砂粒、径1mm以下の長石、石英少量) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR6/2	脚部径：8.8 器高：(3.9)	直線的に大きく開く台部を有する。台部端部は丸く収める。	①胴部～台部ハケ、端部ヨコナデ ②底部板ナデ(一部指頭圧痕を残す)、台部板ナデ後端部のみヨコナデ	台部ほぼ完形(胴部1/3欠損)
4-4		4 S-13 SE5	鉢	弥生中期後葉	胎土：密(白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2		口縁部は内傾し、口唇部外面に断面台形の粘土帯を付加し、その直下に2個1対の円孔を穿つ。	①口縁部2段の振幅が少ない波状紋(簾状紋) ②ナデ	口縁部破片 畿内Ⅲ～Ⅳ様式並行搬入品か
4-5		4 S-13 SE5	壺	Ⅰ期～Ⅱ期	胎土：密(灰・白色小礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(7.2) 器高：(9.0)	内傾気味に開く口縁部を有し、緩やかに屈折した頸部から下膨れの胴部につながる。口唇部には内傾面を持つ	①口縁部ミガキ、頸部～胴部ハケ後ミガキ ②口縁部ハケ、胴部指頭圧痕	口縁部～胴上部1/5、胴下部～底部1/2残存
4-6		4 S-13 SE5	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4		大きく外反する口縁部を有する。口唇部には強い面を持つ。	①口縁部ハケ後ヨコナデ ②口縁部櫛描波状紋	口縁部破片
4-7		4 S-15 SE5	壺	Ⅰ期	胎土：やや粗(黒色小礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2		直線的に外傾する口縁部に短い折り返し口縁を有する。	①口縁部摩滅 ②口縁部結節縄紋	口縁部破片
4-8		4 S-13 SE5	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密 焼成：良 色調：灰褐7.5YR4/2	口径：(16.6) 器高：(1.3)	大きく外反する口縁部を有する。口唇部はわずかにつまみ上げられる。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/12残存
4-9		4 S-13 SE5	大型壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(黒色砂粒) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：(22.2) 器高：(5.0)	直立気味に開く単純口縁を有し、緩やかに屈折する頸部につながる。	①口頸部ハケ ②口頸部ハケ	口縁部1/5残存
4-10		4 S-14 SE5	壺	Ⅰ期	胎土：密 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：13.6 器高：(9.6)	内傾気味の口縁部を有し、屈折した頸部から肩部の張らない胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ後ヨコナデ、肩部ハケ後板ナデ ②口縁部ハケ、頸部ナデ、肩部ハケ	口縁部完形、肩部1/4残存
4-11		4 S-14 SE5	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	器高：(8.1)	屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部～胴部ハケ(指頭圧痕を残す)	胴上部1/7残存
4-12		4 S-14 SE5	壺	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫、白色粒子、微細の雲母) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	器高：(8.4)	緩やかに開く口頸部を有する。	①口縁部ハケ、頸部ハケ後ヨコナデ、肩部結節縄紋 ②口縁部ハケ後縄紋、頸部板ナデ及びナデ	頸部1/2残存
4-13	2	4 S-14 SE5	高坏	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径3mm以下の砂粒、石英少量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	器高：(4.7)	底部に平面を持つ坏部から大きく開く脚部につながる。脚部内面には脚部内面に絞り痕を有する。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部上半ヘラ圧痕、下半ハケ	脚上部ほぼ完形

第2表 出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①:外面 ②:内面	備考
4-14		4 S-14 SK5	壺	I～II期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石) 焼成：良(やや軟) 色調：灰5Y6/1	底径：(5.0) 器高：(2.5)	突出しない底部を有する。底部はわずかに上げ底となる。	①摩滅 ②底部ハケ	底部1/4残存
4-15	1	4 S-14 SK5	ひさご壺	I期	胎土：密(径1mm以下の礫・白色粒子少量、微細の雲母) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/3	口径：14.6 器高：(13.0)	内湾気味に直立した口縁部を有し、く字に屈折した頸部から下膨れの胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、口縁部～胴部ハケ後ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部ハケ後指頭圧痕、一部ミガキ	口縁部完形、胴部一部残存
4-16	2	4 S-14 SK5	甕	弥生後期～II期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石) 焼成：良 色調：灰白2.5Y7/1	脚部径：9.3 器高：(7.4)	内湾気味に開く台部を有する。	①台部ハケ ②底部ハケ、台部ハケ	台部完形
4-17	5	4 S-14 SK5	有稜高坏	I期	胎土：密(径2mm以下の礫、白色粒子) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/4	脚部径：10.5 器高：(10.0)	坏底部に稜を持ち、接合部で緩やかに屈曲して直線的に開く脚部へとつながる。	①坏部ミガキ、脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部ハケ	坏底部1/4残存、脚部完形
5-1	3	4 Q-13、R-13 SK2	広口壺	I～II期	胎土：密(径2mm以下の礫、長石、微細の雲母) 焼成：良(やや軟) 色調：明褐灰7.5YR7/2	口径：(10.4) 底径：4.0 器高：11.0 最大径：(12.0)	直線的に外傾する口縁部を有し、く字に屈折する頸部から球形気味の胴部につながる。底部は上げ底状を呈する。	①胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部指頭圧痕	ほぼ完形(口縁部1/2、胴上部1/5欠損)
5-2	3	4 SK2	器台	II期	胎土：密(径1mm以下の礫、雲母少量) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：8.7 脚部径：10.9 器高：9.7	浅い受部から大きく広がる脚部につながる。口縁部は直立気味となり、口唇部は丸く収める。脚部には透かしを持つ。受部は貫通。	①口縁部ヨコナデ、受部～脚部ミガキ ②受部ミガキ、脚部上半ナデ、裾部ハケ	ほぼ完形(脚部一部欠損)
5-3	3	4 SK2	器台	II期	胎土：密(径2mm以下の礫多量、雲母) 焼成：良(軟) 色調：橙7.5YR7/6	口径：9.2 脚部径：11.5 器高：8.2	浅い椀型の受部から直線的に大きく開く脚部につながる。口縁部は丸く収める。脚部には透かしを持つ。	①受部ヨコナデ、脚部ミガキ ②受部摩滅、脚部ナデ、裾部ヨコナデ	完形
5-4	3	4 SK2	結合器台	II期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石、雲母少量) 焼成：良(やや脆い) 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：9.4 結合径：6.5 器高：(9.6)	直線的に開く口縁部を有し、屈折した頸部からやや膨らむ丸みの器部につながる(壺部分)。水平近くまで開く受部から裾部が大きく開く脚部につながる。口縁部はわずかに面を有する(器台部分)。	①口縁部ハケ、胴部ミガキ(壺部分)、受部～脚部ミガキ(器台部分) ②口縁部～胴部ミガキ(壺部分)、脚部ナデ(器台部分)	ほぼ完形(脚部欠損)
5-5	2	4 Q-13、R-13 SK2	直口壺	II期	胎土：密(1mm以下の礫、微細石英) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	口径：9.3 底径：5.6 器高：16.0 最大径：13.4	直線的に開く単純口縁を有し、く字に屈曲する頸部から球形の胴部につながる。底部はほとんど突出しない。	①胴部ミガキ ②胴部板ナデ	ほぼ完形(口縁部1/4、胴部一部欠損)
5-6	2	4 SK2	甕	II期	胎土：密(径2mm以下の礫・長石多量) 焼成：良 色調：外面橙5YR6/6	口径：13.2 脚部径：7.2 器高：19.7 最大径：15.7	短く外反する口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部から中位が張る胴部につながる。台部は直線的でやや短い。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ後下半部のみケズリ、台部ハケ ②口縁部ヨコハケ、胴部ケズリ、台部ケズリ	ほぼ完形(胴部一部欠損)
5-7	2	4 T13 SK-7	広口壺	I期	胎土：密(径0.5mm以下の礫・長石・黒雲母少量) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	口径：14.1 器高：(11.6) 最大径：(15.8)	口縁部は屈曲が弱いく字状を呈し、あまり屈曲しない頸部から球形を指向した胴部につながる。胴部下半には弱い稜を有する。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ後ミガキ ②口頸部ミガキ、胴部板ナデ、頸部下位に指頭圧痕を残す。	口縁部～胴部ほぼ完形(胴部一部欠損) 外面全体に煤付着
5-8		4 U-12・13 SK2	S字甕	II期	胎土：密(白色砂粒、石英、黒雲母多量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/3	口径：15.5 器高：(10.4) 最大径：(23.0)	鋭く屈曲したS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から中位が張る丸みを帯びた胴部につながる。口縁部上端はわずかにくぼむ。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後、やや下位にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/2、肩部3/4、胴上部1/3残存
5-9		4 Q-13 SK2	S字甕	II期	胎土：密(白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(14.3) 器高：(4.5)	屈折が弱いやや直立気味の口縁部を有し、やや強く括れた頸部から胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部に強く太い沈線胴部羽状ハケ後肩部ヨコハケ ②摩滅	口縁部1/4残存
5-10		4 SK2	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	口径：(11.8) 器高：(3.8)	横位に引き出されたS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部沈線、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部～肩部1/3残存
5-11	5	4 Q-13 SK3	S字甕	II期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石、黒雲母) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：(14.4) 器高：(5.1)	横位に引き出されたS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から肩部が張る球形に近い胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部やや上位にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部～肩部一部残存
5-12		4 SK5	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(13.4) 器高：(5.6)	横位に引き出されたS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部1/6、胴上部1/3残存
5-13		4 SK2	S字甕	I～II期	胎土：密 焼成：良 色調：明褐灰7.5YR7/1	脚部径：10.1 器高：(20.4) 最大径：(21.5)	球形に近い胴部を有し、直線的に開く台部につながる。	①胴部ハケ、台部不連続斜めハケ ②胴部ナデ、台部ナデ(指頭圧痕)	胴部1/3残存、底部～台部ほぼ完形(脚部1/4欠損) 胴部内外面煤付着
5-14	5	4 R-14 東側排水溝、 SK-71	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/4	口径：15.1 脚部径：10.1 器高：25.0 最大径：24.5	横位に引き出されたS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部からやや肩部が張った胴部につながる。台部は、直線的に開き、端部内面を折り返す。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後、肩部やや下位にヨコハケ、台部不連続斜めハケ ②口頸部ヨコナデ、台部ナデ	口縁部～台部4/5残存 焼け歪み顕著
6-1	5	4 R-14、T-14 SF1	壺	II期	胎土：密(白・黒色の小礫・砂粒、橙色粒子) 焼成：良 色調：灰白10YR8/1	口径：17.1 器高：(4.8)	大きく外反する口縁部からく字に屈折する頸部につながる。口唇部は強い面を有する。	①口頸部ヨコナデ、頸部ハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部ほぼ完形
6-2		4 S-14 SK5	壺	I～II期	胎土：密(径2mm以下の礫、径1mm以下の長石) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	底径：(3.5) 器高：(2.8)	ほとんど突出しない底部を有する。	①底部ミガキ ②底部板ナデ	底部1/3残存
6-3		4 S-15 SK6	高坏	II～III期	胎土：密(径4mm以下の礫、石英粒少量) 焼成：良 色調：灰褐5YR5/2	脚部径：(7.4) 器高：(5.3)	裾部が大きく広がる脚部を有する。	①脚部縦ミガキ後裾部ヨコナデ ②坏部ミガキ、脚部ケズリ後裾部ヨコナデ	脚部はほぼ完形(裾部1/4欠損)、内外面煤付着
6-4		4 R-11 SK22	鉢	I期?	胎土：密(黒色小礫、橙色粒子) 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR7/3	底径：7.6 器高：(2.3)	やや突出した底部を有する。底部は中央が小さく窪む	①底部ハケ ②底部ハケ	底部完形
6-5		4 S-14 SK6	屈折脚高坏	III期	胎土：密(径1mm以下の礫、微細黒雲母少量) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	口径：(18.4) 器高：(5.4)	浅く大きく外反する口縁部を有する。	①口縁部ヨコナデ、底部板ナデ ②口縁部ヨコナデ	坏部1/4残存 内外面煤付着
6-6	3	4 S-15 SK6	甕	II～III期	胎土：密(径1.5mm以下の礫、長石、径0.5mm以下の黒雲母) 焼成：良 色調：橙5YR7/6	脚部径：6.6 器高：(6.0)	直線的に開くやや短い台部を有する。	①台部指頭圧痕 ②底部板ナデ、台部板ナデ後上半に指頭圧痕	台部完形

第3表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
6-7		4 R-12 SP12	甕	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR8/3	口径：(17.5) 器高：(3.8)	わずかに外反する口縁部を有し、く字に屈折する頸部から丸みを帯びた胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ後ミガキ ②口縁部ハケ、胴部板ナデ	口縁部～胴上部1/6残存
6-8		4 R-12,T-12 SD12	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：やや粗(径4mm程の石粒、径0.5mm程の礫、白色粒子、黒雲母) 焼成：良(やや軟) 色調：灰白10YR8/2	口径：(18.6) 器高：(5.1)	大きく外反する二重口縁から屈折が弱い口頸部につながる。	①口縁部ヨコナデ、口頸部ハケ ②口縁部ヨコナデ	口縁部～頸部1/3残存
6-9		4 T-14 SD14,SP76	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(白色砂粒・小礫、灰色小礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	底径：5.0 器高：(7.1)	丸みを帯びた胴部から突出した底部につながる	①胴部ハケ ②胴部～底部ハケ	底部2/3残存 胴部外面・底部内面黒斑
6-10		4 Q-11 SD14	甕	弥生後期～Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫、白色粒子) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	裾部径：(8.7) 器高：(7.1)	長く直線的に開く台部を有する。	①台部ハケ ②台部板ナデ(指頭圧痕を残す)	台部1/2残存
6-11	3	4 C-22,Q-11・12,R-13 SD14	甕	Ⅰ期	胎土：密(砂粒多量、径0.5mm以下の石英・雲母) 焼成：良(軟) 色調：にぶい黄橙10YR7/3	裾部径：(8.6) 器高：(10.7)	中位が張る胴部を有し、裾部が広がる台部につながる。	①胴部摩滅、台部タタキ ②胴部ハケ、台部指頭圧痕	
6-12	4	4 Q-11・12 SD12	器台	Ⅱ期	胎土：密(径2mm以下の砂粒) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR6/2	裾部径：(9.3) 器高：(4.9)	直線的に大きく開く脚部を有する。	①脚裾部ハケ ②ハケ	脚部ほぼ完形(裾部一部欠損)
6-13		4 Q-11 SD14	タタキ甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径2mm以下の礫・径1mm以下の長石多量) 焼成：良(やや脆い) 色調：灰黄褐10YR6/2		張りが弱い胴部を有する。	①胴部タタキ	胴部破片
6-14		4 Q-11・12,R-12・13 SD14	甕	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径2mm以下の礫、径1mm以下の長石、微細黒雲母少量) 焼成：良 色調：灰白2.5Y7/1	口径：(16.0) 器高：(13.7) 最大径：(25.6)	直立した複合口縁を有し、屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ後ナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ハケ後ナデ	口縁部～胴上部1/2残存
6-15	3	4 Q-11・12,R-13,S-13 SP25	甕	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石) 焼成：良 色調：褐灰7.5YR6/1	口径：14.7 器高：(21.5) 最大径：20.1	直線的に開く単純口縁を有し、く字に屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口唇部ハケ状工具によるキザミ、口縁部～胴部ハケ ②口縁部ヨコハケ、胴部板ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部～胴上部完形、胴下部7/8残存
7-1	4	4 Q-12 暗茶灰色粘土混砂層	壺	弥生中期中葉	胎土：密(白・灰色砂粒、雲母多量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/4	器高：(19.8)	細長い頸部から丸みを帯びた胴部へとつながる。	①頸部に縄紋施紋後、波状沈線を施し、3条の横位沈線を加える。胴部には横位条痕後、条痕による連弧紋を施す。 ②ナデ	頸部4/5、胴上部1/3残存
7-2		4 S-16 SP275	壺	弥生中期	胎土：密(白・灰色砂礫) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	器高：(20.2) 最大径：(16.9)	細長い中膨らみの頸部から下膨れの胴部につながる。頸部の膨らみ部分にはヘラ描き列点紋が巡る。	①口頸部上半ミガキ後貼り上げ紋、頸部から胴部に2本1組のヘラ描き紋で区切った5段の櫛描直線紋を施す。紋様帯下部にはヘラ描き連弧紋がめぐる。 ②ナデ	頸下部～胴部1/3残存
7-3	4	4 R-13	壺	弥生中期後葉	胎土：密(雲母、長石、黒色粒子、砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(7.6) 器高：(12.9)	外反する単純口縁を有し、長い頸部から緩やかに胴部につながる。	①口頸部縦ハケ後口唇部をナデ、頸部ヘラ描き直線紋4本、胴部縦ハケ ②口縁部ヨコハケ、胴部ナデ	口縁部～肩部1/2残存
7-4		4 B地区SD	壺	弥生中期	胎土：密(白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	口径：(5.2) 器高：(5.0)	短くつまみ上げられた口唇部を有し、外反の弱い口縁部から筒状の長い頸部につながる。	①口唇部ハケ、頸部ミガキ ②頸部ハケ	口縁部～頸部1/2残存
7-5	4	5 W-14 黒色砂層	壺	弥生中期後葉	胎土：密(橙色粒子、砂粒、石英) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：7.6 器高：(8.8)	直線的に弱く開く口縁部～筒状に長い頸部へとつながる。	①口縁部～頸部ミガキ ②口縁部ミガキ、頸部絞り痕	
7-6	4	5 W-14 黒色砂層	壺	弥生中期後葉	胎土：密(径1mm程の礫・長石・黒雲母多量) 焼成：良 色調：灰白10YR7/1	口径：6.4 底径：5.6 器高：15.6 最大径：13.4	わずかに外反する口縁部を有し、筒状の頸部から下膨れの胴部につながる。底部ほとんど突出せず、上げ底となる。	①口縁部～底部ミガキ頸部付け根に隆帯突直線紋 ②口縁部ミガキ、頸部絞り痕	ほぼ完形(胴下部一部欠損)
7-7	4	4 R-13	壺	弥生中期後葉	胎土：密(径1mm以下の礫多量) 焼成：良(軟) 色調：灰白2.5Y7/1	底径：5.8 器高：(30.7) 最大径：(20.5)	細く長い頸部から胴部下位に最大径を有する胴部につながる。	①頸部～胴部ハケ、底部指頭圧痕 ②頸部～胴部上半ナデ(指頭圧痕残す)、胴部下半板ナデ	ほぼ完形(口縁部、胴部1/4欠損) 胴中部外面黒斑
7-8		5 Y-18N・19S,Z-18 黒色砂層	甕	弥生中期後葉	胎土：密(黒・橙色粒子、石英、黒雲母) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3		水平方向にまで大きく外反する口縁部から張りが弱い胴部へとつながる。	①口唇部キザミ、頸部指頭圧痕、胴部ハケ ②口頸部ナデ、胴部ハケ	
8-1		4 第2?トレンチ	壺	Ⅰ期	胎土：密(径4mm以下の礫、雲母、長石、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：(15.8) 器高：(10.0)	頸部に弱い屈折部を有し、内傾気味の口縁部を有する。	①口縁部ヨコナデ、頸部～肩部ハケ、頸部継ぎ目付近のみ板ナデ ②口縁部ヨコナデ、頸部板ナデ、肩部ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部ほぼ完形、頸部1/5残存
8-2		4 R-9 SK9	壺	Ⅱ期?	胎土：密(白色砂粒) 焼成：良 色調：灰褐5YR5/2		直線的に開く口縁部を有する。口唇部は丸く収める。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部破片 内面赤彩
8-3		5 Y-17 黒色砂層	壺	Ⅰ期	胎土：やや粗(径2mm以下の礫・赤色粒子多量) 焼成：良(やや軟) 色調：浅黄橙10YR8/4	口径：13.8 器高：(17.0) 最大径：(24.0)	内傾気味の単純口縁を有し、やや屈曲した頸部から下膨れの胴部につながる。口唇部には弱い面を持つ。	①口縁部～胴部ハケ、肩部にヘラ状工具によるミガキ状線 ②口縁部～胴部ハケ、頸部ナデ	口縁部3/4、胴上部1/2残存、口縁部少量の煤付着
8-4	4	4 Q-11	平底壺	Ⅰ期?	胎土：密(白、褐色小礫・粒子) 焼成：良 色調：暗褐7.5YR3/3	口径：(14.5) 底径：(5.0) 器高：18.9 最大径：20.4	直立気味の口縁部を有し、く字に屈折する頸部から中位が張る球形気味の胴部につながる。口唇部は丸く収める。底部はほとんど突出しない。	①口縁部摩滅、胴部ヘラミガキ ②口縁部摩滅、胴部ハケ後ナデ	口縁部1/5、胴上部2/3、胴下部4/5、底部1/4残存
8-5		5 A-P10・20	壺	Ⅰ期	胎土：密(砂粒多量、橙色粒子、礫) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y5/1	口径：14.7 最大径：(34.0) 器高：(17.0)	大きく外反する薄い折り返し口縁部を有し、緩やかにのびる頸部から丸みを帯びた胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ後ヨコナデ、頸部ナデ、胴部上半指オサエ、中位ハケ	
8-6		4 第18①、②トレンチ	鉢	Ⅰ期	胎土：密(白・黒色の小礫・砂粒、橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：(10.9) 器高：(7.0)	直線的に開く口縁部を有し、屈曲する頸部から肩が張らない胴部につながる。	①頸部ハケ後ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ハケ	口縁部1/2残存、頸部完形
8-7		4 SP34	壺	Ⅰ期	胎土：密(橙色粒子、灰色小礫、黒雲母) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(14.4) 器高：(5.6)	内傾気味の口縁部から屈曲した頸部につながる。頸部には低い突帯がめぐる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ	口縁部1/4残存

第4表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面　②：内面	備考
8-8		4 P-11 暗灰色砂質粘土層	壺	Ⅱ期	胎土：密(長石、橙色粒子、灰色小礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：15.3 器高：(15.9)	外反する短い折り返し口縁を有し、く字に屈折する頸部から肩の張りが弱い胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ後ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ	口縁部ほぼ完形、胴上部残存 頸下部～肩部煤付着 転用土器
8-9	5	4 西側拡張区 排土	小型壺	Ⅰ期	胎土：密(径5mm程の褐色小礫・粒子、径3mm程の暗灰色の小礫、径4mm程の白色小礫・粒子) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	底径：5.6 器高：(12.8) 最大径：13.1	頸部が弱く屈折し、下膨れの胴部につながる。最大径付近に稜線を有する。	①胴部ハケ後ヘラミガキ ②胴部ハケ(胴部付近接合痕を残す)	頸部～底部2/3残存
9-1		4 Q-13黒色砂層	壺	弥生後期	胎土：密(黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR6/2	口径：(18.3) 器高：(5.3)	大きく外反する折り返し口縁から直立気味の頸部につながる。	①口唇部縄紋 ②口縁部ミガキ	口縁部1/4残存
9-2	5	5 X-16、Y-17	壺	Ⅰ期	胎土：密(礫多量、橙色粒子、砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2		大きく外反する折り返し口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から下膨れの胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、折り返し端面指オサエ、頸部ハケ後ヨコナデ、肩部結節縄紋、胴部ハケ ②口縁部結節縄紋、頸部ハケ、胴部ナデ	
9-3	5	5 Y-17	壺	Ⅰ期	胎土：密(橙・小豆色粒子、石英、砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：15.7 器高：8.8	直線的大きく開く折り返し口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から丸みを帯びた胴部へとつながる。折り返し口縁部は薄く幅広い。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、肩部結節縄紋、胴部ハケ ②口縁部結節縄紋、頸部ナデ、肩部指オサエ、胴部ヘラナデ	9-4と同一個体か
9-4		5 A-P10	壺	Ⅰ期	胎土：密(橙色粒子、石英、礫) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：14.7 器高：(30.0)	直線的大きく開く折り返し口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から丸みを帯びた胴部へとつながる。折り返し口縁部は薄く幅広い。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、肩部結節縄紋、胴部ハケ ②口縁部結節縄紋、頸部ナデ、肩部指オサエ、胴部ヘラナデ	
9-5		5 Y-17 黒色砂層	壺	Ⅰ期	胎土：密(砂粒、礫、橙・小豆色粒子) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/3	口径：14.6 器高：(6.7)	大きく外反する折り返し口縁部を有し、緩やかに頸部へとつながる。折り返し口縁部は断面三角形を呈する。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、頸部ハケ後ナデ、肩部結節縄紋 ②口縁部結節縄紋、頸部ハケ、肩部指オサエ	
9-6	5	5 Y-17	壺	弥生後期～Ⅰ期	胎土：粗(径1～5mm程の礫・白色粒子多量) 焼成：良(やや軟) 色調：灰白10YR8/2	底径：8.7 器高：(32.0) 最大径：27.1	外反する口縁を有し、緩やかに屈曲した頸部から下膨れの胴部につながる。胴部下位に稜を持ち、底部はやや突出する。	①肩部に櫛描羽状紋と結節縄紋、胴部ハケ後、ミガキ、頸部付近ハケ ②口縁部縄紋、頸部ハケ	ほぼ完形(口縁部・胴部1/3欠損)
9-7		5 集水桝	壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：やや粗(径3mm以下の礫多量、径1mm以下の赤褐色粒子、黒雲母少量) 焼成：良(軟) 色調：灰白10YR8/2	口径：(15.4) 器高：(6.3)	直線的に開く薄く幅広い折り返し口縁を有し、屈折する頸部を有する。	①口頸部ハケ ②口頸部ハケ	口縁部1/3残存
9-8	5	4 E地区3	壺	Ⅰ期	胎土：密(クサレ、長石、黒雲母、橙色粒子、灰色小礫) 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR5/3	口径：12.5 器高：(5.5)	薄い折り返し口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部につながる。	①頸部ハケ ②口縁部ハケ	口縁部完形
9-9		4 K-13 SF344	壺	弥生中期後葉	胎土：密(径1mm以下の礫、白色粒子) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR6/3	口径：(12.7) 器高：(1.9)	大きく外反する口縁部を有する。口唇部はわずかに折り返す		口縁部1/6残存
10-1	6	5 Z-17 黒色砂層 P2	壺	Ⅰ期	胎土：密(石英、長石、礫、白色粒子) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	口径：14.6 最大径：24.0 器高：(22.4)	外反する折り返し口縁部を有し、弱く屈曲した頸部からやや下膨れ気味の球形の胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部ナデ	
10-2	6	4 U-13 暗青灰色粘土層	直口壺	Ⅱ期	胎土：密(径5mmまでの礫、雲母、長石、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：(17.4) 器高：(7.2)	直線的に開くやや厚手の口縁部を有する。	①口唇部ヨコナデ、口縁部ハケ後一部ミガキ ②口縁部ミガキ	口縁部ほぼ完形
10-3	5	5 集水桝	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm程の礫多量、径0.5mm程の黒雲母) 焼成：普通(器壁は脆い) 色調：黄灰2.5Y6/1	口径：(7.1) 底径：4.5 器高：9.0	わずかに開く単純口縁を有し、ゆるやかに屈曲する頸部から下膨れの胴部につながる。底部はやや突出する。	①胴部ハケ ②口縁部ハケ、胴部ナデ	ほぼ完形(口縁部2/3欠損) 底部内外面黒斑
10-4	6	5 Y-17	壺	Ⅰ期	胎土：密(礫、黒雲母、石英) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：9.2 底径：4.3 最大径：11.2 器高：11.7	直線的に開く口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部から下膨れ気味の胴部へとつながる。底部はほとんど突出しない。	①口縁部板ナデ後ナデ、肩部櫛描波状紋、胴部板ナデ後ミガキ ②口縁部ミガキ、頸部～胴部ナデ	口縁部内面及び外面全面赤彩
10-5	5	4 Q-9 排土	壺	弥生後期	胎土：密(長石、クサレ、橙色粒子、灰色小礫) 焼成：良 色調：明褐灰5YR7/2	口径：14.4 底径：5.7 器高：35.3 最大径：25.8	大きく外反する単純口縁を有し、低い突帯を有する頸部から球形の胴部につながる。底部はやや突出する。	①口唇部及び頸部突帯キザミ、頸部ハケ、肩部櫛描直線紋と波状紋の交互施紋後、5個1組の円形浮紋を貼り付ける。紋様帯下段には櫛状刺突を施す。胴部ミガキ ②胴部ハケ	ほぼ完形、口縁部・胴部外面黒斑
10-6		4 K-9 SK9	壺	Ⅱ期?	胎土：密(赤色砂粒) 焼成：良 色調：灰褐5YR5/2		直線的に開く口縁部を有する。口唇部に丸く収め、浅いキザミを施す。	①口縁部ナデ ②口縁部結節縄紋	口縁部破片、内面赤彩
10-7		4 T-12 SD34	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の白色粒子) 焼成：良 色調：浅橙5YR8/3		大きく開く口縁部を有する。口唇部は上方に短くつまみ上げ、浮紋を付す。	①口縁部ミガキ ②口縁部ミガキ後櫛刺突紋	口縁部破片
10-8		4 東側排水溝	壺	Ⅰ期	胎土：やや粗(橙色粒子、白・灰色砂礫多量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：14.3 器高：(17.6)	外傾した複合口縁部を有し、やや強く屈曲した短い頸部からやや丸みを帯びた胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ、頸部～胴部ハケ	口縁部ほぼ完形、胴上部1/3残存
10-9		4 R-14 拡張部分(P-3東側掘込み)	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(橙色粒子、白・灰色小礫多量) 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR8/4	口径：15.6 器高：(11.2)	外傾した拡張口縁を有し、屈折した短い頸部から胴部につながる。口縁部外面には2本1組の棒状浮紋を数箇所に施す。頸部には低い突帯を施す。	①口縁部ハケ、頸部ハケ、胴部ミガキ ②口縁部ハケ	口縁部～肩部完形
11-1	7	5 X-18	壺	Ⅰ期	胎土：密(径4mm以下の礫) 焼成：良(やや軟) 色調：褐7.5YR4/3	口径：12.8 底径：6.5 器高：28.1 最大径：23.9	外反する単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から中位が張る胴部につながる。底部は突出する。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、胴部ハケ後ミガキ ②口縁部ハケ、胴部ナデ(指頭圧痕残す)	ほぼ完形(口縁部一部、胴部1/7欠損)
11-2	6	5 W-15 暗灰色粘土層	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：やや粗(径2mm以下の礫多量、径1mm以下の長石) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	底径：3.0 器高：(13.6) 最大径：15.3	大きく外反する二重口縁を有し、く字に強く屈折した頸部からやや下膨れの球形の胴部につながる。底部はわずかに上げ底状となる。	①頸部ハケ、胴部下半ミガキ ②胴部上半指頭圧痕、中位～下位板ナデ	ほぼ完形(口縁部欠損)
11-3	6	5 P12	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の黒雲母、長石、白色粒子) 焼成：良(やや軟) 色調：褐灰10YR6/1	口径：(9.1) 底径：5.7 器高：14.5 最大径：(13.8)	緩やかに外反する単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部からやや下膨れの胴部につながる。底部はやや突出する。	①口縁部縦ミガキ、胴部ミガキ、底部横ケズリ ②口縁部縦ミガキ、胴部ナデ、底部ケズリ	ほぼ完形(口縁部3/4、胴部一部欠損)

第5表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
11-4	6	4 U-11～12、V-11 暗青灰色粘土層下面	壺	Ⅱ期	胎土：密(クサレ、長石、橙色粒子、灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	底径：6.2 器高：(21.2) 最大径：25.7	く字に屈折する頸部から偏球形の胴部につながる。突出した底部を有する。	①頸部ヨコナデ胴部ハケ後下半部のみミガキ ②胴部～底部ハケ	胴部～底部約3/4残存 胴部外面黒斑
11-5	7	5 T-11 黒色砂層	壺	Ⅱ期	胎土：やや粗(径1mm程の礫・長石多量) 焼成：やや不良(脆い) 色調：灰褐7.5YR4/2	口径：(12.5) 器高：(12.3)	短く外反する単純口縁を有し、く字に屈折する頸部から偏球形の胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②胴部ナデ、胴部ハケ	口縁部1/4～胴部残存
11-6	6	4 P-11・Q-12・R-12 黒色砂層・暗灰色砂質粘土層・B地区40・41	壺	Ⅱ期	胎土：密(白・灰色の小礫・砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR6/4	底径：6.8 器高：(8.4) 最大径：19.8	朝顔状に開く口頸部から屈折した頸部を有し、偏球形の胴部へとつながる。底部はほとんど突出しない。	①頸部ヨコナデ、胴部ミガキ ②胴部板ナデ	
12-1	7	4 R-9	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径3mm以下の礫、径1mm以下の長石、黒雲母) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：13.5 底径：6.1 器高：22.6 最大径：23.3	直線的に開く単純口縁を有し、屈折する頸部から中位が張る胴部につながる。底部は突出する。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、頸部ナデ、胴部ハケ一部ナデ	ほぼ完形(口縁部1/4、胴部一部欠損) 胴下部煤付着
12-2	7	5 Z-17 黒色砂層 A-F3	壺		胎土：密(橙・黒色粒子、砂粒、石英、黒雲母) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：15.8 底径：6.8 最大径：20.2 器高：25.0	直線的に開く口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部からやや下膨れ気味の胴部へとつながる。底部はほとんど突出しない。	①口縁部ヨコナデ、胴部板ナデ ②口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ナデ	
12-3	7	4 B地区70・73	壺	Ⅱ期	胎土：密(長石、黒雲母、白・灰色の小礫・砂粒多量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：11.2 器高：(17.8) 最大径：(23.2)	外反する口縁部を有し、く字に屈折する頸部からやや肩部が張った下膨れの胴部につながる。	①口縁部ハケ後頸部ヨコナデ胴部ミガキ ②口縁部～頸部ヨコナデ、胴部ハケ後板ナデ	
12-4		5 Z-17 黒色砂層 S-5～6	壺	Ⅲ期	胎土：密(砂粒多量、礫、石英、橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	底径：5.0 最大径：(22.6) 器高：(22.8)	やや縦長の球形の胴部を有し、突出した小さな底部へとつながる。	①胴部ハケ、底部指頭圧痕 ②頸部指オサエ、胴部ハケ	
12-5		5 Y-18 東トレンチ①	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(長石、石英、砂粒、橙色粒子、礫) 焼成：良 色調：褐7.5YR4/3	底径：(8.0) 最大径：(24.1) 器高：(21.0)	球形に近い胴部を有し、やや突出した底部へとつながる。	①胴部ハケ後下半部をミガキ ②頸部指オサエ、胴部ハケ	
12-6	7	4 Q-11	壺	Ⅲ期	胎土：密(クサレ、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：浅黄橙10YR8/4	口径：15.6 器高：(25.5)	開きの少ない口縁部を有し、鋭くく字に屈折する頸部から長胴化した胴部につながる。口縁部の折り返しは薄く幅広い。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ハケ(一部ナデ)	
13-1	8	5 S-9	壺	Ⅰ期	胎土：密(径2mm以下の礫、長石、微細黒雲母多量) 焼成：良(やや脆い) 色調：にぶい赤褐5YR5/3	底径：7.8 器高：(26.0) 最大径：(27.5)	内湾気味の単純口縁を有し、やや屈曲が強い頸部から胴部につながる。	①胴部ハケ後ミガキ、底部ケズリ ②胴部ナデ	胴部1/2残存、底部完形
13-2		4 SP54	S字甕	Ⅰ～Ⅲ期	胎土：密(石英、長石、白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(15.8) 器高：(10.2) 最大径：(18.2)	直線的に開く短い受け口状口縁を有し、屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部板ナデ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部～胴上部1/4残存
13-3		4 R-13	甕	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(長石、黒雲母、白・灰色の礫・小礫多量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(15.9) 底径：6.6 器高：(17.5) 最大径：(24.5)	口唇部がわずかに外反する単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から球形の胴部につながる。底部は大きく突出する。	①口縁部摩滅、頸部ハケ、胴部ハケ ②口縁部ハケ、胴部ハケ	口縁部～胴部1/2残存、底部完形
13-4	8	5 Y-17、Z-17 黒色砂層 S-5・7・8	壺	Ⅲ期～中期	胎土：密(橙色粒子・砂粒多量、石英、長石、礫、黒雲母) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/4	口径：14.8 底径：9.6 最大径：(26.0) 器高：(27.5)	直線的に開く口縁部を有し、球形に近い胴部から、やや突出した底部へとつながる。口唇部には面を持つ。	①口縁部～胴部ハケ後ミガキ ②口縁部ハケ、胴部上半ナデ、胴部下半ハケ	
13-5		4 R-13・14 B地区76、79、 黒色砂層	大型甕	Ⅱ期～Ⅲ期	胎土：やや粗(石英、白・灰色の小礫・砂粒) 焼成：良 色調：暗灰黄2.5Y4/2	口径：(27.2) 器高：(16.7) 最大径：(33.9)	わずかに外反する単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口唇部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ、胴部ナデ	口縁部1/3、胴上中部1/3残存
14-1		4 R-14 拡張部分(P-2東側溝込み) 古墳層	壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(黒雲母、クサレ、橙色粒子、白・灰色の砂粒・小礫・礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(11.4) 器高：(9.2)	直線的に開く短い単純口縁を有し、屈折した頸部から丸みを帯びた胴部へとつながる。	①頸部ハケ、胴部ミガキ ②口縁部ハケ、胴部ナデ	口縁部ほぼ完形(口唇部一部欠損)、肩部1/4残存
14-2		4 東側排水溝	甕	Ⅱ期	胎土：粗(黒雲母、白・灰色小礫多量) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：(13.9) 器高：(5.2)	わずかに外反する口縁部からく字に屈折する頸部につながる	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/4残存
14-3		4 T-18 東側排水溝	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(黒雲母、クサレ、灰色小礫・砂粒) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/4	口径：16.9 器高：(11.1)	直線的に開く口縁部から緩やかに屈曲する頸部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ	口縁部ほぼ完形、頸部4/5残存
14-4	8	5 X-13・Z-15 黒色砂層	壺	Ⅲ期	胎土：密(礫、石英、砂粒、橙色粒子) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	口径：11.2 底径：8.6 最大径：24.4 器高：24.4	外反する口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部から球形の胴部へとつながる。底部はやや突出する。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部板ナデ(一部指頭圧痕を残す)	
14-5		5 東側排水溝	壺		胎土：密(礫・砂粒多量、橙色粒子、長石) 焼成：良 色調：灰白7.5YR8/2	底径：7.6 最大径：27.0 器高：(22.6)	鋭く屈折した頸部から球形の胴部を有し、突出しない底部へとつながる。	①胴部板ナデ ②胴部ナデ(指頭圧痕を残す)	
14-6	8	4 R-14 黒色砂層上面	壺	Ⅱ期	胎土：密(白・灰色の小礫・砂粒、橙色粒子) 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR8/3	口径：17.0 器高：(6.2)	やや大きく外反する口縁部からく字に屈折する頸部につながる。	①摩滅 ②口縁部ヨコナデ	口縁部ほぼ完形
14-7		4 U-138	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径4mm以下の礫、長石、雲母) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	口径：(13.0) 器高：(3.8)	外反する単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から肩部につながる。	①口頸部ハケ後ヨコナデ ②頸部ハケ	口縁部1/3残存
14-8		5 Y-17	壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径2～3mm以下の石粒多量、微細黒雲母) 焼成：良(やや軟) 色調：にぶい橙5YR7/3	口径：13.2cm 器高：(8.2)	外反する単純口縁を有し、屈折した頸部から胴部につながる。口唇部には強い面を持つ。	①頸部ハケ ②胴部ナデ	口縁部1/5残存 内外面黒色付着物

第6表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面　②：内面	備考
14-9	8	4 B地区42	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(灰色小礫、白色砂粒、黒雲母) 焼成：良 色調：浅黄橙10YR8/3	口径：(26.6) 器高：(5.2)	上方につまみ上げた口縁部を有し、大きく外反する短い口縁部からく字に屈折する頸部につながる。頸部には低い突帯がめぐる。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/3残存
14-10		4 T-14S	壺	Ⅰ期～Ⅱ期	胎土：密(白・黒色の小礫・砂粒、橙色粒子) 焼成：良 色調：灰白7.5YR8/2	口径：(13.4) 器高：(5.1)	大きく外反する口縁部から緩やかな頸部につながる。口唇部は拡張気味の強い面を有する。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/3残存
14-11		4 F-11	壺	Ⅱ期	胎土：密(白色砂粒、黒雲母) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	口径：(13.4) 器高：(5.4)	大きく外反する口縁部からく字に屈折する頸部につながる。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/4残存
15-1	9	5 NW-24	鉢	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(赤・橙色粒子、礫、石英、砂粒) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	口径：8.7 底径：3.8 器高：4.1	直立した口縁部から椀形の胴部につながる。	①胴部ナデ ②胴部ヘラナデ	
15-2		4 T-13 SP26	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫・白色粒子・長石多量) 焼成：良 色調：赤橙10R6/6	底径：(8.4) 器高：(2.5)	丸みを帯びた胴部から突出した底部につながる。	①胴部ハケ ②底部板ナデ	底部1/4残存
15-3	9	4 R-13 黒色砂層	壺	Ⅱ期	胎土：密(白と灰色の小礫含有) 焼成：良好 色調：灰褐7.5YR6/2	口径：11.5 器高：(4.6)	直線的に開く厚い折り返し口縁から屈折した頸部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ後ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部完形
15-4	9	5 Y-17	壺	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(径1.5mm以下の礫、長石、赤褐色粒子を含む) 焼成：良好(やや軟) 色調：浅黄橙7.5YR8/3	口径：12.5 器高：(16.2)	頸部が屈折して外反する口縁部を有する。口唇部には弱い面を持つ。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ、頸部ナデ、胴部上半ハケ、下半板ナデ	口縁部～胴上部1/3残存
15-5		4	二重口縁壺	Ⅲ期	胎土：密(石英、黒雲母、灰色小礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(17.5) 器高：(5.9)	外反する口縁部中位に低い段を作ることによって二重口縁状となるもの。口唇部には強い面を有する。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/4残存
15-6	9	5 Y-16 黒色砂層	壺	Ⅲ期	胎土：密(橙色粒子、長石・小礫多量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/4	底径：5.3 最大径：14.2 器高：(9.3)	倒卵形の胴部を有し、突出した底部へとつながる。	①胴部ミガキ ②胴部指オサエ、胴部ハケ	
15-7		4 R-13	壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(黒雲母) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：(19.9) 器高：(20.4)	内湾気味の素縁口縁を有し、く字に屈折する頸部から肩部が張った倒卵形の胴部につながる。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、頸部ハケ、胴部ミガキ ②口縁部摩滅、頸部ナデ、胴部板ナデ	口縁部～肩部1/5残存
15-8	9	4	鉢	Ⅱ期？	胎土：密(白・灰色の小礫・砂粒) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	口径：(11.3) 底径：4.1 器高：12.5 最大径：(14.2)	外反する口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部から球形に近い胴部につながる。口唇部は丸く収め、底部はわずかに上げ底となる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部ナデ	口縁部1/4、胴上部1/2、胴下部1/3残存、底部完形 焼け歪み顕著
15-9	8	4 K-9	壺	Ⅱ期	胎土：密(雲母、長石、砂粒) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	口径：(14.6) 器高：(18.9) 最大径：(20.1)	内湾する短い口縁部を有し、屈折する頸部から倒卵形の胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ後ヨコナデ、胴部ハケ後下半部のみミガキ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ(指頭圧痕残す)	口縁部ほぼ完形、胴上部一部残存
16-1		4 Q-12-13 B地区23-26	大型壺	Ⅲ期	胎土：密(橙色粒子多数、砂粒、長石、礫) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/3	最大径：(55.9) 頸径：(13.5)	緩やかに屈曲する頸部を有し、下膨れの胴部につながる。	①頸部4段の結節縄文後円形浮紋、肩部ミガキ、胴部摩滅 ②頸部～胴部摩滅、底部ハケ	頸部～胴部1/3残存 胴部外面炭化物付着
17-1	10	5 N-18-19-21	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：密(石英多量、礫、橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR5/4	口径：17.1 器高：(10.1)	短く開く二重口縁を有し、屈折する頸部へとつながる。	①口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ハケ、肩部櫛描直線紋と波状紋の交互施紋 ②口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ミガキ、肩部指頭圧痕	
17-2	10	4 R-14 黒色砂層 B地区33	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：密(石英、灰・白色小礫、黒雲母多量) 焼成：良 色調：褐7.5YR4/3	口径：16.8 器高：(10.4)	二重口縁状に大きく開く口縁部を有し、鋭く屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口縁部櫛刺突羽状紋、頸部縦ハケ、胴部櫛描直線紋と波状紋の交互施紋 ②口縁部櫛刺突羽状紋	口縁部～肩部4/5残存
17-3	9	4 U-13N	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：やや粗(石英、雲母、長石、橙色粒子、白・灰色の小礫・砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	口径：16.9 器高：(15.6)	二重口縁から屈折した頸部につながる。胴部は下半部に最大径を持つ。	①口縁部ヨコナデ後櫛刺突羽状紋、頸部ハケ後ヨコナデ、肩部櫛描直線紋と波状紋の交互施紋 ②口縁部櫛刺突羽状紋、頸部～胴部ナデ	
17-4		5 K-16-16S、T-17-2-17 黒色砂層 E-1	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：密(橙色粒子、石英、礫、砂粒、長石) 焼成：良 色調：橙5YR6/6	底径：7.0 最大径：(28.0) 器高：(27.4)	下膨れ気味の球形の胴部から、突出した底部へとつながる。	①肩部櫛描直線紋と波状紋の交互施紋後、5個1組の円形浮紋を4箇所に施す、胴部ハケ後ミガキ ②胴部ハケ	
17-5	9	4 T-14S	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：密(径4mm以下の礫、長石、雲母) 焼成：良 色調：褐灰7.5YR6/1	口径：(17.7) 器高：(5.0)	二重口縁状に大きく開く口縁部を有する。頸部は屈折する。	①口縁部ヨコナデ後櫛刺突羽状紋、頸部縦ハケ、胴部摩滅 ②口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ミガキ、胴部ナデ	口縁部1/5残存
17-6		4 排水溝	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：密(長石、砂粒、雲母) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	口径：(19.5) 器高：(6.0)	二重口縁状に大きく開く口縁部を有する。	①口縁部ヨコナデ後櫛刺突羽状紋、頸部縦ハケ ②口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ナデ	口縁部1/4残存
17-7	9	4 Q-13	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：やや粗(石英、黒雲母、橙色粒子、灰色小礫、白色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：(20.2) 器高：(7.7)	二重口縁から屈折した頸部につながる。頸部には低い突帯を付す。	①口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ハケ後ヨコナデ ②口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ミガキ	口縁部2/3残存
17-8	10	5 NW-15	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：密(礫、石英、黒雲母、橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR5/3	口径：15.3 器高：(5.0)	短く開く二重口縁を有し、屈折する頸部へとつながる。	①口縁部櫛刺突紋、頸部ハケ、肩部櫛描直線紋 ②口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ミガキ	
17-9		5 N-18	柳ケ坪型壺	Ⅲ期	胎土：密(石英多量、橙色粒子、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/3	口径：15.7 器高：(8.4)	短く開く二重口縁を有し、屈折する頸部へとつながる。	①口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ハケ、肩部櫛描直線紋 ②口縁部櫛刺突羽状紋、頸部ミガキ、肩部指オサエ	
18-1	10	2-5 L-5、K-16 西側中央①	二重口縁壺	Ⅰ期	胎土：密(礫多量、長石、橙色粒子) 焼成：良 色調：浅黄橙10YR8/3		直線的に外傾する二重口縁部から直立した筒状の頸部へとつながる。	①口縁部ヘラ描直線紋後下位に竹管紋を有する円形浮紋を貼付、頸部ハケ ②口縁部ヨコナデ、頸部ナデ	

第７表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
18-2		4 東側赤水溝	二重口縁壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(石英、黒雲母、白色粒子) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	器高：(20.7) 最大径：(27.0)	下方に垂下させた二重口縁部を有し、大きく外反する口縁部からく字に鋭く屈折する頸部を経て球形の胴部につながる。	①口縁部～胴部ミガキ ②摩滅	口縁部(口唇部欠損)～胴下部1/4残存
18-3		4 K-14	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(石英、橙色粒子、礫、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR4/3	口径：(20.3) 器高：(8.0)	大きく直線的に開く二重口縁を有し、やや緩やかに屈曲する頸部につながる。	①口頸部ハケ後ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ	口縁部～頸部1/4残存
18-4	10	包含層	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(長石・小礫多量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2		大きく外反する口縁部から、明確に屈折する段を有し、緩やかに外反する頸部へとつながる。	①口縁部～頸部ミガキ ②口縁部ミガキ	
18-5		4 Q-12 包含層	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(白・灰色の小礫・礫) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/4	口径：15.9 器高：(5.0)	大きく外反する二重口縁を有する。内面の段は退化している。	①口縁部ヨコナデ、頸部ヨコナデ ②口縁部ミガキ、頸部ハケ	口縁部1/4残存
18-6	10	5 V-17 包含層	二重口縁壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(石英、黒雲母、砂粒) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	口径：16.0 器高：(5.4)	大きく外反する二重口縁を有する。	①口唇部櫛刺突紋、口縁部～頸部ミガキ ②口縁部～頸部ミガキ	
18-7	10	4 Q-12 暗灰色砂質層	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(長石、橙色粒子、白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：19.7 底径：11.0 器高：30.6 最大径：26.5	鋭く屈折した二重口縁を有し、屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ後、肩部波状紋 ②口頸部ヨコナデ	口縁部～底部2/3残存 胴部外面黒斑
18-8		4 V-13N 包含層	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(橙色粒子、黒雲母、白色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/4	口径：(16.9) 器高：(6.9)	大きく外反する二重口縁を有し、細い筒状の頸部につながる。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部端櫛刺突紋、口縁部ヨコナデ	口縁部～頸上部1/3残存
18-9		4 T-16 南辺東側 赤水溝	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(灰・白色小礫多量) 焼成：良 色調：橙5YR7/6	口径：(18.0) 器高：(4.8)	強く外反した二重口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部につながる。口縁部内面には屈曲部を持たない。	①口縁部外面櫛刺突紋、頸部ハケ ②口頸部摩滅	口縁部1/2残存
18-10		4 K-13	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(1mm以下の礫、長石、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	器高：(9.3)	漏斗状に開く二重口縁から屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。	①頸部ハケ、肩部櫛描直線紋と波状紋の交互施紋 ②頸部指ナデ、胴部ナデ	頸部～肩部完形
19-1		5 V-17S 黒色砂層	二重口縁壺	Ⅲ期	胎土：密(橙色粒子、石英、礫) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR5/6	口径：14.4 器高：(8.4)	外反が弱い二重口縁を有する。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、頸部ハケ後ナデ ②口頸部ヨコナデ	
19-2		4 Q-12 黒色砂層	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(灰・白色小礫、長石) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2	口径：(24.0) 器高：(7.4)	二重口縁から短く屈折する頸部につながる。	①口唇部ヨコナデ、口縁部～頸部ハケ後口縁屈折部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ	口縁部1/4残存
19-3		4 T-14S	二重口縁壺	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(黒色粒子、砂粒) 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR8/3	口径：(24.4) 器高：(6.9)	直立気味に開く退化した二重口縁部を有し、直立した頸部につながる。	①口頸部摩滅 ②口頸部摩滅	口縁部1/4残存
19-4		4 U-13N	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(赤色粒子、砂粒、石英) 焼成：良 色調：灰白7.5YR8/2	口径：10.3 底径：2.9 最大径：11.0 器高：12.8	大きく外反する二重口縁部を有し、屈折する頸部から球形の胴部へとつながる。底部はほとんど突出しない。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ナデ ②口縁部指オサエ、胴部ナデ	
19-5	10	5 NW-4-15-28	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(砂粒、石英、礫) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	口径：14.2 器高：(7.5)	直立気味の口頸部から屈折した胴部へとつながる。屈折部には刺突を施した隆帯が巡る。	①口頸部ナデ、頸部ヨコナデ ②口頸部ナデ、頸部指オサエ	転用土器
19-6	10	5 V-16-18S	二重口縁壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(橙色粒子、石英、砂粒) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y5/1	口径：15.2 器高：(10.0)	直立気味に開く二重口縁部を有し、屈折した頸部から丸みを帯びた胴部へとつながる。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、胴部ミガキ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部指オサエ	
19-7		4 南辺赤水溝	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	口径：16.1 底径：6.5 器高：(21.3)	二重口縁を有し、屈折した頸部から偏球形の胴部につながる。底部はやや突出する。口唇部は面を持つ。	①口頸部～胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ、底部ハケ	胴上部2/3残存、口縁部～頸部、胴下部～底部はほぼ完形
19-8		4 B地区43	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(黒雲母、クサレ) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	口径：17.0 器高：(5.1)	短く外反する二重口縁を有し、く字に屈折する頸部につながる。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ、ミガキ	口縁部2/3残存
19-9		4 Q-12・13、R-13 黒色砂～暗灰色砂混粘土層	二重口縁壺	Ⅱ期	胎土：密(径4mm以下の礫、長石、砂粒、雲母) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	口径：(20.6) 器高：(12.5)	鋭く屈折した二重口縁を有し、屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口頸部ハケ後ヨコナデ、肩部ハケ後ヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部ケズリ	口縁部1/3、肩部1/7残存
20-1		5 赤水溝	ひさご壺	Ⅰ期	胎土：密(礫多量、橙色粒子、石英、黒雲母) 焼成：良 色調：淡橙5YR8/3	口径：6.5 器高：(8.6)	微妙に屈曲させた口唇部を有し、屈曲した頸部から球形に近い胴部へとつながる。	①口縁部ミガキ、胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部ハケ後指オサエ	
20-2		5 A-77	ひさご壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(礫、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	口径：5.9 器高：(7.9)	微妙に屈曲させた口唇部を有し、屈曲した頸部から球形に近い胴部へとつながる。	①口縁部ミガキ、胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部指オサエ	
20-3	11	5 Y-17	ひさご壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(石英、橙・小豆色粒子、黒雲母、長石) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	口径：7.0 器高：(5.0)	わずかに屈曲した口唇部から内傾気味の口縁部を有し、屈折した頸部へとつながる。	①口頸部ミガキ ②口縁部ミガキ、頸部ナデ	
20-4	11	5 Y-16 暗灰色砂混粘土層 B-10	ひさご壺	Ⅰ期	胎土：密(黒色粒子多量、橙・小豆色粒子、石英、黒雲母、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR5/4	口径：7.8 底径：(4.8) 最大径：12.8 器高：15.0	微妙に屈曲させた口唇部を有し、屈曲した頸部から中位が張る球形に近い胴部へとつながる。底部はほとんど突出しない。	①口縁部ミガキ、胴部ハケ後中位以外をミガキ ②口縁部板ナデ、胴部指オサエ	
20-5	11	5 W-16 黒色砂層	ひさご壺	Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫、径1mm以下の赤褐色の粒子少量) 焼成：良 色調：浅赤橙2.5YR7/4	口径：6.1 底径：2.1 器高：16.3 最大径：15.8	直立気味に開く単純口縁を有し、屈折した頸部から偏球形の胴部につながる。口唇部はわずかに外反し、底部は上げ底となる。	①口縁部縦ミガキ、頸部ヨコナデ、胴部上半縦ミガキ後、下半横ミガキ ②口縁部縦ミガキ、頸部ヨコナデ、胴部ナデ(下半の一部横ケズリ)	ほぼ完形(胴下部1/2欠損)
20-6	11	5 W-16	壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(石英、クサレ、橙色粒子、灰色砂粒) 焼成：良 色調：黒褐灰褐7.5YR4/2	底径：5.4 器高：(18.0) 最大径：13.6	く字に屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。底部はやや突出する。	①胴部ミガキ ②底部ハケ	胴部～底部完形
20-7		4 T-14S	直口壺	Ⅱ期	胎土：密(クサレ、雲母、白・灰色の小礫・砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	底径：2.6 器高：(12.3) 最大径：(15.4)	く字に屈折する頸部から球形の胴部につながる。底部はわずかに窪む。	①頸部ヨコナデ、胴部ミガキ ②頸部ヨコナデ、胴部ナデ	胴上部1/2、胴下部1/3残存、底部はほぼ完形
20-8	11	4 K-9	直口壺	Ⅲ期	胎土：密(径2mm以下の礫・白色粒子・径1mm以下の長石多量) 焼成：良(やや軟) 色調：橙2.5YR6/6	口径：(10.5) 底径：(4.7) 器高：15.4 最大径：(14.6)	直線的に開く単純口縁を有し、く字に屈折する頸部から偏球形の胴部につながる。	①摩滅 ②摩滅	ほぼ完形(口唇部、胴部1/4、底面欠損) 外面摩滅

第8表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
20-9	11	4 S-14 東辺排水溝	直口壺	Ⅱ期～Ⅲ期	胎土：密(径2mm以下の礫・径1mm以下の長石多量) 焼成：良(軟) 色調：橙2.5YR7/6	口径：(9.7) 底径：(3.9) 器高：14.6 最大径：13.8	直線的に開く単純口縁を有し、屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。底部はわずかに上げ底となる。	①口縁部～胴部縦ミガキ ②口縁部縦ミガキ、頸部ハケ、胴部ハケ	口縁部2/3、口縁部～底部ほぼ完形(一部欠損)
20-10	11	4 東側排水溝	直口壺	Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：(10.9) 底径：2.6 器高：14.5 最大径：13.6	直線的に開く単純口縁を有し、屈折した頸部から球形の胴部につながる。底部はわずかに上げ底となる。	①口縁部～胴部縦ミガキ後頸部ヨコナデ ②口縁部縦ミガキ、胴部ハケ後上半ナデ	ほぼ完形(口縁部1/3欠損)
20-11	11	4 S-93・95	直口壺	Ⅱ期	胎土：密(径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(11.9) 底径：3.5 器高：17.4 最大径：14.1	直線的に開く単純口縁を有し、く字に屈曲する頸部から球形の胴部につながる。底部は、わずかに窪む。	①口縁部～胴部ミガキ ②口縁部ヨコナデ、口縁部ミガキ、胴部ナデ、一部ハケ	口縁部1/4、胴部3/4残存、底部完形
20-12		4 Q-12、U-17H B地区29 暗灰色砂粘土層	直口壺	Ⅱ期	胎土：密(白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/4	口径：(11.7) 底径：3.2 器高：16.0	わずかに内傾する長い口縁部を有し、く字に屈折する頸部から球形の胴部につながる。底部はわずかに窪む。	①口縁部～胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部ハケ	口縁部1/4、胴部1/2残存、底部完形
20-13		5 T-17	直口壺	Ⅲ期	胎土：密(砂粒、橙色粒子、長石、石英) 焼成：良 色調：橙2.5YR6/8	口径：11.7 最大径：(15.6) 器高：(11.1)	直線的に開く口縁部を有し、屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口縁部ミガキ、胴部ナデ ②口縁部ミガキ、頸部指オサエ、胴部ヘラナデ	
21-1	12	4 B地区88、89	直口壺	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(クサレ、白色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/3	口径：15.6 器高：(10.7)	わずかに内湾気味となる直線的な長い口縁部を有する。	①口縁部ヨコナデ、ミガキ ②口縁部ハケ後散漫なミガキ	口縁部～肩上部完形
21-2		4 Q-12 B地区17	ひさご壺	Ⅰ期～Ⅱ期	胎土：密(クサレ、雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	底径：3.1 器高：(10.2)	球形に近い下膨れの胴部を有する。底部はわずかに上げ底となる。	①胴部ミガキ ②胴部ナデ(頸部指頭圧痕)	胴部～底部1/3残存
21-3	12	5 P-13	壺	Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫、微細の雲母多量) 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/4	底径：3.3 器高：(12.5) 最大径：12.7	直立した頸部から球形の胴部へとつながる。底部はやや突出する。	①頸部ハケ、肩部ヘラ描沈線及び刺突紋、胴部ミガキ後、底部ケズリ	ほぼ完形(口縁部欠損)
21-4	12	5 S-16	壺	弥生後期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：9.9 底径：5.0 器高：13.5 最大径：12.1	大きく開く単純口縁を有し、屈曲した頸部から球形に近い胴部につながる。底部は突出する。	①口縁部櫛描刺突紋後、棒状浮紋、頸部ハケ、肩部櫛描直線紋と竹管紋、波状紋の交互施紋後円形浮紋、胴部ハケ ②胴部ナデ	口縁部2/3、胴部2/3残存、底部完形
21-5	13	5 S-17	壺	Ⅱ期	胎土：密(径2mm以下の礫、長石) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR6/2	口径：10.0 器高：(9.6) 最大径：13.2	直線的に開く単純口縁を有し、屈折する頸部から中位が張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部ケズリ、胴部横ミガキ ②口縁部ケズリ、胴部ハケ後ナデ	口縁部2/3、胴部1/2残存、口縁部に2個1組の穿孔
21-6		4 X-12 SK40	鉢	Ⅰ期～Ⅱ期	胎土：密(長石) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	底径：3.6 器高：(5.8)	内湾気味に開く胴部から突出した上げ底上の底部につながる。	①胴部ハケ後ミガキ、底部指頭圧痕 ②胴部上半ケズリ、下半ナデ、底部ナデ	胴部1/2残存、底部完形
21-7	12	4 K-13	小型丸底壺	Ⅲ期？	胎土：密(雲母) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：11.6 底径：3.4 器高：8.6	直立した口縁部を有し、鋭く屈折した頸部からやや肩部が張る胴部につながる。底部はほとんど突出しない。底部は中央が大きく窪む	①口縁部ヨコナデ、頸部ハケ、胴部ミガキ ②口縁部ヨコナデ、胴部板ナデ？	ほぼ完形(口縁部一部、体部1/4欠損)
21-8	13	4 T-15	壺	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	口径：(6.4) 底径：(4.7) 器高：6.5	直立した口縁部を有し、緩やかに屈曲した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口縁部ハケ、胴部ナデ ②口縁部～胴部ハケ	口縁部～底部1/3残存 内外面黒斑
21-9	12	5 W-13H	壺	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石、雲母) 焼成：良 色調：赤10R5/8	口径：11.4 器高：13.0 最大径：15.3	直立したS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から球形の胴部につながる。	①口頸部横ミガキ、胴部タテミガキ ②口頸部横ミガキ、胴部ナデ	ほぼ完形(口縁部1/5欠損) 外面赤彩
21-10	13	4 S-91	壺	Ⅱ期	胎土：密(径5mm以下の礫) 焼成：良 色調：褐7.5YR4/4	口径：(10.4) 器高：14.6 最大径：15.2	開き気味の複合口縁を有し、屈折した頸部から偏球形の胴部につながる。底部は丸底となる。	①口頸部ヨコナデ、胴部横ミガキ ②口頸部ヨコナデ、胴部横ケズリ後頸部指オサエ	口縁部1/2、胴部2/3残存、底部完形
21-11		5 W-21・22	壺	Ⅱ期	胎土：密(長石、礫、黒雲母) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：13.4 最大径：15.5 器高：(10.4)	直線的に開く口縁部を有し、屈折した頸部から中位が張る胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、頸部ハケ、胴部ハケ後ミガキ	
22-1	13	4 K-9	鉢	古墳中期	胎土：やや粗(径3mm以下の長石・径2mm以下の礫多量) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	口径：(10.9) 底径：4.1 器高：7.7	短くく字に屈折する口頸部を有し、丸みを帯びた胴部を有する。底部は丸底気味となる。	①頸部ナデ、胴部ハケ後、底部ケズリ ②口縁部ハケ、胴部板ナデ、底部ナデ	口縁部1/2、体部1/4残存、底部完形
22-2	13	5 集水桝	鉢	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径0.5mm以下の礫・雲母少量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：9.1 底径：3.7 器高：5.9	短く開く単純口縁を有し、肩部が張る胴部につながる。底部はほとんど突出しない。	①口縁部～底部横ミガキ ②口縁部～底部横ミガキ	完形、底部外面1/3黒斑
22-3	14	5 NW-10	壺	古墳中期	胎土：密(石英、礫、黒雲母) 焼成：良 色調：灰白10YR8/2	口径：12.1 底径：(3.0) 最大径：14.4 器高：13.5	直線的に開く口縁部を有し、屈折する頸部から偏球形の胴部へとつながる。	①口頸部ミガキ、胴部ケズリ ②口縁部ミガキ、肩部指オサエ、胴部板ナデ	
22-4	13	4 S-15	直口壺	古墳中期	胎土：密(微砂粒を含む) 焼成：良(やや軟) 色調：橙7.5YR7/6	口径：(9.7) 底径：(3.0) 器高：12.3 最大径：(11.0)	開き気味の単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から中位が張る胴部につながる。	①口縁部～胴部摩滅、胴部下半指頭圧痕 ②口縁部摩滅、胴部板ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁1/2～底部残存
22-5		5 X-15 溝側中央②	鉢	Ⅲ期	胎土：密(褐色粒子) 焼成：良 色調：明赤褐2.5YR5/6		外反する口縁部を有し、わずかに2段に屈曲した頸部から半球形に近い胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ ②口縁部～胴部ヘラナデ	
22-6	14	5 NW-23・40	鉢	古墳中期	胎土：やや粗(礫、橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR5/3	口径：12.5 底径：2.5 器高：4.6	短く開く口縁部から半球形の浅い坏部へとつながる。口縁部は上方に短くつまみ上げる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	
22-7	14	5 Z-16、 V-17・18 N-3	壺	古墳中期	胎土：密(黒雲母多量、石英、長石、礫、砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：10.1 底径：5.4 最大径：8.2 器高：9.0	直線的に短く開く口縁部を有し、張りが弱い筒形の胴部へとつながる。底部は突出し、上げ底を呈する。	①口縁部ヨコナデ、頸部指オサエ、胴部ミガキ、底部指オサエ ②口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ、底部ケズリ	
22-8	14	5 Z-15	鉢	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(黒雲母、長石、礫、石英) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	口径：9.7 底径：4.1 器高：7.5	わずかに外反する短い口縁部を有し、椀型の胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ後底部ケズリ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ、底部板ナデ	
22-9	13	5 N-13	壺	古墳中期	胎土：密(石英、長石) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	口径：13.2 底径：4.3 最大径：13.2 器高：11.5	直線的に開く口縁部を有し、屈折する頸部から球形の胴部へとつながる。底部はわずかに上げ底となる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ ②口頸部ヨコナデ、胴部ヘラナデ	

第９表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
22-10	13	4 Q-9・10 覆土	甕	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(径2mm以下の礫・長石多量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(16.8) 底径：6.8 器高：21.6 最大径：(22.6)	短く開く折り返し口縁を有し、屈折する頸部から球形の胴部につながる。底部は突出する。	①口縁～底部ハケ ②口縁部ハケ、胴部上半板ナデ、下半ナデ	ほぼ完形(口縁部1/2、胴中部一部欠損)
22-11		4 Q-12、R-12 SK40	甕		胎土：密(白色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	口径：18.6 器高：(5.6)	大きく外反する口縁部を有し、く字に屈折する頸部から胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ハケ	口縁部1/5残存
22-12	13	4 R-13	鉢	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(径1.5mm以下の長石・礫) 焼成：良 色調：橙2.5YR6/8	口径：15.3 底径：4.0 器高：11.0 最大径：15.0	直立気味の単純口縁を有し、屈折した頸部から偏球形の胴部につながる。底部はわずかに上げ底となる。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、胴部ミガキ ②口縁部ハケ、胴部ミガキ	口縁部1/5、体部1/2残存、底部完形
23-1		4 Q-12 SB346	甕	弥生後期～Ⅰ期	胎土：密(径1.5mm以下の礫、長石) 焼成：良 色調：灰白10YR8/2	口径：(17.6) 器高：(3.6)	く字に屈曲する口頸部を有する。口唇部は面を有し、下端にキザミを施す。	①口頸部ハケ ②口頸部ハケ	口縁部1/6残存
23-2		5 X-16 西側中央①	甕	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密(黒雲母多量、橙色粒子、礫、長石) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：10.8 最大径：(12.6) 器高：(11.0)	短く開く口縁部を有し、球形に近い胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ハケ後ヨコナデ、胴部ヘラナデ	
23-3	14	5 B-11	甕	Ⅰ期	胎土：密(径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/3	口径：10.6 器高：(13.8) 最大径：13.2	直線的に外傾する口縁部を有し、く字に屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ハケ、胴部ナデ、ケズリ	口縁部1/2残存、胴部～底部完形
23-4		4 R-14、T-14 C地区23	甕	弥生後期～Ⅰ期	胎土：密(橙色粒子、白色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/3	口径：(14.1) 器高：(11.7) 最大径：(14.5)	外反する単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から肩部がやや張る胴部につながる。	①口唇部下端キザミ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ	口縁部1/5、胴部1/3残存
23-5		4 第16トレンチ ②	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(黒雲母、石英、長石) 焼成：良 色調：橙2.5YR7/6	口径：(13.7) 器高：(5.2)	直線的に大きく外傾する口縁部を有し、く字に屈折する頸部から丸みを帯びた胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ	口縁部一部残存
23-6		4 Q-11 SP136	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径5mm以下の礫多量、径1mm以下の長石、黒雲母) 焼成：良 色調：灰白10YR8/2	裾部径：(7.2) 器高：(7.2)	直線的に開く台部を有する。	①台部ハケ ②台部ハケ	台部1/4残存
23-7		4 T-12 SP54	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：やや粗(径2mm以下の長石・径1mm以下の礫多量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：(11.2) 器高：(2.5)	短く開いた単純口縁を有し、屈曲した頸部へとつながる。	①頸部ハケ ②口縁部ハケ	口縁部1/4残存
23-8		4 R-13 SP344	甕	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫、白色微粒子、雲母) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：(14.6) 器高：(13.4) 最大径：(15.6)	直線的に開く口縁部を有し、く字に屈折する頸部から球形に近い胴部へとつながる。	①口唇部下端キザミ、口頸部～胴部ハケ、口縁部ハケ、胴部板ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部～胴部1/3残存
23-9	14	4 S-11 A地点	甕	Ⅱ～Ⅲ期?	胎土：密(長石、クサレ、白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：13.3 器高：(14.7)	外反する口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部から偏球形に近い胴部につながる。口唇部は丸く収める。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ハケ	口縁部～胴部3/4残存
23-10	14	4 包含層	ミニチュア	Ⅰ期	胎土：密(径2mm以下の礫多量、径1mm以下の長石、微細黒雲母) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：(7.5) 裾部径：(7.1) 器高：12.9	粘土帯の雑な張り付けによって単純口縁を作りだし、張りのない長い胴部から不釣り合いな大きな台部につながる。	①口縁部～台部ハケ後一部指頭圧痕 ②口縁部ハケ、胴部ハケまたは板ナデ、台部ハケ	口縁～胴部1/2、台部1/3残存
23-11	16	5 V-16・16 SW-11	甕	Ⅱ期	胎土：密(砂粒、礫、橙色粒子、黒雲母) 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR8/4		直線的に外傾する短い口縁部を有し、く字に屈折する頸部から球形に近い胴部へとつながる。台部は内湾気味に大きく開く。	①口縁部ヨコナデ、頸部指頭圧痕後胴部ハケ、接合部指頭圧痕、台部ハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ、底部ハケ、台部ハケ	
23-12	15	5 W-3、X-20	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(砂粒、石英、礫、黒雲母) 焼成：良 色調：褐灰10YR4/1	裾部径：9.4 最大径：19.6 器高：(17.2)	球形に近い胴部を有し、直線的に開く台部へとつながる。	①胴部～台部ハケ ②胴部板ナデ、台部ハケ後、底部付近指オサエ	
23-13	14	5 集水桝	甕	弥生後期～Ⅰ期	胎土：密(径2mm以下の礫、径1mm以下の長石・黒雲母少量) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2	器高：(6.0)	直線気味に開く台部を有する。	①台部ハケ ②台部ハケ	台上部残存
23-14	14	4 S-11 排水溝	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径2mm以下の礫、径1mm以下の白色粒子、黒雲母) 焼成：良 色調：褐灰7.5YR6/1	口径：15.2 器高：(16.9) 最大径：17.7	やや外反する短い口縁部を有し、緩やかに屈曲する頸部から球形に近い胴部につながる。	①口縁部～台部ハケ後接合部に指頭圧痕 ②口縁部～胴部板ナデ、台部ナデ	口縁部～底部ほぼ完形(口縁部1/3欠損)
24-1		4 C地区4	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(橙色粒子、白・灰色小礫) 焼成：良 色調：橙5YR6/6	口径：(15.4) 器高：(14.8) 最大径：(18.8)	短く開く単純口縁を有し、く字に屈折する頸部から中位が張る長胴気味の胴部につながる。	①口頸部ハケ後ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ヨコハケ、胴部ナデ	口縁部～胴部1/4残存
24-2		4 T-11、U-12	甕	Ⅱ～Ⅲ期?	胎土：密(黒雲母、クサレ、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(14.2) 器高：(8.7)	直線的に開く単純口縁を有し、屈折する頸部から中位が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部～胴上部1/3残存
24-3		4 P-13、Q-12 B地区21	甕	Ⅱ期	胎土：密(橙色粒子、白・灰色砂礫多量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/4	口径：16.4 器高：(15.6) 最大径：(20.7)	わずかに外反する単純口縁を有し、中位が張る偏球形の胴部につながる。	①口頸部～胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ、底部ハケ	口縁部～胴上部1/5残存
24-4		5	甕	Ⅰ期	胎土：密(黒雲母、長石、橙色粒子、石英) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y5/1	口径：(16.3) 最大径：(18.0) 器高：(20.7)	わずかに外反する口縁部を有し、屈折する頸部から肩部に最大径を有する長胴の胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ハケ、胴部板ナデ、底部ナデ	底部内面に炭化物付着
24-5		4 R-13 SK40	甕	Ⅱ期	胎土：密 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/3	口径：(14.2) 器高：(8.6) 最大径：(20.4)	直立気味に開く口縁部を有し、緩やかにく字に屈曲する頸部から丸みを帯びた胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ頸部ハケ、胴部ヘラナデ	口縁部完形、胴上部1/4残存
24-6		4 V-12	甕	Ⅰ期	胎土：密(長石) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：18.0 器高：(13.7)	く字に屈折する口頸部から中位が張る胴部につながる。口唇部は尖り気味となる。	①口縁部～胴部ハケ ②口縁部～胴部ハケ	口縁部完形、胴上部1/3残存
24-7		4 T-14	甕	古墳中期	胎土：密(石英、黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(15.6) 器高：(20.5) 最大径：20.0	外反する単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から下位がやや張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ後下半ケズリ ②口頸部ヨコナデ、胴部ハケ	口縁部1/12、胴部2/3、底部1/3残存
24-8	15	4 Q-13、R-13	甕	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(黒雲母、白・灰色砂粒多量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	裾部径：12.2 器高：(9.1)	直線的に大きく開く脚部を有する。	①脚部ハケ ②脚部ハケ、板ナデ	台部2/3残存
24-9	15	4 T-12	高杯	Ⅱ期～古墳中期	胎土：密(石英多量、灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	裾部径：7.4 器高：(6.2)	直線的に開く脚部を有する。	①摩滅 ②ナデ	台部ほぼ完形

第10表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面　②：内面	備考
24-10	15	4 R-9 SK9	甕	I～II期	胎土：密(黒雲母、橙色粒子、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	裾部径：7.9 器高：(6.4)	直線的にわずかに開く台部を有する。	①台部ハケ ②底部ハケ、脚部ハケ	台部ほぼ完形
25-1	15	5 旧水路	甕	IV期	胎土：密(長石、橙色粒子、石英、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：11.9 最大径：15.6 器高：(16.7)	直線的に開く口縁部を有し、屈折した頸部から中位が張る長胴の胴部へとつながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部板ナデ ②口縁部ヨコナデ、頸部指オサエ、胴部ナデ	
25-2	15	4 SK2-5 SP3 SK7	甕	古墳中期	胎土：密(石英、橙色粒子、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	器高：(14.9) 最大径：15.5	球形に近い胴部を有する。	①胴部板ナデ ②胴部ナデ	胴部4/5残存
25-3		5 Z-17 黒色砂層	甕	I期	胎土：密(橙・黒色粒子、石英、黒雲母) 焼成：良 色調：橙7.5YR6/6	口径：14.3 最大径：17.4 器高：(17.8)	直線的に短く開く口縁部を有し、屈折した頸部から中位が張る長胴の胴部へとつながる。口唇部には面を持つ。	①口縁部ヨコナデ、頸部～胴部ハケ ②口縁部ハケ、頸部指オサエ、胴部ハケ	
25-4	16	5 Z-17,Z-18 黒色砂層	甕	IV期	胎土：密(橙色粒子、黒雲母、礫) 焼成：良 色調：赤褐5YR4/6	口径：11.6 最大径：17.0 器高：(16.6)	直線的に短く開く口縁部を有し、屈折した頸部から中位が張る胴部へとつながる。底部は台部接合痕で剥離している。	①口頸部ヨコナデ、胴部板ナデ ②口縁部ヨコナデ、頸部指オサエ、胴部ナデ	底部円盤充填
25-5		4 S-15 黒色砂層	甕	古墳中期	胎土：密(橙色粒子、白・灰色小礫多量) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	口径：(12.0) 器高：(13.5) 最大径：(15.8)	直立気味に開く単純口縁を有し、くの字に屈折する頸部から中位が張る長胴気味の胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部～胴上部1/2残存
25-6		4 R-13	甕	III期～古墳中期	胎土：密(白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：橙5YR6/6	口径：(16.6) 器高：(9.3) 最大径：(15.8)	直線的にゆるやかに開く口頸部から中位に最大径を有する胴部につながる。	①摩滅 ②摩滅	口縁部～胴上部1/4残存
25-7		5 Z-17	甕	古墳中期	胎土：密(径1mm程の礫・長石・白色粒子多量) 焼成：良 色調：灰白2.5Y7/1	口径：14.7 器高：(18.2) 最大径：22.1	直線的な口縁部を有し、くの字に屈折する頸部から中位が張る胴部につながる。口唇部には強い面を有する。	①口縁部～胴部ハケ ②口縁部ハケ、胴部ナデ、板ナデ、下半のみハケ	口縁部5/6、胴下部2/3残存、胴上部完形
25-8		4 Q-9	甕	II～III期	胎土：密(石英、黒雲母、クサレ、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(15.4) 器高：(12.8) 最大径：(19.6)	わずかに外反する単純口縁を有し、中位が張る丸みを持つ胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ ②胴部板ナデ	口縁部～胴部1/3残存
26-1		4 B地区12	S字甕	I期	胎土：密 焼成：良 色調：黒褐10YR3/1	口径：17.1 器高：(4.9)	直立気味のS字状口縁を有し、やや短く括れた頸部から強く張る胴部につながる。	①胴部羽状ハケ後、胴部やや上位にハケ、口縁部ヨコナデ(一部肩部にも及ぶ) ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部ほぼ完形
26-2		4 X-12 黒色砂層	S字甕	I期	胎土：密(長石、石英) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR4/2	口径：(16.2) 器高：(3.7)	直立気味に開く口縁部を有し、くの字に屈曲する頸部から丸みを帯びた胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部～胴部ヨコナデ	口縁部1/3残存
26-3		4 R-13	S字甕	II期	胎土：密 焼成：良 色調：黒褐10YR2/3	口径：(18.8) 器高：(7.0) 最大径：(18.1)	短く屈曲したS字状口縁を有し、くの字に屈折した頸部から張りが強い胴部につながる。口唇部上端は強く窪む。	①口縁部ヨコナデ、頸部棒状圧痕、胴部羽状ハケ後肩部に横位ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部ほぼ完形、胴上部1/3残存
26-4		4 S-13	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、石英、白色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：(14.0) 器高：(8.9) 最大径：(20.7)	横位に引き出されたS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部からやや中位が張った胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部～肩部ほぼ完形、胴上部2/5残存
26-5		4 SX1	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(13.5) 器高：(5.5)	やや直立気味のS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部1/6残存
26-6	16	5 Y-18N 黒色砂層	S字甕	I期	胎土：密(径1mm程の礫多量、径1mm以下の黒雲母) 焼成：良 色調：灰白10YR7/1	口径：(14.8) 器高：(17.6) 最大径：21.8	直立気味に開くS字状口縁を有し、肩部が張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、頸部ヨコハケ、胴部ナデ	口縁部1/5残存、胴部完形 底部内面少量の黒色付着物(炭?)胴部外面中央煤付着
26-7		4 R-10	S字甕	I期	胎土：やや粗(橙色粒子、灰色小礫多量) 焼成：良 色調：灰白2.5Y8/2	口径：(14.0) 裾部径：8.7 器高：(23.8)	屈折部が鋭く直立気味のS字状口縁を有し、括れが弱い頸部から胴部につながる。胴部下半はほとんど張らず、接合部で強い稜を持ち直線的な台部につながる。台端部内面を折り返す。	①胴部羽状ハケ後やや高い位置にヨコハケ、口頸部ヨコナデ、胴部下半ナナメハケ、台部上半に不連続ナナメハケ、下半部ナデ ②口縁部ヨコナデ、頸部ヨコハケ、胴部・台部ともにナデ(指頭圧痕を残す)、台接合部に接合強化のためのハケ残存	口縁部1/3、胴下部1/3残存、台部完存
26-8		4 X-14試掘部分 (P-1落ち込み) 古墳層	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、石英、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR4/2	口径：14.2 器高：(25.0) 最大径：(26.6)	横位に引き出されたS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から中位が強く張る胴部につながる。台部は直線的に開く。	①口縁部ヨコナデ、頸部圧痕、胴部羽状ハケ後肩部やや上位にヨコハケ、台部不連続斜めハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部4/5、胴部～底部1/3残存
26-9		4 V-12N	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：15.0 器高：(7.1)	直立気味のS字状口縁を有し、屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部にヘラ状圧痕、胴部羽状ハケ後肩部やや上位にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部ほぼ完形、胴上部2/3残存
26-10		4 V-11 SP52	S字甕	III期	胎土：密(径1mm以下の礫・長石・黒雲母多量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(11.9) 器高：(5.4)	鋭く屈曲したS字状口縁を有し、屈折する頸部から胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部圧痕、胴部羽状ハケ後肩部ヨコハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部1/3残存 口唇部煤付着
26-11	15	4 B地区100	S字甕	I～II期	胎土：密(長石、石英) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	裾部径：8.8 器高：(7.6)	強く括れた接合部から直線的な台部につながる。台部端部を折り返す。	①胴部ハケ、台部不連続ナナメハケ後ナデ ②胴部ナデ、接合部に指頭圧痕を残す、台部ナデ	底部～台部完形
27-1		4 B地区54	S字甕	I期	胎土：密 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：14.4 器高：(9.6) 最大径：(21.6)	直立気味の口縁部を有し、緩やかに屈折する頸部から丸みを帯びた胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部下位にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ(指頭圧痕)	口縁部～胴上部完形(胴上部一部欠損) 内外面全体煤付着
27-2		4 R-13	S字甕	II期	胎土：密(白色粒子、微細黒雲母) 焼成：良 色調：黒褐7.5YR3/2	口径：13.4 器高：(9.0) 最大径：(19.3)	直立気味に鋭く屈折したS字状口縁を有し、強く括れた頸部から強く張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部に強い圧痕、胴部羽状ハケ後肩部やや下位にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部3/4、胴上部1/4残存
27-3		4 B地区68	S字甕	II期	胎土：密 焼成：良好 色調：灰褐7.5YR6/2	口径：14.2 裾部径：9.5 器高：(25.7) 最大径：(23.5)	横位へ強く引き出されたS字状口縁を有し、強く括れた頸部から中位が張る胴部につながる。台部は直線気味に開く。	①口縁部ヨコナデ、頸部に弱い圧痕、胴部羽状ハケ後肩部やや下位にハケ、台部不連続ナナメハケ後ナデ ②口頸部ヨコナデ、胴部・台部ナデ(指頭圧痕を残す)、台接合部に接合強化のためのハケ残存	口縁部・台部完形、胴上部1/3、胴下部1/2残存 口縁部～胴部外面煤付着

第11表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面　②：内面	備考
27-4		4 Q-12	S字甕	II期	胎土：密 焼成：良 色調：黒褐7.5YR2/2	口径：(14.4) 器高：(13.0) 最大径：(20.7)	大きく横位に引き出された口縁部を有し、鋭く屈折した頸部から肩部が張る胴部につながる。頸部には弱い沈線が巡る。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後、頸部ヨコハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部2/3、胴上部1/6残存
27-5		4 Q-12	S字甕	I期	胎土：密 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	口径：(15.0) 器高：(13.6) 最大径：(21.2)	やや直立したS字状口縁を有し、屈折する頸部から中位が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部やや下位にヨコハケ ②口縁部ハケ、頸部ハケ、胴部ナデ	口縁部～胴上部1/2残存
27-6		4 P-115	S字甕	II期	胎土：密(白小礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	口径：(17.0) 脚部径：10.5 器高：(28.7)	大きく横に引き出された口縁部を有し、括れが強い頸部から強く張る胴部につながる。口唇部内面には弱い凹線が巡る。台部は直線的に開く	①口縁部ヨコナデ、頸部沈線、胴部ハケ、台部不連続斜めハケ ②胴部板ナデ、台部ナデ(指頭圧痕)	口縁部1/3、胴下部1/3残存、台部完形
27-7	16	5 集水桝	S字甕	I～II期	胎土：粗(径2mm以下の長石多量、径1mm以下の礫、黒雲母) 焼成：良(脆い) 色調：にぶい橙7.5YR7/4	脚部径：9.4 器高：(13.4)	丸みを帯びた胴部を有し、直線的に開く脚部へとつながる。	①胴部ハケ、台部不連続斜めハケ ②胴部ナデ(一部板ナデ)、台部ナデ	底部1/3残存、台部完形
27-8		4 B地区77	S字甕	II期	胎土：密(雲母、灰白砂粒) 焼成：良 色調：灰褐5YR5/2	口径：15.4 器高：(10.5)	大きく横に引き出されたS字状口縁を有し、括れが強い頸部から強く張る胴部につながる。口唇部内面には弱い凹線が巡る	①口縁部ヨコナデ、頸部強い沈線、胴部羽状ハケ後、肩部やや下位にハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部完形、胴上部1/3残存
28-1		5 第21②トレンチ	S字甕	II期	胎土：密(石英、礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：13.4 最大径：(20.4) 器高：(8.5)	外傾した口縁部を有し、鋭く屈折した頸部から肩部やや下位が張る胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ(指頭圧痕を残す)	
28-2	16	4 R-3	S字甕	II期	胎土：密(径1mm以下の長石多量、径1mm以下の礫、黒雲母) 焼成：良 色調：明褐灰7.5YR7/2	口径：12.0 器高：(7.7) 最大径：(17.4)	直立気味に開くS字状口縁を有し、屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部やや下位にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部～胴上1/5程残存
28-3		4 Q-12W B地区6	S字甕	II期	胎土：密(長石、黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：15.9 器高：(5.9)	横位に引き出されたS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部からやや中位が張った胴部につながる。口唇部上端はくぼむ。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部～胴上部2/3残存
28-4		4 Q-12W	S字甕	II期	胎土：密(黒雲母、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(12.8) 器高：(8.7) 最大径：(17.7)	鋭く引き出されたS字状口縁を有し、屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部～胴上部1/6残存
28-5		4 B地区58	S字甕	II期	胎土：密(白色粒子) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：16.6 器高：(2.2)	強く引き出されたS字状口縁を有し、強く括れた頸部から強く張る胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、頸部強い沈線、胴部羽状ハケ後肩部にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部1/2、胴上部1/3残存
28-6	15	5 Y-17	S字甕	II期	胎土：密(径0.5mm以下の黒色粒子、雲母) 焼成：良 色調：灰白2.5Y8/2	口径：12.3 器高：(4.5)	直立気味の退化したS字状口縁を有し、屈折した頸部から胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ	口縁部1/2残存 頸部内外面風蝕
28-7		4 R-13	S字甕	II期	胎土：密 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(13.9) 器高：(6.1)	やや屈曲が弱いS字状口縁を有し、中位が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ胴部ナデ(指頭圧痕)	口縁部～肩部1/2残存 肩部外面一部煤付着
28-8		4 S-11 A地点	S字甕	II期	胎土：密(白色小礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(18.0) 器高：(5.1)	直立気味に屈折した口縁部を有し、やや強く括れた頸部から強く張る胴部につながる。口唇部に面を持つ。	①口縁部ヨコナデ、頸部弱い沈線、胴部羽状ハケ後肩部やや下位にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部1/4残存、口縁部外面煤付着
28-9	16	5 S37-N	S字甕	II期	胎土：密(径1mm以下の礫・長石・黒雲母多量) 焼成：良 色調：灰白2.5Y7/1	口径：(15.0) 器高：(18.0) 最大径：(16.3)	横位に引き出されたS字状口縁を有し、屈折した頸部から中位が張る球形に近い胴部につながる。台部は直線的に開く。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後、肩部やや下位にヨコハケ、台部不連続斜めハケ ②口頸部ヨコナデ、肩部板ナデ、胴部ナデ	口縁部～胴部1/2、台上部一部残存、底部完形 胴部上～中位煤付着
28-10		4 R-13 黒色砂層 B地区93	S字甕	II期	胎土：密 焼成：良 色調：褐灰10YR4/1	口径：15.7 器高：(6.5)	強く引き出されたS字状口縁を有し、強く括れる頸部から強く張る胴部につながる。口唇部に外傾する強い面を持つ。	①口縁部ヨコナデ、頸部に強い沈線、胴部羽状ハケ後肩部やや下位にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ(指頭圧痕を残す)	口縁部～胴上部4/5残存
28-11		4 東側拡張区	S字甕	I～II期	胎土：密(黒雲母、クサレ、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	脚部径：5.4 器高：(10.1)	上半に最大径を持つ胴部から直線的な台部につながる。	①胴部ハケ、胴部不連続斜めハケ ②胴部ナデ、台部ナデ(指頭圧痕)	胴部1/3残存、台部ほぼ完形
28-12		4 Q-13 黒色砂層	S字甕	I～II期	胎土：密 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	脚部径：8.9 器高：(7.7)	直線的に開く台部を有する。	①胴部ハケ、台部不連続斜めハケ ②底部ナデ、台部ナデ(指頭圧痕)	底部1/2残存、台部ほぼ完形 底部内面一部煤付着
28-13	15	5 集水桝	S字甕	II期	胎土：密(径1mm以下の礫、黒雲母、雲母) 焼成：良 色調：灰白5Y8/2	口径：(11.5) 器高：(25.6) 最大径：27.5	直立気味に開く弱いS字状口縁を有し、屈折した頸部から中位が張る胴部につながる。台部は直線的に開く。	①口頸部ヨコナデ、胴部羽状ハケ後肩部やや下位にヨコハケ、台部不連続斜めハケ ②口頸部ヨコナデ、胴部上半ナデ、下半板ナデ	口縁部3/5残存、胴部完形
29-1	17	5 Y-175	S字甕	I期	胎土：密(橙色粒子、黒雲母、長石、礫) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR6/4	口径：15.4 最大径：15.5 器高：(10.4)	外反する形骸化したS字口縁を有し、屈折する頸部から球形に近い胴部へとつながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ後ミガキ、下半部のみケズリ ②口縁部ヨコナデ、頸部指オサエ、胴部板ナデ	在地化したS字甕
29-2		4 R-9 SK2	S字甕	I期	胎土：密(白色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：(15.6) 器高：(2.4)	横に引き出された口縁部から屈曲が弱い頸部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ ②口頸部ヨコナデ	口縁部一部残存
29-3		4 Q-13	S字甕	I期	胎土：密(石英、橙色粒子、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	口径：(15.4) 器高：(11.3)	直立気味のS字状口縁を有し、鋭く屈折した頸部から中位が張る丸みを帯びた胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ、胴部ハケ	口縁部1/5、胴上部1/3残存
29-4	17	5 X-16 西側中央②	S字甕	II期	胎土：密(径2mm以下の長石、径1mm以下の礫) 焼成：良 色調：褐灰7.5YR5/1	口径：(11.8) 器高：(18.4) 最大径：(17.5)	やや開く退化したS字状口縁を有し、屈折した頸部からやや肩部が張る胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、頸部沈線、胴部羽状ハケ、底部付近ナデ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ及び板ナデ	口縁部2/5、胴上部2/3残存、胴下部～底部ほぼ完形
29-5		4 R-15	S字甕	II期	胎土：密(長石含有) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y5/1	口径：(17.1) 器高：(16.7) 最大径：(21.0)	屈折が弱いS字状口縁を有し、括れが弱い頸部から中位が張る胴部につながる。	①頸部を巡る指頭圧痕後、不連続な頸部沈線、胴部は上半ナナメハケ後下半を横位ヘラケズリ ②口頸部ヨコナデ、胴部ナデ(一部ヘラケズリ)	口縁部1/3、胴部1/2残存 在地系甕

第12表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
29-6	17	5 Z-16·16S P-15·17	S字甕	I期	胎土：密(礫,長石,黒色小礫,石英) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：15.2 最大径：19.3 器高：(18.5)	直立したS字口縁を有し,緩やかに屈曲する頸部から中位が張る胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ,頸部粗い斜めハケ,胴部やや粗いヨコハケ ②口縁部ヨコナデ,頸部粗いヨコハケ,胴部指オサエ,底部粗いハケ	在地化したS字甕
30-1		4 S-13	タタキ甕	I～II期	胎土：密(径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y4/1	底径：(4.1) 器高：(4.3)	突出気味の底部を有する。	①タタキ ②板ナデ	底部1/3残存 外面煤付着
30-2		4 S-14	タタキ甕	I～II期	胎土：密(径1mm程の長石数個,径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	底径：(4.0) 器高：(3.0)	突出気味の底部を有する。	①タタキ ②磨滅	底部1/4残存
30-3	17	4 U-12N	甕	II期	胎土：密(橙色粒子,白·灰色砂粒多量) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2	裾部径：10.8 器高：(4.0)	内湾気味に浅く開く台部を有する。	①摩滅 ②台部ハケ	台部3/4残存
30-4		4 U-12	タタキ甕	I～II期	胎土：密(径2mm以下の礫,径0.5mm以下の白色粒子) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2		突出気味の底部を有する。	①タタキ ②磨滅	底部破片,内面煤付着
30-5		4 C地区11	タタキ甕	I～II期	胎土：密(径3mm以下の砂粒,径1mm以下の石英) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	底径：4.2 器高：(3.6)	突出気味の底部を有する。	①タタキ ②板ナデ	底部完形
30-6	17	4 T-15	甕	I～II期	胎土：密(白·灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/4	裾部径：9.4 器高：(6.6)	強く括れた接合部から大きく内湾気味に開く台部を有する。	①台部ハケ ②内部ハケ	台部ほぼ完形
30-7		5 Y-16S·17 黒色砂層	甕	II期	胎土：密(石英·雲母多量) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR4/2	口径：35.0 最大径：33.2 器高：(17.6)	直立気味の複合口縁を有し,胴部が張らない鉢形の胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ,胴部羽状ハケ後,胴部中位にヨコハケ ②口縁部ヨコナデ,胴部ナデ(指頭圧痕を残す)	山陰系口縁S字甕
30-8		5 Y-17	大型甕	I期	胎土：密(礫,長石,砂粒,橙·小豆色粒子) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：29.0 最大径：(34.0) 器高：(19.2)	直線的に開く口縁部を有し,屈折した頸部から丸みを帯びた胴部へとつながる。	①口縁部～胴部ハケ ②口縁部ハケ,胴部指オサエ	駿河系
30-9	17	5 W-20	大型甕	I期	胎土：密(石英,橙色粒子,礫,黒雲母) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	裾部径：14.5 器高：11.0	直線的に大きく開く大型の台部を有する。	①胴部～台部ハケ ②底部ハケ,台部ハケ後裾部のみ指オサエ	駿河系
30-10	17	5 W-16	大型甕	I期	胎土：密(石英,長石,礫,赤色粒子) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	裾部径：13.2 器高：(9.2)	直線的に大きく開く大型の台部を有する。	①台部ハケ ②底部ハケ,台部ハケ後ナデ	駿河系
31-1		5 集水井	大型甕	I期	胎土：密(橙色粒子,石英,砂粒,黒雲母) 焼成：良 色調：灰白10YR8/2	口径：(37.0) 最大径：(40.8) 器高：(12.4)	緩やかに外反する口縁部を有し,丸みを帯びた胴部へとつながる。口唇部には面を持ち,ハケ状工具によるキザミを施す。	①口頸部から胴部ハケ ②口縁部～胴部ハケ	駿河系
31-2		4 P-11,V-10·11	大型甕	I期	胎土：密(橙色粒子,白·灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰白2.5Y8/2	裾部径：14.3 器高：(16.3)	倒卵形の胴部から直線的に開く台部につながる。	①胴部～台部ハケ ②胴部ハケ,台部ハケ	胴下部2/3残存,台部完形
31-3		4 R-13·14 B地区80,81,85	大型甕	I期	胎土：密(雲母多量,灰色小礫,白·灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：(26.0) 器高：(29.0) 最大径：(33.4)	直立した口縁部を有し,屈折した頸部から倒卵形の胴部につながる。口唇部は尖り気味に丸く収める。	①口縁部ヨコナデ,胴部ハケ ②口縁部ヨコナデ,胴部ハケ	胴上部1/2,口縁部·胴下部1/3残存
32-1		4 Q-11·12	大型甕	I期	胎土：密(白·灰色砂礫) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y7/2	口径：(31.5) 器高：(20.6) 最大径：(35.2)	直線的に開く口縁部を有し,くの字に屈折する頸部から倒卵形の胴部につながる。	①口縁部ハケ後ヨコナデ,胴部ハケ ②口縁部ハケ	口縁部1/5,胴上部1/5,胴下部4/5残存
32-2		4 U-12 暗青灰色粘土層	甕	I期	胎土：密(橙色粒子,白·灰色砂粒) 焼成：良 色調：褐灰7.5YR4/1	口径：(27.7) 裾部径：(13.8) 器高：(35.5) 最大径：(35.4)	直線的に開く単純口縁を有し,くの字に屈折する頸部から球形に近い胴部につながる。台部は,内湾気味に大きく開く。	①口縁～台部ハケ ②口縁～底部ハケ,台部ハケ	口縁部～胴上部1/2,胴下部2/3残存,台部ほぼ完形(裾部1/4欠損)
33-1	18	4 R-13	有稜高坏	I～II期	胎土：密(径4mm以下の礫·石英少量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR6/3	口径：17.6 裾部径：12.2 器高：12.4	内湾する浅い坏部をから裾部が大きく広がる脚部につながる。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部ミガキ,脚部ハケ後上半指頭圧痕,裾部ヨコナデ	ほぼ完形(口縁部1/3,裾部1/6欠損)
33-2	18	5 W-16	有稜高坏	I期	胎土：密(橙色粒子,石英,砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR6/4	口径：18.1 裾部径：10.6 器高：(12.0)	直線的に開く坏部を有し,直線的に開く脚部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ,坏部ミガキ,脚部ミガキ ②坏部ミガキ,脚部ヘラナデ,裾部ヨコナデ	
33-3	18	5 Y-17	有稜高坏	I期	胎土：密(石英,礫,砂粒,小豆色粒子) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/4	口径：21.0 裾部径：9.2 器高：14.5	内湾気味の深い坏部を有し,裾部がわずかに内湾する脚部へとつながる。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部摩滅,脚部上半ヘラナデ,裾部ハケ	3方向透かし
33-4	18	5 A-20	有稜高坏	I期	胎土：密(橙色粒子,礫,黒雲母,石英) 焼成：良 色調：灰黄10YR5/1	口径：21.7 裾部径：12.0 器高：15.1	内湾気味のやや深い坏部を有し,裾部がわずかに内湾する脚部へとつながる。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部ミガキ,脚部上半ヘラナデ,裾部ハケ	3方向透かし
33-5	17	4 Q-11·13	有稜高坏	I～II期	胎土：密 焼成：良(やや軟) 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：(23.2) 裾部径：12.4 器高：14.7	底部の稜線は屈曲的で,内湾する浅い坏部を有する。脚部は裾部が大きく広がる。透かしを持つ。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部ミガキ,脚部ハケ	坏部1/4,脚部ほぼ完形(裾部1/2欠損)
33-6	18	4 R-11 C地区38	有稜高坏	II期	胎土：密(径2mm以下の礫,赤褐粒子) 焼成：良(やや軟) 色調：浅黄橙10YR8/3	口径：21.0 裾部径：10.7 器高：15.5	直線的に開く大きな坏部を有し,直線的に開く短い脚部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ,坏部ハケ後縦ミガキ,脚部ヨコミガキ,脚部ハケ後裾部をヨコナデ ②坏部ミガキ後口縁部をヨコナデ,脚部ハケ後裾部をヨコナデ	坏部3/4,脚部4/5残存 坏部内面黒わずかに付着
33-7	18	5 Z-17,Z-18 黒色砂層 A-P4	有稜高坏	I期	胎土：密(橙色粒子,砂粒,石英,礫) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/4		内湾する大きな坏部から直線的に開く脚部へとつながる。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部磨滅,脚部ナデ	
33-8	18	5 Y-17 暗灰色粘土層	有稜高坏	I期	胎土：密(橙色粒子,砂粒,長石) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：14.9 裾部径：8.4 器高：10.0	直線的に開く浅い坏部を有し,内湾気味に開く脚部へとつながる。口唇部には弱い内傾面を持つ。	①口縁部ヨコナデ,坏部ハケ後ミガキ,坏底部～脚部ミガキ ②口縁部ヨコナデ,坏部ナデ,脚部ハケ	3方向透かし

第13表 出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
34-1		4 東側排水溝	有稜高坏	Ⅱ期	胎土：密(白・灰色砂粒多量) 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR4/4	口径：21.3 器高：(10.4)	内湾気味に開く浅い坏部を有し、大きく広がる直線的な低い脚部につながる。口唇部は丸く収め、坏底部外面の稜線は痕跡的である。	①坏部ミガキ、坏底部ケズリ、脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部横ナデ	坏部3/4、脚上部ほぼ完形
34-2	19	5 集水桝、撹乱	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密(黒色小礫多量、橙色粒子、石英、黒雲母) 焼成：良 色調：明赤褐2.5YR5/6	口径：19.0 裾部径：11.2 器高：14.0	内湾した深い坏部を有し、裾部が広がる脚部へとつながる。	①坏部ハケ後ナデ、脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部上半横ナデ、裾部ハケ	3方向透かし
34-3		4 R-9 SX9	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密(白色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(17.7) 器高：(4.4)	直線的な口縁部を有する。口唇部は丸く収める。	①口縁部ミガキ ②口縁部ミガキ	坏部一部残存
34-4		4 R-12 SX10	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密(白・灰色の砂粒、橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/4	口径：(19.2) 器高：(5.9)	大きく開く浅い坏部を有する。口唇部には弱い内傾面を持つ。	①坏部ミガキ ②坏部ミガキ	坏部1/5残存
34-5	19	4 O-9	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：やや粗(径1mm以下の長石・礫多量、径1mm以下の黒雲母) 焼成：良(やや軟) 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：19.7 器高：(7.5)	内湾気味のやや深い坏部を有する。	①坏部縦ミガキ、底部稜付近ナデ、底部ミガキ ②坏部縦ミガキ	坏部ほぼ完形(口縁部1/3欠損)、口縁部1/4黒斑
34-6		5 T-18 黒色砂層	有稜高坏	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(黒雲母多量、橙色粒子、礫、長石) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	裾部径：12.2 器高：(13.2)	開き気味の脚部を有する。	①脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部ナデ、裾部ヨコナデ	3方向透かし
34-7		4 T-13 C地下 SP7	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密(橙色粒子、砂粒、石英) 焼成：良 色調：橙5YR7/6	裾部径：(11.3) 器高：(7.9)	直線的に開く脚部を有する。	①脚部ミガキ、裾部ヨコナデ ②脚部ハケ、裾部ヨコナデ	ほぼ完形(裾部2/5欠損)
34-8	19	4 R-13・14、S-13、Q-12 黒色砂層、3地区88	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密(クサレ、長石、黒雲母、灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/3	口径：17.8 器高：(5.8)	わずかに内湾気味となる口縁部から稜を有する底部につながる。	①口縁部ミガキ ②坏部ハケ後ミガキ	坏部3/4残存
34-9	19	4 Q-11	有稜高坏	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫少量、微細の雲母) 焼成：良(やや軟) 色調：にぶい橙5YR7/4	裾部径：14.3 器高：(8.2)	大きく開く脚部を有する。	①脚部ハケ後ミガキ ②脚部ナデ	脚部ほぼ完形(裾部2/5欠損)、脚部内面煤付着
34-10		5 Y-17	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密(径2mm以下の礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	裾部径：(9.6) 器高：(7.6)	直線的に開く脚部を有する。	①脚部ミガキ ②脚部上半ナデ、下半ハケ	脚部ほぼ完形(裾部1/2欠損)
34-11	18	4 Q-13、R-13N 弥生層	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	裾部径：(11.1) 器高：(8.6)	やや開き気味の脚部を有する。	①脚部上半[illegible]直線状、下半縦ミガキ ②脚部上半ケズリ、下半ハケ後ヨコナデ	脚部ほぼ完形(裾部1/3欠損)
34-12	19	5 Y-17 P-11	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：密(石英、砂粒、黒雲母) 焼成：良 色調：橙5YR6/6	口径：14.1 器高：(8.5)	内湾気味の口縁部から、明確な稜線を持って底部へとつながる坏部を有し、開き気味の脚部へとつながる。	①坏部ミガキ、脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部ナデ	3方向透かし
34-13	19	4 R-13	有段高坏	Ⅰ期	胎土：密(橙色粒子、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y6/2	口径：11.2 器高：(6.0)	底部に痕跡的な段を有し、内湾気味に浅く開く坏部につながる。脚部は大きく広がる。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部ハケ	坏部3/4残存
34-14	19	4 R-15	有段高坏	Ⅰ期	胎土：密(橙色粒子、白・灰色砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR5/3	裾部径：11.0 器高：(4.4)	大きく開く短い脚部を有する。裾部は反り返る。	①脚部ミガキ ②摩滅	脚部3/4残存
34-15	19	5 包含層	有段高坏	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(石英、長石、橙色粒子) 焼成：良 色調：明赤褐2.5YR5/6	裾部径：10.1 器高：(7.4)	大きく開く低い脚部を有する。	①脚部ミガキ、裾部ヨコナデ ②脚部ヘラナデ及びハケ、裾部ヨコナデ	3方向透かし
34-16		4 S-14	有段高坏	Ⅱ期	胎土：密(クサレ、雲母) 焼成：良 色調：淡赤橙2.5YR7/4	口径：(11.0) 器高：(5.8)	浅い椀形の坏部を有し、大きく広がる脚部につながる。	①坏部横ナデ、脚部ミガキ ②坏部摩滅、脚部摩滅	坏部ほぼ完形
34-17		5 R-17	有段高坏	Ⅱ期	胎土：密(径1mm程の白色砂粒多量) 焼成：良(軟) 色調：橙2.5YR7/6	口径：13.1 器高：(7.7)	椀型の坏部からわずかに柱状部を有する接合部を有し、そこから大きく開く脚部につながる。	①口縁部～脚部ミガキ ②坏部ミガキ	坏部ほぼ完形、脚上部一部残存
35-1	20	4 Q-11	高坏	古墳中期	胎土：密 焼成：良 色調：明褐灰7.5YR7/1	口径：10.9 裾部径：6.6 器高：7.4	椀型の坏部を有し、裾部が大きく開く脚部につながる。	①摩滅 ②絞り痕	坏部1/2残存、脚部完形(裾部2/3欠損)
35-2	20	4 T-113	器台	Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫・長石多量) 焼成：良(やや軟) 色調：橙5YR7/6	裾部径：(8.5) 器高：(7.0)	浅い椀型の受部を有し、直線的に開く脚部につながる。	①受部ミガキ、接合部ハケ、脚部縦ミガキ ②受部摩滅、脚部ハケ	器受部1/3(口縁部欠損)、脚部1/4残存
35-3	20	4 S・T-10 表土	特殊な器台	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(径1mm以下の礫、長石、微細黒雲母) 焼成：良(軟) 色調：橙5YR7/6	口径：(18.4) 器高：(3.7)	屈曲部を持って開く受部を有する。口唇部は丸く収める。	①口唇部ハケ ②受部ハケ	受部ほぼ完形 接合部に黒色付着物、口縁部及び受部下位に透かし
35-4	21	5 Y-17	台付甕	Ⅱ期	胎土：密 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：17.0 器高：(8.6)	大きく外反する口縁部を有し扁平な胴部から脚部へとつながる。	①口唇部棒状工具による刺突、口縁部ミガキ、胴部円形刺突、胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部ハケ、脚部ナデ	
35-5	20	5 X-16 黒色砂層	高坏	Ⅱ期	胎土：密(橙色粒子、砂粒、礫) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：20.7 裾部径：14.4 器高：13.9	大きく外反する口縁部から底部外面に段を持つ坏部を有し、裾部が大きく広がる脚部へとつながる。	①坏部ミガキ、脚部ミガキ ②坏部摩滅、脚部ヘラナデ	3段2方向透かし
35-6	19	4 S-9	有稜高坏	Ⅱ期	胎土：密(黒雲母、クサレ、白・灰色砂粒) 焼成：良 良好：明赤褐5YR5/6	口径：(15.4) 裾部径：(8.8) 器高：5.9	椀型の坏部から直線的に大きく広がる脚部につながる。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部摩滅、脚部ハケ後裾部ヨコナデ	口縁部～脚部1/2残存
35-7		4 P-11	高坏	Ⅰ期	胎土：密(黒雲母、クサレ、白色砂粒) 焼成：良 色調：橙5YR6/6	器高：(9.0)	屈折して大きく広がる椀形の坏部をから大きく広がる脚部につながる。	①口縁部ヨコナデ、坏部ミガキ、坏底部ヨコナデ、脚部ミガキ ②坏部ミガキ	坏部1/4、脚上部ほぼ完形
35-8		4 R-13	有稜高坏	Ⅰ期	胎土：粗(黒雲母・石英多量、径2mm以下の白色石英、長石、径3mm程の橙色粒子、砂粒) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	裾部径：(10.9) 器高：(5.8)	大きく開く短めの脚部を有する。	①脚部ハケ後ミガキ、脚裾部をヨコナデ ②脚部ケズリ後脚裾部をミガキ	脚部ほぼ完形(裾部1/2欠損)

第14表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①:外面 ②:内面	備考
35-9	20	5 W-17・18 黒色砂層 中央東西トレンチ	脚付高坏	弥生後期	胎土:密(黒雲母多量,石英,長石,礫,橙色粒子) 焼成:良 色調:灰黄褐10YR6/2	裾部径:18.0 器高:(3.0)	柱状の脚部から二段に屈折する裾部へとつながる。	①柱状部ナデ,脚裾部ミガキ後ヨコナデ,屈折部にヘラ状工具によるキザミ ②脚部ナデ	
35-10	20	4 O-9	有稜高坏	Ⅰ期	胎土:密(径0.5mm以下の長石少量,微細の雲母) 焼成:良 色調:明褐灰7.5YR7/2	口径:18.5 裾部径:7.8 器高:11.5	椀型の深い坏部を有し,直線的に開く短い脚部につながる。	①坏部ミガキ,脚部縦ミガキ ②坏部ミガキ,脚部横ナデ	ほぼ完形(口縁部1/3,裾部1/3欠損) 口縁部外面一部黒斑
35-11	21	4 Q-13N 黒色砂層	有稜高坏	Ⅰ期	胎土:密(黒雲母,橙色粒子) 焼成:良 色調:にぶい橙2.5YR6/4	裾部径:10.1 器高:(7.0)	細い柱状の脚部から大きく外反する裾部につながる。	①脚部ミガキ ②脚部ハケ,ナデ後裾部のみヨコナデ	脚部完形
35-12	20	5 Y-17	有稜高坏	Ⅱ期	胎土:密(径1mm以下の長石・白色粒子・金雲母・礫多量) 焼成:良 色調:明褐灰7.5YR7/2	口径:(16.2) 裾部径:11.6 器高:11.5	椀型の坏部を有し,わずかな柱状部から裾部が大きく開く脚部を有する。脚部にやや大きめの透かしを持つ。口唇部はわずかに外方に引き出される。	①坏部~脚部ミガキ ②坏部ミガキ,脚部ハケ後裾部ヨコナデ	ほぼ完形(坏部1/3欠損)
35-13		4 K-11	有稜高坏	Ⅱ期	胎土:密(径1mm以下の砂粒) 焼成:良 色調:にぶい黄橙10YR7/3	裾部径:(12.2) 器高:(7.3)	裾部が大きく開く脚部を有する。透かしを持つ。	①脚部ミガキ ②上半ケズリ	脚部ほぼ完形(裾部5/6欠損)
36-1		5 V-16S 黒色砂層	器台	Ⅲ期	胎土:密(砂粒多量,礫) 焼成:良 色調:灰黄褐10YR6/2	口径:9.8 器高:(6.2)	外反する受部を有し,わずかに広がる脚部へとつながる。	①受部ナデ,脚部ミガキ ②受部ナデ,脚部絞り痕	3方向透かし
36-2		5 X-18	特殊な器台	Ⅰ~Ⅱ期	胎土:密(橙色粒子,石英) 焼成:良 色調:灰黄褐10YR6/2	器高:(5.8)	底部が横に突出し,やや内傾から立ち上がる受部を有し,直線的に広がる脚部へとつながる。	①受部ハケ,突出部端部ヨコナデ,突出部裏面放射状ミガキ,脚部ミガキ ②受部ミガキ,脚部絞り痕及びナデ	
36-3	22	5 N-4	器台	Ⅱ期	胎土:密(石英,礫) 焼成:良 色調:褐灰7.5YR5/1	口径:8.0 裾部径:8.9 器高:8.1	椀型の浅い受部を有し,直線的に開く脚部へとつながる。	①受部ナデ,接合部指オサエ,脚部ミガキ ②受部ナデ,脚部ナデ及びハケ	3方向透かし
36-4	21	5 W-9N	器台	Ⅱ期	胎土:密(径1mm以下の礫・長石多量,雲母少量) 焼成:良(やや軟) 色調:にぶい褐7.5YR6/3	口径:8.3 裾部径:10.1 器高:8.8	口縁部がわずかに外反する受部から裾部が大きく広がる脚部をにつながる。口唇部は丸く収める。受部は貫通	①口縁部ヨコナデ,脚部ミガキ ②受部ハケ後暗紋状のミガキ,脚部横ナデ。	ほぼ完形(裾部1/3欠損)
36-5	21	5 Z-17,Z-18 黒色砂層,暗灰色砂層	特殊な器台	Ⅰ~Ⅱ期	胎土:密(黒雲母,砂粒) 焼成:良 色調:浅橙5YR8/4	口径:10.2 裾部径:10.9 器高:7.5	底部が横に突出し,やや内傾から立ち上がる受部を有し,直線的に広がる脚部へとつながる。	①受部ナデ,脚部ミガキ ②受部ナデ,脚部ナデ	3方向透かし
36-6	22	4 R-35,Q-13	器台	Ⅱ期	胎土:密(径3mm以下の礫・石英少量) 焼成:良 色調:灰褐7.5YR4/2	口径:9.0 裾部径:(11.6) 器高:8.3	やや浅い椀型の受部から直線的に大きく開く脚部につながる。口唇部は上方にわずかにつまみ上げる。脚部には透かしを持つ。	①口唇部ヨコナデ,受部ミガキ,脚部ミガキ ②受部ミガキ,脚部上半ナデ,裾部横ナデ	器受部3/4,脚部1/2残存
36-7	22	5 集水桝	器台	Ⅱ期	胎土:密(橙・小豆色粒子,砂粒多量) 焼成:良 色調:浅橙5YR8/3		浅い椀型の受け部から裾部が大きく外反する脚部へとつながる。	①脚部ミガキ ②脚部ナデ	
36-8	21	4 U-13	器台	Ⅱ期	胎土:密(黒雲母) 焼成:良 色調:にぶい褐7.5YR6/3	口径:(7.4) 器高:(8.0)	大きく外反する受部から大きく広がる長い脚部につながる。	①受部から脚部摩滅 ②受部から脚部摩滅	口縁部~脚上部2/3残存
36-9	21	4 Q-12	器台	Ⅱ期	胎土:密(径2mm以下の長石多量,径1mm以下の礫) 焼成:良(やや軟) 色調:にぶい橙7.5YR7/4	口径:(8.0) 裾部径:(11.4) 器高:7.6	やや浅い椀型の受部から裾部が大きく広がる脚部につながる。口唇部はわずかに直立気味に丸く収める。脚部には透かしを持つ。	①受部摩滅,接合部指頭圧痕,脚部ハケ ②受部ミガキ,脚部ケズリ	口縁部1/2残存,脚部ほぼ完形(裾部2/3欠損)
36-10	22	4	器台	Ⅱ期	胎土:密(径2mm以下の礫多量) 焼成:良 色調:にぶい橙5YR6/3	口径:(8.0) 裾部径:(11.0) 器高:8.7	浅い椀型の受部を有し,大きく広がる脚部につながる。	①口縁部ヨコナデ,受部ミガキ,脚部ミガキ ②受部ミガキ,脚部上半ケズリ,下半ハケ後裾部をヨコナデ	器受部1/3,脚部2/3残存
36-11	22	4 R-12 西辺排水溝	器台	Ⅱ期	胎土:密(径3mm以下の礫,長石) 焼成:良 色調:にぶい橙2.5YR6/4	口径:8.6 裾部径:11.8 器高:8.3	浅い椀型の受部を有し,大きく広がる脚部につながる。	①受部ミガキ,接合部ハケ,脚部縦ミガキ ②受部ミガキ,脚部ハケ	ほぼ完形(裾部2/5欠損)
36-12	22	4 S-14	器台		胎土:密 焼成:良 色調:灰褐5YR6/2	裾部径:9.3 器高:(8.4)	屈折して大きく外反する口縁部を有し,椀型の受部からやや広がる脚部につながる。	①摩滅 ②受部摩滅,脚部部分的にハケ	ほぼ完形(口縁部,裾部1/2欠損)
36-13		4 K-13	器台	Ⅱ期	胎土:密(径4mm以下の砂粒) 焼成:良 色調:にぶい褐7.5YR7/3	口径:(9.0) 器高:(4.2)	大きく横く開く受部を有し,大きく広がる脚部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ,受部指頭圧痕,脚部縦ミガキ ②口縁部ヨコナデ,受部放射状ミガキ,脚部絞り痕を残す	坏部1/6残存,脚上部はほ完形
36-14		4 S-14	器台	Ⅱ期	胎土:密(径4mm以下の砂粒,径5mm以下の長石) 焼成:良 色調:灰褐7.5YR5/2	口径:(8.2) 器高:(5.8)	椀型の受部から直線的に大きく開く脚部につながる。口唇部は上方にわずかにつまみ上げる。脚部には透かしを持つ。	①口唇部ヨコナデ,受部~脚部ミガキ ②口唇部ヨコナデ,受部ミガキ,脚部ナデ	坏部1/6,脚上部1/2残存
36-15		4 S-14	器台	Ⅱ期	胎土:密(石英・橙色粒子・砂粒少量) 焼成:良(軟) 色調:灰黄褐10YR5/2	口径:11.6 器高:(3.2)	浅い椀型の受部を有する。	①受部ヨコナデ ②受部ミガキ	坏部ほぼ完形
36-16	21	4 K-13東半分	器台	Ⅰ期	胎土:密(黒雲母,白色砂粒) 焼成:良 色調:灰褐7.5YR5/2	口径:7.5 裾部径:(9.4) 器高:(7.4)	浅い椀形の受部を有し,柱状部から大きく広がる脚部につながる。	①受部~脚部摩滅 ②受部摩滅,脚部ハケ後裾部ヨコナデ	口縁部~脚部1/2残存
36-17	21	5 集水桝	器台	Ⅱ期	胎土:密(径1mm以下の茶褐色粒子・黒雲母多量) 焼成:良(やや軟) 色調:にぶい橙7.5YR7/4	器高:(8.9)	受部から裾部が大きく広がる脚部につながる。口縁部は大きく外反する。脚部には透かしを持つ。	①受部~脚部ミガキ ②受部ミガキ,脚部ケズリ	ほぼ完形(口唇部,脚部欠損)
36-18	22	4 S-12	器台	Ⅱ期	胎土:密(径2.5mm以下の礫) 焼成:良 色調:灰褐7.5YR6/3	口径:(10.0) 裾部径:11.7 器高:6.9	屈折して大きく開く口縁を有し,浅い受部から裾部が大きく広がる脚部につながる。脚部にはやや大きめの透かしを持つ。受部は貫通。	①口縁部ヨコナデ,受部ナデ,脚部ミガキ ②受部暗紋状ミガキ,脚部上半ケズリ,裾部ヨコナデ	ほぼ完形(口縁部1/2欠損)
37-1	24	5 W-33N	直口壺	Ⅲ期~古墳中期	胎土:密(径1mm以下の礫,長石,雲母) 焼成:良(やや軟) 色調:灰白10YR7/1	口径:6.2 底径:2.4 器高:7.7	内湾気味の単純口縁を有し,やや屈曲した頸部から張りが弱い胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ,胴部ナデ ②胴部ナデ	ほぼ完形(口縁部1/2欠損)
37-2	24	5 WW-17	壺	Ⅲ期	胎土:密(橙色粒子,石英,砂粒) 焼成:良 色調:にぶい赤褐5YR4/4	口径:8.4 底径:2.9 最大径:6.9 器高:6.4	直線的に開く口縁部を有し,屈折した頸部から偏球形の胴部へとつながる。	①口縁部ケズリ後ヨコナデ,胴部ヘラナデ,胴部ミガキ ②口縁部ヨコナデ,胴部ナデ	

第15表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面　②：内面	備考
37-3	24	5 Y-17	小型丸底壺	II期	胎土：密（黒雲母、石英、礫、橙色粒子、砂粒） 焼成：良 色調：橙5YR6/6		中膨らみの口縁部有し、く字に屈折する頸部から球形に近い胴部へとつながる。	①口縁部～底部ケズリ ②口縁部ヨコナデ、胴部上半ナデ、下半ヘラナデ	
37-4	23	5 W-31W	直口壺	II期～古墳中期	胎土：密（径1mm以下の礫・長石・雲母少量） 焼成：良（軟） 色調：にぶい黄橙10YR7/2	底径：2.3 器高：(7.7)	直線的に開く口縁部を有し、屈折した頸部から偏球形の胴部につながる。	①口縁部～胴部ナデ ②口縁部ミガキ、胴部ナデ	頸部～底部残存
37-5	23	5 W-31W	直口壺	II期～古墳中期	胎土：密（径3mm以下の礫多量、径1mm以下の白色粒子） 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/3	口径：(7.4) 器高：7.9	直線的に開く単純口縁を有し、屈折した頸部から球形の胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ハケ（一部板ナデ） ②胴部ナデ	ほぼ完形（口縁部1/4欠損）
37-6		4 T-15,Q-15	直口壺	II期～古墳中期	胎土：密（径2mm程の赤褐色粒子、径1mm以下の礫、長石） 焼成：良 色調：明褐灰5YR7/1	器高：(8.1)	直線的に開く口縁を有し、屈折する頸部から球形の胴部につながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ケズリ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ	ほぼ完形（口縁部欠損）
37-7		5 X-17	鉢	I～II期	胎土：密（黒雲母、白色砂粒） 焼成：良 色調：明褐灰7.5YR7/1	口径：7.5 底径：3.6 器高：6.7	直立気味の口縁部を有し、僅かに屈曲した頸部からややえみを帯びた碗状の胴部につながる。底部はわずかに上げ底状となる。	①口縁部ヨコナデ ②口縁部ヨコナデ、胴部板ナデ	ほぼ完形 外面全体黒斑
37-8	24	4 東辺排水溝	鉢	II～III期	胎土：やや粗（径1mm以下の礫・長石多量、径0.5mm程の黒雲母） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(10.1) 底径：3.6 器高：7.4	短く開く単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部から球形の胴部につながる。底部は突出する。	①口縁部～底部横ミガキ ②胴部ハケ後ミガキ	口縁部1/3、胴上部3/4残存、胴下部～底部完形
37-9		4 東側排水溝	直口壺	II期	胎土：密（砂粒多量、橙色粒子、石英、長石） 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	底径：3.0 器高：(10.1)	球形の胴部を有する。底部は突出しない平底を呈する。	①摩滅 ②胴部ケズリ	胴上半1/4、胴下半1/2残存、底部ほぼ完形
37-10	24	5 Z-17 黒色砂層	直口壺	古墳中期	胎土：密（礫多量、橙色粒子、砂粒） 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR5/3	口径：7.6 底径：3.0 最大径：9.0 器高：6.6	直線的に開く口縁部を有し、屈折する頸部から偏球形の胴部へとつながる。	①口頸部ヨコナデ、胴部ケズリ後ナデ、底部指ナデ ②口縁部ヨコナデ、胴部指オサエ	
37-11	24	5 X-16 西側中央②	壺	古墳中期	胎土：密（礫・黒色粒子、礫、砂粒） 焼成：良 色調：橙5YR7/6	口径：12.9 最大径：12.0 器高：(12.3)	直線的に大きく開く口縁部を有し、屈折する頸部から偏球形の胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ ②口縁部ヨコナデ、胴部指ナデ	
37-12	23	4 S-12,U-12	直口壺	I～II期	胎土：密（径6mm以下の礫、石英少量） 焼成：良 色調：灰褐7.5YR6/2	底径：4.0 器高：(10.7) 最大径：13.6	屈折する頸部から偏球形の胴部につながる。	①頸部ハケ、底部ケズリ ②胴部ハケ及びナデ	胴部1/2、底部4/5残存 底部外面黒斑
37-13	23	5 集水桝	壺	II期	胎土：密（径1.5mm以下の礫・長石多量、径1mm程の黒雲母少量） 焼成：良（やや軟） 色調：灰白2.5Y7/1	底径：4.3 器高：(11.6) 最大径：13.2	屈折した頸部から球形の胴部につながる。底部はやや突出する。	①頸部～胴部ミガキ ②胴部下半ハケ後、上半ナデ	胴部3/4残存、底部完形 胴下部～底部1/3黒斑、胴部外面一部煤付着
37-14	23	4 東側排水溝	屈折脚高坏	II期	胎土：密（径1mm程の礫） 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	裾部径：13.5 器高：(8.4)	やや長い柱状部から屈折して大きく開く。	①裾部ヨコナデ ②柱状部ケズリ、裾部ヨコナデ	脚部ほぼ完形（裾部1/4欠損）
37-15	25	4 表土	屈折脚高坏	II期	胎土：密（径1mm以下の黒雲母多量、径1mm以下の礫、赤褐色粒子） 焼成：良 色調：にぶい橙2.5YR5/4	裾部径：9.8 器高：(5.6)	短く開く柱状部から屈折して開く。	①柱状部タテミガキ、裾部ヨコナデ ②柱状部ケズリ、裾部ヨコナデ	脚部ほぼ完形
37-16	23	4 Q-15	屈折脚高坏	II期	胎土：密（橙色粒子、白・灰色の小礫・砂粒） 焼成：良 色調：明赤褐2.5YR5/8	口径：17.5 器高：(5.5)	浅く大きく開く坏部を有する。	①口縁部ヨコナデ、坏部ケズリ ②口縁部ヨコナデ	坏部1/4残存
37-17	23	4 T-15	屈折脚高坏	II期	胎土：密（径2mm以下の長石、径0.5mm以下の雲母） 焼成：良 色調：明褐灰7.5YR7/2	裾部径：(14.1) 器高：(10.0)	く字に屈折する接合部から中膨らみの柱状を有し、裾部が屈折して開く脚部につながる。	①柱状部ナデ、脚裾部板ナデ後ヨコナデ ②柱状部板ナデ後裾部をヨコナデ	脚部ほぼ完形（裾部2/3欠損）
37-18	23	4 S-15 [illegible]	屈折脚高坏	II期	胎土：密（径1mm以下の礫、長石） 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/4	裾部径：11.2 器高：(6.3)	やや長い柱状部から短く屈折して開く脚部を有する。	①柱状部ハケ、裾部ヨコナデ ②柱状部ナデ、裾部ヨコナデ	脚部ほぼ完形（裾部1/4欠損）
37-19	24	5 集水桝	屈折脚高坏	II期	胎土：密（石英、黒雲母、橙色粒子、礫、長石、砂粒） 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR7/2	口径：17.0 裾部径：14.8 器高：13.4	直線的に開く坏部を有し、やや中膨らみに開く脚部から屈折して大きく開く脚裾部へとつながる。	①坏部板ナデ、坏底部ナデ、脚部板ナデ、脚裾部ヨコナデ ②坏部口縁部板ナデ後、坏部ミガキ、脚部絞り痕、裾部ヨコナデ	坏底部外面にヘラ状工具による「×」
38-1	25	5 X-8	壺	II期	胎土：密（橙色粒子、長石） 焼成：良 色調：浅黄橙7.5YR8/3	口径：10.8 底径：2.2 最大径：10.4 器高：9.9	内湾気味の口縁部を有し、屈折する頸部から球形の胴部へとつながる。底部は上げ底状を呈する。	①口縁部ヨコナデ、胴部ナデ ②口縁部ナデ、胴部ナデ	
38-2	25	5 NW-5	壺	II期～古墳中期	胎土：密（礫・長石多量） 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR5/4	底径：2.8 最大径：11.4 器高：(7.5)	屈折した頸部から偏球形の胴部へとつながる。底部は上げ底状を呈する。	①胴部ハケ ②口縁部ハケ、頸部指オサエ、胴部ナデ	
38-3	26	5 NW-25	壺	II期	胎土：密（礫、石英、砂粒） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：6.0 底径：3.5 最大径：8.9 器高：8.1	短く開く口縁部を有し、偏球形の胴部につながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ハケ後ナデ ②口縁部ヨコナデ、胴部指オサエ、底部ハケ	
38-4	26	5 NW-7	直口壺	I～II期	胎土：密（礫、石英、長石） 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR5/4	口径：10.1 底径：5.8 最大径：11.5 器高：10.9	直線的な口縁部を有し、偏球形の胴部につながる。底部はわずかに上げ底となる。	①口縁部ヨコナデ、胴部ナデ ②口縁部ナデ、頸部指オサエ、胴部ナデ	
38-5	26	5 X-17	直口壺	I～II期	胎土：密（橙色粒子、礫、砂粒、黒雲母、石英） 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR5/3	底径：5.6 最大径：10.3 器高：10.0	屈折した頸部から球形の胴部へとつながる。底部は上げ底状を呈する。	①胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、頸部指オサエ、胴部ナデ	
38-6	25	4 T-14	鉢	I～II期	胎土：やや粗（径1.5mm以下の礫多量、径1.5mm以下の長石） 焼成：良（軟） 色調：橙5YR6/6	口径：(9.0) 底径：3.7 器高：6.1	短く外傾する口縁部を有し、碗型の胴部からやや突出した底部につながる。	①口縁部ハケ底部ナデ ②胴部板ナデ、底部ヘラ圧痕	口縁部1/6、体部4/5残存、底部完形
38-7	25	5 NW-10	鉢	II～III期	胎土：密（長石、黒雲母、石英） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：16.9 底径：3.6 器高：7.6	半球形の浅い坏部を有する。口縁部は直線的に開き、底部は上げ底状となる。	①口縁部～底部ミガキ ②坏部ミガキ	
38-8		5 NW-16	小型丸底壺	II～III期	胎土：密（礫、石英） 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR5/4	口径：9.2 底径：2.5 最大径：6.1 器高：4.8	直線的に大きく開く口縁部を有し、屈折する頸部から半球形の胴部につながる。	①口縁部～胴部ミガキ ②口縁部～胴部ミガキ	

第16表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
38-9	25	5 Y-17	鉢	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密（橙色粒子、石英、礫） 焼成：良 色調：灰白10YR7/1	口径：10.3 底径：3.9 器高：5.2	わずかに外反する短い口縁部を有し、椀型の胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部指オサエ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ	
38-10	25	4 B-28	小型丸底鉢	Ⅲ期	胎土：密（径1mm以下の礫・石英少量） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(10.8) 器高：3.7	く字状に屈曲する口縁部から浅い丸底の底部につながる。	①口縁部ヨコナデ、底部ケズリ ②口縁部～底部ミガキ	口縁部1/7、体部-底部1/2残存
38-11		5 WW-19	小型丸底壺	Ⅱ期～Ⅲ期	胎土：密（橙色粒子多量、礫、石英） 焼成：良 色調：灰褐7.5YR4/2	口径：10.6 底径：3.0 最大径：7.9 器高：6.5	直線的に開く口縁部を有し、屈折した頸部から半球形の胴部へとつながる。	①口縁部～胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部ナデ	
38-12	24	4 B-22	小型丸底鉢	Ⅲ期	胎土：密 焼成：良（やや軟） 色調：にぶい赤褐5YR5/4	口径：11.4 底径：2.3 器高：6.3	内湾気味に開く口縁部を有し、緩やかに屈折した頸部から半球形のやや浅い胴部につながる。底部は上げ底状を呈する。	①頸部ハケ ②口縁部ミガキ	ほぼ完形（口縁部一部欠損）
38-13	25	4 V-13	小型丸底鉢	Ⅲ期	胎土：密（径1mm以下の礫、径3mm以下の長石、石英少量） 焼成：良 色調：灰褐5YR5/2	口径：(12.9) 底径：3.2 器高：5.1	直線的に開く口縁部を有し、屈折した頸部から非常に浅い底部につながる。底部中央はわずかに窪む。	①口縁部～底部ミガキ ②口縁部摩滅、底部ハケ	口縁部～体部1/5残存、底部完形
38-14		4 S-14	小型丸底壺	Ⅲ期	胎土：密 焼成：良 色調：明赤褐5YR5/6	口径：(11.6) 器高：(6.8)	内湾気味に開く口縁部を有し、く字に屈折した頸部から浅く偏平な胴部につながる。	①口縁部ミガキ、胴部ケズリ ②口縁部ミガキ、胴部ケズリ	ほぼ完形（口縁部4/5欠損） 底部外面煤付着
38-15	25	4 R-13	小型丸底鉢	Ⅲ期	胎土：密（径1mm以下の礫・長石少量） 焼成：良（軟） 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：(11.9) 底径：4.2 器高：7.3	直線的に開く単純口縁を有し、緩やかに屈曲する頸部からやや深い底部につながる。	①摩滅 ②口縁部摩滅、胴部指頭圧痕	口縁部2/5、胴部2/3残存、底部完形
38-16	25	5 W-40N	小型丸底鉢	Ⅲ期	胎土：密（径3mm以下の礫） 焼成：良（軟） 色調：にぶい橙7.5YR7/3	口径：13.7 器高：5.0	直線的に大きく開く口縁部を有し、屈折した頸部から浅い丸底の底部につながる。	①口縁部摩滅、底部付近ミガキ ②摩滅	ほぼ完形（口縁部1/2欠損）
38-17	25	4 R-14 拡張部分（P-1東側落込み）	小型丸底鉢	Ⅲ期	胎土：密（雲母） 焼成：良（やや軟） 色調：橙5YR6/6	口径：14.7 器高：5.1	内湾気味に大きく開く口縁部を有し、屈折した頸部から浅い丸底の底部につながる。	①頸部ハケ ②摩滅	ほぼ完形（口縁部1/2、体部1/8欠損）
38-18	25	5 WW-21-35	鉢	Ⅲ期	胎土：密（橙色粒子、礫、砂粒、石英） 焼成：良 色調：浅黄橙10YR8/4	口径：20.0 底径：4.6 器高：7.2	大きく緩やかにS字に屈折する口縁部を有し、半球形の浅い坏部へとつながる。	①口縁部ハケ後ヨコナデ、坏部ミガキ ②口縁部ヨコナデ、坏部摩滅	小型丸底鉢の在地化
39-1		4 T-15	高坏？	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密（径1mm以下の砂粒、径1mm以下の石英、黒雲母少量） 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR4/3	裾部径：(5.0) 器高：(2.9)	やや大きく開く短い脚部を有する。	①脚部板ナデ、裾部ヨコナデ ②脚部板ナデ、裾部ヨコナデ	脚部ほぼ完形（裾部1/2欠損）
39-2	26	4 R-13	高坏	Ⅲ期	胎土：密 焼成：良 色調：にぶい橙5YR6/4	裾部径：6.7 器高：(3.4)	裾部が大きく開く短い脚部を有する。脚部外面中央には貫通していない透かし状の孔が認められる。	①脚部ミガキ ②坏部小口痕、脚部ハケ	脚部ほぼ完形（裾部一部欠損）
39-3	28	4 R-12	高坏？	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密（径1mm以下の砂粒、長石少量） 焼成：良 色調：灰褐7.5YR5/2	裾部径：5.8 器高：(4.7)	広がりが少ない小型の台部を有する。	①台部ミガキ ②底部ミガキ、台部指オサエ後板ナデ	台部ほぼ完形（裾部1/4欠損）
39-4	28	4 T-15-15	高坏？	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密（径2mm以下の砂粒、石英少量） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	裾部径：(5.6) 器高：(3.7)	やや大きく開く短い脚部を有する。坏底部は円板充填によって成形している。	①脚部縦ミガキ ②坏部ミガキ、脚部ハケ	脚部ほぼ完形（裾部2/3欠損）
39-5		4 T-14	高坏？	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密（径1mm以下の砂粒、石英少量） 焼成：良 色調：灰褐5YR5/2	裾部径：(6.9) 器高：(4.7)	上外方に延びる坏部を有し、く字に屈折する接合部から直線的に開く脚部へとつながる。	①坏部～脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部ハケ後裾部ヨコナデ	脚部ほぼ完形（裾部1/4欠損）
39-6	26	4 R-13	高坏？	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密（径2mm以下の砂粒、長石、石英少量） 焼成：良 色調：にぶい褐7.5YR5/3	裾部径：6.6 器高：(5.0)	直線的に開くやや短い脚部を有する。	①脚部縦ミガキ後裾部ヨコナデ ②脚部ハケ後裾部ヨコナデ	脚部ほぼ完形（裾部1/4欠損）
39-7	29	5 X-17N 黒色砂層	高坏	古墳中期	胎土：密（石英、橙色粒子、長石、黒雲母） 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR4/3	口径：10.1 裾部径：6.4 器高：6.3	丸みを帯びた浅い坏部を有し、わずかに広がる脚部へとつながる。	①坏部ミガキ、脚部ハケ ②坏部ハケ後ナデ、脚部ハケ	
39-8	29	5 WW-2	高坏	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密（石英多量、橙色粒子、礫） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：10.5 裾部径：(5.2) 器高：(6.2)	半球形の坏部を有し、裾部が広がる短い脚部へとつながる。	①坏部ミガキ、脚部ミガキ ②坏部ナデ、脚部ナデ	
39-9	26	4 第19トレンチ-135	高坏	古墳中期	胎土：密（黒雲母、クサレ、石英、白色砂粒） 焼成：良 色調：灰褐5YR4/2	裾部径：(8.6) 器高：(5.6)	椀型の坏部から裾部が大きく広がる脚部につながる。	①坏部板ナデ、脚部ヨコナデ ②坏部ミガキ、脚部ヨコナデ	坏底部1/6、脚部ほぼ完形（裾部1/2欠損）
39-10	29	5 A-13	高坏	古墳中期	胎土：密（石英、黒雲母、礫） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：9.5 裾部径：5.5 器高：7.2	内湾気味の深い坏部を有し、裾部がわずかに広がる短い脚部へとつながる。	①坏部ヘラナデ、脚部ヘラナデ ②坏部ヘラナデ、脚部ヘラナデ	
39-11	28	4 B-106	高坏	古墳中期	胎土：密 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：(10.2) 裾部径：7.5 器高：6.0	椀型の坏部を有し、裾部が屈曲して大きく開く脚部につながる。	①脚部縦ヘラナデ後裾部ヨコナデ、 ②坏部ハケ及びミガキ、脚部指オサエ	坏部一部残存、脚部完形（裾部1/5欠損）
39-12		5 A-13	有稜高坏	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密（黒雲母多量、礫） 焼成：良 色調：灰褐7.5YR4/2	口径：11.9 裾部径：6.5 器高：6.1	内湾気味の浅い坏部を有し、直線的に開く脚部へとつながる。	①坏部ミガキ、脚部ミガキ ②坏部ミガキ、脚部ナデ、裾部ハケ	3方向透かし
39-13	27	4 T-148	ミニチュア	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密（径2mm以下の礫） 焼成：良 色調：褐灰7.5YR6/1	口径：5.4 底径：3.6 器高：6.1	椀状の胴部を有する。	①胴部ハケ後ナデ ②胴部ナデ	ほぼ完形（口縁部、底部1/3欠損）
39-14	27	5 Z-19N 黒色砂層 排水溝	ミニチュア	古墳中期	胎土：密（径1mm以下の礫、雲母） 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：4.2 底径：3.6 器高：5.5	直立気味に開く単純口縁を有し、張りが弱い胴部～突出した底部につながる。	①口縁部～底部ナデ ②口縁部～底部ナデ	ほぼ完形（口縁部1/4欠損） 胴～底部にかけて1/3黒斑
39-15			ミニチュア	古墳中期	胎土：密 焼成：良 色調：灰白10YR7/1	裾部径：6.0 器高：(3.3)	中膨らみの柱状部を有する脚部から大きく屈折して開く裾部へとつながる。	①脚部指オサエ、裾部ナデ ②脚部絞り痕、裾部ナデ	ミニチュア
39-16		5	ミニチュア	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密（砂粒、橙色粒子） 焼成：良 色調：橙5YR6/6	最大径：6.2 器高：(5.6)	偏球形の胴部に裾部が屈折する台部につながる。	①胴部上半ナデ、下半ケズリ、台部ナデ、裾部ヨコナデ ②胴部ナデ、台部ヘラナデ	

第17表　出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面 ②：内面	備考
39-17	29	5 N-20	ミニチュア	Ⅱ期	胎土：密(黒雲母、石英、橙色粒子) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：6.8 脚部径：5.8 器高：6.4	外反気味の口縁を有し、屈折する頸部から偏球形の胴部へとつながる。直線的で長い台部を有し、端部内面を折り返す。	①口縁部ヨコナデ、頸部指オサエ、胴部板ナデ、台部ナデ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ、台部指オサエ	手捏
39-18	27	4 南辺貯水池	ミニチュア	古墳中期	胎土：密(径0.5mm以下の礫多量、径0.5mm以下の長石少量) 焼成：良(軟) 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：6.7 底径：2.3 器高：4.7	口縁部は直立し、深い椀型の胴部を有する。	①胴部ナデ ②胴部ナデ	ほぼ完形(口縁部一部欠損)
39-19	27	5 W-17	ミニチュア	古墳中期	胎土：密(径0.5mm以下の礫、白色粒子、雲母) 焼成：良(やや脆い) 色調：灰黄褐10YR6/2	口径：(4.2) 底径：1.8 器高：3.8	わずかに開く短い単純口縁を有し、丸みを帯びた胴部につながる。	①口縁部ナデ、胴部ケズリ ②口縁部ナデ	ほぼ完形(口縁部3/4欠損) 胴下部～底部にかけて黒色(煤?)
39-20		5 Y-17	鉢	古墳中期	胎土：密(黒雲母、橙色粒子、長石、石英) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR6/4	口径：6.6 底径：2.7 器高：3.5	直線的に開く口縁部を有する。底部はほとんど突出しない。	①口縁部ヨコナデ、胴部ケズリ ②口縁部ヨコナデ、胴部ナデ	
39-21	28	5 Y-18N-19S 黒色砂層	鉢	古墳中期	胎土：密(橙・小豆色粒子、長石、礫) 焼成：良 色調：にぶい赤褐5YR5/4	口径：5.4 底径：3.0 器高：3.1	直線的に開く口縁部を有する。底部はわずかに上げ底となる。	①口縁部ナデ、底部ケズリ ②胴部ナデ	
39-22	27	4 Q-12	鉢		胎土：密(径1mm以下の礫・長石) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR6/2	底径：4.8 器高：(4.7)	直立した胴部から突出しない底部につながる。	①胴部ナデ、板ナデ ②胴部ハケ、底部指頭圧痕を残す。	体部1/3残存、底部完形
39-23	26	5 Z-9	ミニチュア	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(砂粒・径1mm以下の金雲母少量) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/3	口径：(6.7) 底径：4.2 器高：5.7	短く直立した口縁部からやや肩が張る胴部につながる。	①口縁部～底部ナデ(指頭圧痕) ②口縁部～胴部上半ナデ(指頭圧痕)、胴部下半板ナデ	口縁部1/3、体部～底部2/3残存
39-24	28	5 NW-9	鉢	Ⅱ期	胎土：密(石英、砂粒) 焼成：良 色調：灰黄2.5Y5/1	口径：8.4 底径：2.1 器高：4.4	外反する口縁部から稜を持った胴部につながる。底部は上げ底状を呈する。	①口縁部ヨコナデ、胴部ナデ ②口縁部ナデ、胴部ナデ、底部ケズリ	
39-25		4 P-11	鉢	Ⅰ～Ⅱ期	胎土：密(黒雲母、橙色・黒色粒子、砂粒、石英) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y5/1	口径：(9.0) 底径：4.2 器高：4.8	直線的に開く口縁部を有し、突出する底部へとつながる。	①胴部ハケ後口縁部ヨコナデ ②胴部ミガキ	ほぼ完形(口縁部2/3残存)
39-26	27	4 T-15	ミニチュア	古墳中期	胎土：密(径4mm以下の礫、石英少量) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR7/4	口径：6.7 底径：3.6 器高：4.4	直線気味の口縁部を有する。口縁部は強くヨコナデされるために外面が僅かに窪む。	①口縁部ヨコナデ、胴部ナデ ②口縁部ナデ、底部ハケ	ほぼ完形(口縁部1/5欠損)
39-27	28	5 Z-17	直口壺	古墳中期	胎土：密(石英、黒雲母、橙色粒子) 焼成：良 色調：明赤褐5YR5/6	底径：3.5 最大径：8.8 器高：(5.5)	屈折する頸部から偏球形の胴部へとつながる。	①胴部ナデ、底部ケズリ ②胴部指オサエ、底部指ナデ	外面赤彩
39-28		5 W-15N	鉢	Ⅱ期	胎土：密(長石、石英、礫、砂粒) 焼成：良 色調：にぶい黄橙10YR7/2	口径：5.5 底径：2.2 器高：3.0	浅い半球形の坏部を有する。	①口縁部ヨコナデ、底部ケズリ ②口縁部ヨコナデ、底部ナデ	
39-29	27	5 A-P1	鉢	Ⅰ期	胎土：密(黒雲母、礫、橙色粒子、石英) 焼成：良 色調：灰褐5YR4/2		直線的に開く口縁部を有し、突出した底部へとつながる。口縁部の一部には丸棒状工具による押圧を施す。	①胴部ミガキ、ナデ、底部ナデ ②胴部ミガキ	
39-30		5 排水溝	鉢	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(石英、黒雲母、礫、橙色粒子) 焼成：良 色調：にぶい赤褐2.5YR5/4	口径：(11.8) 底径：(4.8) 器高：(4.5)	やや丸みを帯びた椀形の胴部を有する。	①口縁部～胴部ミガキ ②口縁部ミガキ、胴部摩滅	
39-31	28	5 W-31N	ミニチュア	Ⅲ期～古墳中期	胎土：やや粗(径1.5mm以下の礫・長石・赤色粒子多量) 焼成：良 色調：灰褐7.5YR6/2	底径：4.1 器高：(5.4)	屈折した頸部から中位が張る丸みを帯びた胴部につながる。	①頸部ハケ、胴部ハケ後下半ナデ ②頸部ミガキ、胴部ナデ	胴上部1/2残存、胴下部～底部完形 胴部外面一部煤付着
39-32	27	4 S-14	ミニチュア	古墳中期	胎土：密(径2mm程の礫・径0.5mm以下の黒雲母少量) 焼成：良 色調：にぶい橙5YR6/4		外傾気味の口縁部を有し、椀型を呈する。	①口縁部ミガキ、底部ナデ ②胴部ナデ	ほぼ完形(口縁部1/5欠損)
39-33	27	4 西側拡張区	ミニチュア	Ⅲ期～古墳中期	胎土：密(径1mm以下の長石多量、径1mm以下の礫) 焼成：良 色調：にぶい黄褐10YR5/3	口径：(9.5) 底径：4.2 器高：4.5	直線的に外傾する口縁部を有する。	①胴部ハケ後、口縁部及び胴部ナデ ②口縁部ナデ、底部ハケ	ほぼ完形(口縁部1/2欠損)
39-34	27	5 W-3N	直口壺	Ⅱ～Ⅲ期	胎土：密 焼成：良(軟) 色調：灰褐7.5YR6/2	口径：4.4 底径：2.9 器高：10.3 最大径：9.0	直立した細長い口縁部を有し、屈折した頸部から球形の胴部につながる。底部は円盤の充填によって成形される。	①頸部ハケ、胴部ナデ ②口縁部ナデ	完形
39-35	29	5 W-513	直口壺	Ⅲ期～古墳中期	胎土：やや粗(径2mm以下の礫多量、径1mm以下赤褐色粒子、径1mm以下の長石、黒雲母) 焼成：良(軟) 色調：にぶい黄橙10YR7/2	底径：3.7 器高：(7.1)	球形に近い胴部を有する。底部はわずかに上げ底となる。	①胴部ナデ ②胴部ナデ	胴部～底部残存
39-36	26	5 Y-17	鉢	古墳中期	胎土：密(石英、橙色粒子、礫) 焼成：良 色調：灰黄褐10YR5/2	口径：10.5 底径：2.7 器高：5.1	直線的な口縁部を有し、丸みを帯びた胴部へとつながる。	①口縁部ヨコナデ、胴部指オサエ ②口縁部ヨコナデ、胴部ハケ	
39-37		5 Y-17 黒色砂層	鉢	Ⅲ期	胎土：密(橙・白色粒子、礫) 焼成：良 色調：明赤褐5YR5/6	口径：11.6 底径：5.1 器高：5.5	直線的に開く口縁部を有する。底部はほとんど突出しない。	①口縁部ヨコナデ、坏部ケズリ ②坏部ハケ後ミガキ	
40-1	30	5 W-16 黒色砂層	鉢	Ⅰ期	胎土：密(径1mm以下の礫、径0.5mm以下の長石) 焼成：良 色調：にぶい橙7.5YR7/4	口径：10.4 底径：3.1 器高：5.7	内傾した口縁部から丸みを帯びた胴部につながる。底部は突出しない。	①口縁部ミガキ、底部ケズリ ②口縁部ケズリ、胴部～底部ミガキ	ほぼ完形(口縁部1/6欠損)
40-2	29	5	坏	古墳中期	胎土：密(石英、橙色粒子、小礫) 焼成：良 色調：橙5YR6/6	口径：13.8 底径：8.5 器高：6.8	半球形の深い坏部を有する。口縁部は内湾する。	①口縁部ヨコナデ、坏部ケズリ ②坏部ナデ	口縁部に二次被熱痕あり
40-3		4 表土	坏蓋	古墳中期	胎土：密(径2mm以下の石英、白色粒子) 焼成：良 色調：灰N4/0	口径：(11.9)器高：4.5	平坦な天井部からやや丸みを持ちながらわずかに外に開く口縁部へとつながる。天井部と口縁部の境の稜はやや鈍い。口唇部わずかに内傾した面を持つ。	①口縁部ヨコナデ、天井部1/2をヘラケズリ ②口縁部～天井部ヨコナデ	TK23～TK47
40-4	29	5	坏	古墳中期	胎土：密(黒雲母多量、橙・黒色粒子、石英、礫) 焼成：良 色調：赤褐5YR4/6	口径：11.4 底径：2.5 器高：5.6	半球形の坏部を有する。口縁部は内湾する。	①口縁部ヨコナデ、坏部ケズリ ②坏部ナデ	

第18表 出土土器一覧表

実測図版	写真図版	区 グリッド 層位 遺構	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の特徴 ①：外面　②：内面	備考
40-5		集水桝	坏身	古墳中期	胎土：密(径5mmの白色岩片、径1mm以下の石英) 焼成：良 色調：灰7.5Y5/1	口径：10.2 器高：4.7 受部径：13.0	丸みを帯びた底部からやや短い受部につながる。立ち上がりは、わずかに内傾し、口唇部は鈍い内傾面を有する。	①口縁部～受部ヨコナデ、底部1/2をヘラケズリ ②口縁部～底部ヨコナデ	TK47
40-6		4 S-15 暗灰色粘土層	坏身	古墳中期	胎土：密(径3mm以下の石英・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N5/0	口径：11.4 器高：5.6 受部径：13.8	やや丸みを帯びた底部から横位に引き出された受部につながる。やや高い立ち上がりはわずかに内傾し、口唇部は内傾面を有する。	①口縁部～受部ヨコナデ、底部1/2をヘラケズリ ②口縁部～底部ヨコナデ	TK23
40-7	29	4 S-18	坏	古墳中期	胎土：密(径2mm以下の礫、長石) 焼成：良(軟) 色調：橙5YR7/8	口径：(12.9) 器高：4.6	内湾気味の口縁を有し、半球形の深い坏部へとつながる。	①底部ナデ ②底部板ナデ	
40-8	29	4 Q-9-10	坏	古墳後期	胎土：密(径1mm程の礫・銀雲母の雲母少量) 焼成：良 色調：橙7.5YR7/8	口径：(11.5) 器高：4.9	僅かに内湾する口縁部を有し、半円形の坏部につながる。口唇部は丸く収める。	①底部ナデ ②口縁部ヨコナデ	口縁部1/2、体部2/3残存、底部完形
40-9		4 Q-9・10	はそう	古墳中期	胎土：密(径3mm以下の石英・赤色粒子) 焼成：良 色調：灰N5/0	口径：(11.9) 器高：10.5 最大径：(10.8)	二重口縁状を呈する口縁部を有し、くの字に屈折する頸部から中位やや上に最大径を有する胴部につながる。底部はわずかに尖り気味の丸底となる。	①口縁部ヨコナデ、頸部・胴部最大径付近に櫛描波状紋 ②ヨコナデ	TK23自然釉あり
40-10		5 Y-17	坏身	古墳中期	胎土：密(白色粒子・小礫) 焼成：良 色調：灰N5/	口径：10.2 器高(1.5)	やや内傾する立ち上がりを有する。口唇部は上端に平坦面を有する。	①立ち上がりヨコナデ ②立ち上がりヨコナデ	TK23
40-11		5 Z-19 排水溝、黒色砂層	はそう	古墳中期	胎土：密(灰・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N6/	器高：7.3 最大径：9.5	大きく外反する口縁部を有し、くの字に屈折する頸部から中位やや上に最大径を有する胴部につながる。底部は丸みが強い丸底となる。	①頸部波状紋、最大径櫛刺突紋、底部タタキ ②頸部ヨコナデ、胴部ナデ	
40-12		表採	樽型はそう	古墳中期	胎土：密(白色粒子) 焼成：良 色調：灰N6/		側面と胴部の境に断面方形の鋭い突帯を有する。	①側面櫛描状の横刻突紋 ②ヨコナデ	TK216～208
40-13		5 Y-17	はそう	古墳中期	胎土：密(径2mm以下の石英・安山岩・白色粒子) 焼成：良 色調：褐灰5YR4/1	器高：12.9 最大径：10.2	二重口縁状を呈する口縁部を有し、くの字に屈折する頸部から中位やや上に最大径を有する胴部につながる。底部はわずかに尖り気味の丸底となる。	①頸部・最大径波状紋、肩部櫛刺突紋 ②ヨコナデ	頸口部に「#」、TK208、自然釉あり
40-14		5 表採	はそう・壺	古墳中期	胎土：密(白色粒子) 焼成：良 色調：灰5Y6/1	口径：(14.7) 器高：(4.5)	二重口縁状を呈する口縁部を有する。口唇部は上方に鋭い面を有し、屈折部外面には凹線と鈍い稜を有する。	①口縁部ヨコナデ後、櫛描波状紋を2段施す。 ②ヨコナデ	TK23
40-15		4 表土	はそう	古墳中期	胎土：密(径1mm以下の石英・輝石・白色粒子) 焼成：良 色調：褐灰10YR5/1	器高：14.7 最大径：15.5	大きく外反する口縁部を有し、くの字に屈折する頸部から、中位やや上に最大径を有する胴部につながる。底部は丸底を呈する。	①頸部波状紋、底部タタキ ②ヨコナデ	TK23、自然釉あり
40-16		5 表土	壺	古墳中期	胎土：密(径1mm以下の黒色粒子・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N4/0	口径：(11.7) 器高：19.5 最大径：(18.6)	二重口縁状を呈する口縁部を有する。くの字を屈曲する頸部から、肩部が張る丸みが強い胴部につながる。底部は丸底を呈する。	①口頸部波状紋、肩部・胴部下半タタキ ②ヨコナデ	TK208～TK23
41-1		4 S-15 暗灰色粘土層	坏蓋	古墳中期	胎土：密(径2mm以下の石英・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N5/0	口径：(14.4) 器高：4.1	平坦な天井部からほとんど開かない口縁部につながる。口唇部はやや鈍い水平面を有する。天井部と口縁部の境の稜はやや鈍い。	①天井部1/2ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ ②ヨコナデ	TK208
41-2		4 T-15	坏蓋	古墳後期	胎土：密(灰色粒子) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	器高：(2.6)	丸みを帯びた天井部から稜を持たずに口縁部につながる。	①天井部ヘラケズリ ②天井部ヨコナデ	
41-3		6	坏蓋	古墳後期	胎土：密(径2mm以下の石英・径1mm以下の安山岩・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N6/0	口径：14.4 器高：5.0	やや丸みを持った天井部から開き気味の口縁部へとつながる。口唇部には鈍い内傾面を有する。	①2/3ヘラケズリ ②ヨコナデ	TK10
41-4		5 Y-17	坏蓋	古墳後期	胎土：密(黒色粒子) 焼成：良 色調：灰N8/	口径：(10.2) 器高：(3.3)	丸みを帯びた天井部から稜を持たずに口縁部につながる。口唇部は丸く収める。	①天井部ヘラケズリ ②天井部ヨコナデ	7世紀中葉
41-5		5 Y-17	壺	奈良	胎土：密(白色粒子) 焼成：良 色調：灰白N7/	底径：(5.7) 器高：(7.7) 最大径：12.0	中位やや上に最大径を持つ扁平な胴部を有する。底部は突出しない平底を呈する。	①胴部ヨコナデ ②胴部ヨコナデ	7世紀
41-6		4 集水桝	坏蓋	古墳中期	胎土：密(径1mm以下の石英・輝石・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N5/0	口径：(12.0) 器高：4.5	丸みを帯びた天井部から開き気味の口縁部につながる。天井部と口縁部の境は鈍い凹線によって画す。口唇部は丸く収める。	①1/2ヘラケズリ ②ヨコナデ	TK47
41-7		5 Y-17	壺	奈良	胎土：密(石英・輝石・白色粒子) 焼成：良 色調：灰白5Y7/1	口径：8.5 器高：5.1 最大径：(8.6)	直立した口縁部から扁い胴部へとつながる。胴部と底部の境は弱い稜を有し丸みを帯びた底部へとつながる。口唇部は丸く収め、微妙に外反する。	①ヨコナデ ②ヨコナデ	7世紀
41-8		4 集水桝	坏蓋	古墳中期	胎土：密(径5mm以下の石英・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N5/0	口径：(11.7) 器高：4.2	丸みを帯びた天井部からわずかに開く口縁部につながる。天井部と口縁部の境は鈍い凹線によって画す。口唇部は鈍い内傾面を有する。	①天井部ヘラケズリ ②天井部ヨコナデ	TK47
41-9		4 S-9 青灰色粘土層	坏身	奈良	胎土：密(黒色粒子) 焼成：良 色調：灰白N8/	口径：(14.1) 器高：5.6 底径：(9.6)	大きく外傾する口縁部から平坦な底部につながる。口縁部と底部の境にには鈍い断面方形の高台を付す。口唇部は丸く収める。	①ヨコナデ ②ヨコナデ	8世紀前半
41-10		5 X-16、Y-17 砂礫粘土	短頸壺	古墳中期	胎土：密(石英・輝石・白色粒子) 焼成：良 色調：灰N5/0	口径：7.4 底径：3.9 器高：7.5 最大径：(9.1)	直立した単純口縁を有し、くの字に屈折する頸部からやや肩部が張る胴部につながる。口唇部は丸く収め、底部はほとんど突出しない平底を呈する。	①ヨコナデ ②ヨコナデ	TK23・208
41-11		5 集水桝	坏身	古墳後期	胎土：密(白・灰色粒子) 焼成：良 色調：黄灰2.5Y6/1	口径：12.0 器高：3.5 受部径：14.1	丸みが弱い浅い底部から内傾した口縁部につながる。受部は上外方に開く。口唇部は尖り気味に収める。	①立ち上がり～受部ヨコナデ、底部ヘラケズリ ②ヨコナデ	TK43～209、自然釉付着
41-12		5 表採	坏身	古墳後期	胎土：密(白色粒子) 焼成：良 色調：灰7.5Y5/1	口径：10.2 器高：3.9 受部径：12.6	丸みが強い深い底部から強く内傾した口縁部につながる。口唇部は丸く収め、受部は上方に折れ曲がる。	①立ち上がり～受部ヨコナデ、底部ヘラケズリ ②ヨコナデ	TK43
41-13		6 Y-17	平瓶	奈良	胎土：密(石英・輝石・白色粒子) 焼成：良 色調：灰白N7/0	器高：10.4 最大径：(13.5)	上位が張る丸い胴部を有し、上外方に延びる口縁部につながる。底部はわずかに平底となる。	①胴部下半ヘラケズリ ②胴部ヨコナデ	7世紀、自然釉あり

第19表　出土土器一覧表

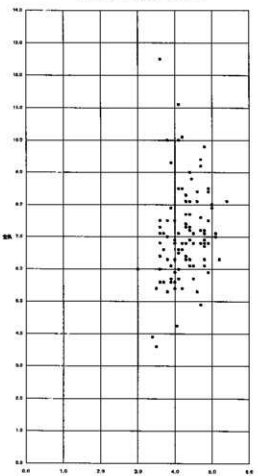
実測図版	写真図版	ぱ グリッド 登録 遺物	器種	時期	胎土 焼成 色調	法量(cm)	形態の特徴	調整の技法 ①：外面 ②：内面	備考
41-14			須恵器	奈良～平安	胎土：密 含：灰色粒子 焼成：良 色調：黄灰5Y5/1	最高：9.3 最大径：13.5	中位に最大径を持つ球形に近い胴部をもつ。	①回転ヘラキリ ②ヨコナデ	
41-15	6 Y-17	坏身	古墳中期		胎土：密 含：灰色粒子 焼成：良 色調：灰白5/	受部径：12.3 最高：(3.3)	やや浅い底部から上外方に開く受部につながる。	①ヨコナデ、高原ムルヘラナデ ②ヨコナデ	TK208
41-16	5 Y-17	坏身	古墳後期		胎土：密 含白粒子 焼成：良 色調：灰白5/	口径：(15.5) 最高：4.8 受部径：13.3	丸みを帯びたやや深い底部から内傾するに口縁部につながる。受部は浅く短いものに退化している。	①受部ヨコナデ、高原ヘラナデ ②ヨコナデ	TK43～209
41-17	5 Y-17	鉢付加質鉢	奈良		胎土：密 混石・径5mm以下の安山岩・白色粒子・赤色粒子 焼成：良 色調：暗黄2.5Y7/4	口径：(7.4) 最高：11.6 最大径：(11.7)	内底充時の凹部あり。屈曲が強く内傾するに口縁部につながり、頸部から緩やかに開く。	①ヨコナデ ②ヨコナデ	7世紀、搬入品あり
41-18	4 表採	瓦質鉢	奈良		胎土：密 含：灰色粒子 焼成：良 色調：灰白N6/	最高：3.0 最大径：14.1	球形に最大径を持ち下位がすぼまる胴部を有する。	①ヨコナデ ②ヨコナデ	8世紀後～9世紀前半
41-19	4 P-13	甕	古墳中期		胎土：密 含白粒子 焼成：良 色調：灰N6/	最高：(4.3)	大きく外反する口縁部を有する。	①ヨコナデ ②ヨコナデ	TK23
41-20	5 表採	甕	古墳中期		胎土：密 含白粒子 焼成：良 色調：灰N6/0	口径：(12.2) 最高：(8.5)	大きく外反する口縁部を有する。口縁部はやく収斂し、そのすぐ下に小さい突帯が巡る。	①ヨコナデ ②ヨコナデ	TK215
41-21	5 Y-17	高坏	奈良		胎土：密 混1mm以下の石英・褐石・白色粒子 焼成：良 色調：暗赤5YR3/1	口径：(14.2) 器高：12.6 脚部径：11.4	杯部下位の段から緩やかに外反して長く裾広がりにつながる。口縁部は上外方に強く引き出し、脚端部は肥大気味に強く立ち上がる。	①ヨコナデ→一部ヘラケズリ ②ヨコナデ	7世紀後半～8世紀前、搬入品あり

第20表　出土土器一覧表

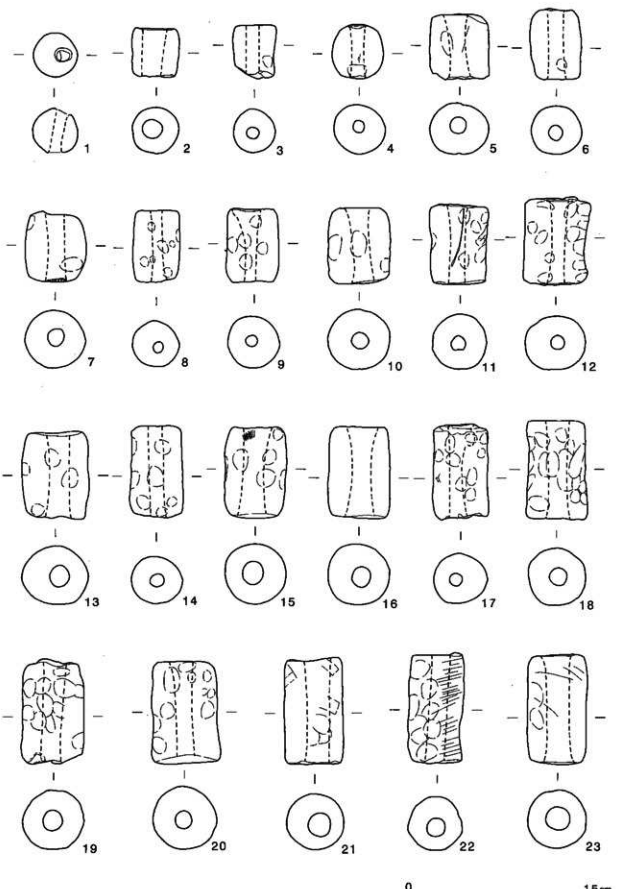
第Ⅱ章　土製品

いわゆる管状土錘が多量に出土している。形態は全長が短いものから細長いものまで様々であることから、各種の法量のものを抽出して図化することとした。法量を比較すると、直径は3.5～5.0㎝に、全長は、5.0～10.0㎝に分布が集中する。視覚的には全長に形態差が顕著である。なお、資料の実測は、各型式の典型的な資料を中心に行い、その他の遺物については、計測値一覧表及び、法量比較グラフによってその計測値を示すこととした。管状土錘はいずれも包含層出土資料であり、土器等との共伴関係から時期決定を行うことは困難であるが、古墳前期に相当するものであろう。同様のものが磐田市野際遺跡、菊川町三沢西原遺跡などにおいて古墳時代前期の土器群と共に出土している。

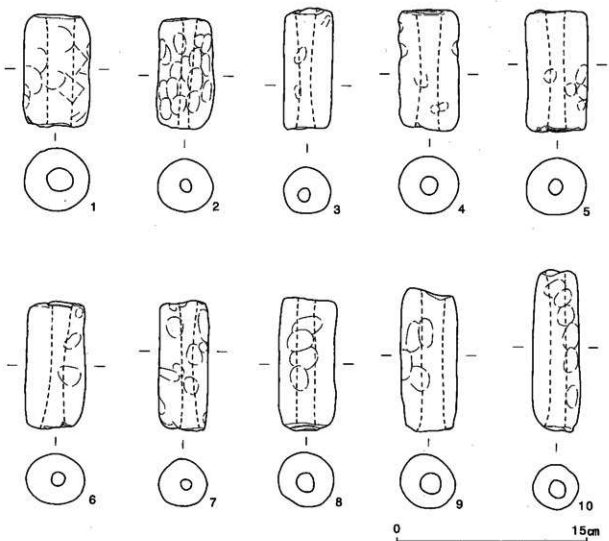
管状土錘法量比較



第21表　管状土錘グラフ



第42図　遺構及び包含層出土土製品実測図



第43図　遺構及び包含層出土土製品実測図

実測図版	写真図版	区 出土遺構 層位	器種	色調・胎土	法量・cm	重量・g	備考
42-1	32	5 包含層	土錘（玉）	色調：灰黄褐10YR5/2 胎土：良	直径：5.4 長さ：3.9 内径：1.0	54	端部欠損
42-2	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/4 胎土：良	直径：3.5 長さ：3.6 内径：1.6	52	
42-3	32	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR5/2 胎土：良	直径：3.5 長さ：5.4 内径：1.1	50	一部欠損
42-4	32	4 SR5	土錘	色調：橙色5YR7/6 胎土：良	直径：4.1 長さ：4.3 内径：0.9	60	
42-5	32	5 包含層	土錘	色調：黄灰2.5Y6/1 胎土：良	直径：4.7 長さ：4.9 内径：1.7	118	
42-6	32	5 包含層	土錘	色調：灰白2.5Y7/1 胎土：良	直径：4.0 長さ：5.4 内径：1.5	97	
42-7	32	4 包含層	土錘	色調：灰黄2.5Y6/2 胎土：良	直径：4.6 長さ：5.3 内径：1.8	127	
42-8	32	5 包含層	土錘	色調：黄灰2.5Y5/1 胎土：良	直径：3.6 長さ：5.6 内径：1.4	94	
42-9	32	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：4.0 長さ：5.6 内径：1.5	136	
42-10	32	5 包含層	土錘	色調：黄灰2.5Y6/1 胎土：良	直径：4.9 長さ：5.9 内径：1.7	101	
42-11	32	5 包含層	土錘	色調：橙5YR6/6 胎土：良	直径：4.4 長さ：6.3 内径：1.6	157	
42-12	32	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：4.6 長さ：6.7 内径：1.3	204	
42-13	32	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：5.2 長さ：6.3 内径：1.7	196	
42-14	32	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR6/2 胎土：良	直径：4.0 長さ：6.3 内径：1.2	143	
42-15	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：4.4 長さ：6.9 内径：2.1	188	
42-16	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：4.6 長さ：7.2 内径：2.3	193	
42-17	32	4 包含層	土錘	色調：橙5YR6/6 胎土：良	直径：4.1 長さ：7.1 内径：1.5	168	
42-18	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：4.7 長さ：7.6 内径：1.7	227	
42-19	32	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR6/2 胎土：良	直径：4.9 長さ：7.5 内径：1.5	220	
42-20	32	4 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR5/2 胎土：良	直径：5.0 長さ：8.0 内径：1.7	252	
42-21	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/3 胎土：良	直径：4.4 長さ：8.1 内径：1.4	217	
42-22	32	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR5/2 胎土：良	直径：4.2 長さ：8.5 内径：1.3	199	
42-23	32	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：4.6 長さ：8.4 内径：1.3	225	
43-1	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい橙7.5YR7/4 胎土：良	直径：4.3 長さ：8.5 内径：1.7	205	
43-2	32	4 SD300	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/3 胎土：良	直径：4.5 長さ：8.6 内径：0.8	213	
43-3	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：3.9 長さ：9.5 内径：1.6	155	わずかに欠損
43-4	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい橙7.5YR6/4 胎土：良	直径：4.7 長さ：9.2 内径：1.4	244	
43-5	32	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR5/2 胎土：良	直径：4.7 長さ：9.4 内径：1.5	253	
43-6	32	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：4.8 長さ：9.8 内径：1.5	222	一部欠損
43-7	32	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：3.6 長さ：10.0 内径：1.6	159	
43-8	32	5 包含層	土錘	色調：褐灰10YR6/1 胎土：良	直径：4.2 長さ：10.1 内径：1.3	265	
43-9	32	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：4.1 長さ：11.1 内径：1.5	245	
43-10	32	4 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：3.6 長さ：12.5 内径：1.3	130	
-	-	4 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：3.6 長さ：6.8 内径：1.8	101	
-	-	4 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：5.1 長さ：7.0 内径：2.2	186	
-	-	4 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：3.9 長さ：5.6 内径：1.8	66	

実測図版	写真図版	区 出土遺構 層位	器種	色調・胎土	法量・cm	重量・g	備考
-	-	4 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：5.4 長さ：8.1 内径：2.2	267	
-	-	4 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：5.0 長さ：7.9 内径：2.0	202	
-	-	4 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/3 胎土：良	直径：4.3 長さ：8.1 内径：1.6	136	
-	-	4 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：4.0 長さ：6.3 内径：1.2	114	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR5/2 胎土：良	直径：4.2 長さ：6.8 内径：1.6	145	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR5/2 胎土：良	直径：4.4 長さ：7.7 内径：1.3	158	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：3.6 長さ：5.3 内径：1.5	88	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰黄褐10YR6/2 胎土：良	直径：4.0 長さ：6.6 内径：1.9	114	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい褐7.5YR6/3 胎土：良	直径：4.1 長さ：6.6 内径：1.8	120	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：3.9 長さ：5.7 内径：1.8	94	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：4.1 長さ：5.7 内径：2.0	117	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：4.7 長さ：7.2 内径：1.9	142	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰黄2.5Y6/2 胎土：良	直径：3.6 長さ：7.3 内径：1.4	126	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい褐7.5YR6/3 胎土：良	直径：4.3 長さ：6.3 内径：1.6	140	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR6/2 胎土：良	直径：4.0 長さ：7.6 内径：1.3	102	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：3.7 長さ：5.6 内径：1.5	92	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR6/3 胎土：良	直径：4.1 長さ：6.0 内径：1.4	122	
-	-	5 包含層	土錘	色調：褐灰10YR6/1 胎土：良	直径：4.0 長さ：5.9 内径：1.4	129	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい赤褐5YR5/4 胎土：良	直径：4.1 長さ：6.5 内径：2.0	121	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR6/2 胎土：良	直径：3.6 長さ：7.5 内径：1.0	134	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：4.3 長さ：7.4 内径：1.5	173	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：3.0 長さ：6.1 内径：1.6	127	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR6/2 胎土：良	直径：3.6 長さ：6.3 内径：1.4	110	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/3 胎土：良	直径：3.6 長さ：6.0 内径：1.3	113	
-	-	5 包含層	土錘	色調：褐灰10YR5/1 胎土：良	直径：3.8 長さ：7.0 内径：1.3	118	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：3.7 長さ：5.5 内径：1.4	112	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい褐7.5YR6/3 胎土：良	直径：4.5 長さ：6.1 内径：1.3	154	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：4.5 長さ：6.6 内径：1.8	166	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰黄2.5Y6/2 胎土：良	直径：3.8 長さ：7.5 内径：1.3	180	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい黄橙10YR7/2 胎土：良	直径：4.4 長さ：7.3 内径：1.5	205	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい褐7.5YR6/4 胎土：良	直径：4.8 長さ：7.1 内径：1.7	211	
-	-	5 包含層	土錘	色調：にぶい褐7.5YR6/3 胎土：良	直径：4.6 長さ：8.1 内径：1.6	252	
-	-	5 包含層	土錘	色調：明赤褐5YR5/6 胎土：良	直径：4.6 長さ：6.8 内径：1.3	174	
-	-	5 包含層	土錘	色調：褐灰7.5YR6/1 胎土：良	直径：4.7 長さ：6.8 内径：1.3	250	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR5/2 胎土：良	直径：4.4 長さ：6.1 内径：1.4	150	
-	-	5 包含層	土錘	色調：灰褐7.5YR6/2 胎土：良	直径：4.4 長さ：7.2 内径：2.0	190	

第22表　出土土製品一覧表

実測図版	写真図版	区 出土遺構 層位	器種	色調・胎土	法量・cm	重量・g	備考
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：灰黄褐10YR 6/2 胎土：魚	直径：4.5 長さ：6.8 内径：1.4	149	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：4.5 長さ：7.5 内径：1.3	168	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：4.5 長さ：6.3 内径：1.5	186	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：5.1 長さ：7.1 内径：1.8	226	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：4.4 長さ：5.0 内径：1.6	219	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：灰黄褐10YR 6/2 胎土：魚	直径：4.5 長さ：6.4 内径：1.3	174	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい橙5Y R6/4 胎土：魚	直径：4.5 長さ：7.7 内径：1.5	196	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：3.6 長さ：6.4 内径：1.5	105	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：4.5 長さ：7.1 内径：1.5	187	
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/3 胎土：魚	直径：4.9 長さ：8.4 内径：1.8	259	縁長少し欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：3.9 長さ：7.9 内径：1.5	114	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：3.0 長さ：6.0 内径：0.9	85	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙10 YR7/2 胎土：魚	直径：4.5 長さ：8.3 内径：1.3	206	一部欠損

実測図版	写真図版	区 出土遺構 層位	器種	色調・胎土	法量・cm	重量・g	備考
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：褐灰7.5YR 6/1 胎土：魚	直径：4.5 長さ：7.7 内径：1.5	169	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい褐7.5 YR5/3 胎土：魚	直径：4.1 長さ：10.0 内径：1.5	211	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい黄橙 10YR10/3 胎土：魚	直径：3.7 長さ：7.1 内径：1.5	132	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい褐7.5 YR5/3 胎土：魚	直径：4.1 長さ：8.5 内径：1.9	185	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：にぶい褐7.5 YR5/3 胎土：魚	直径：3.6 長さ：7.1 内径：1.8	115	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：褐灰10YR 6/1 胎土：魚	直径：4.8 長さ：6.1 内径：1.5	151	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：褐灰10YR 5/1 胎土：魚	直径：4.5 長さ：6.8 内径：1.8	157	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：灰黄褐10Y R6/2 胎土：魚	直径：4.3 長さ：7.4 内径：1.6	138	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：褐灰10YR 6/1 胎土：魚	直径：4.5 長さ：5.7 内径：1.8	123	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：褐灰10YR 6/1 胎土：魚	直径：4.9 長さ：6.9 内径：2.0	169	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：褐灰7.5YR 5/1 胎土：魚	直径：4.3 長さ：6.6 内径：2.0	146	一部欠損
-	-	5 弦金層	土鍋	色調：灰褐7.5YR 5/2 胎土：魚	直径：4.7 長さ：5.4 内径：1.5	114	縁長欠損

第23表　出土土製品一覧表

第Ⅲ章　石器・石製品

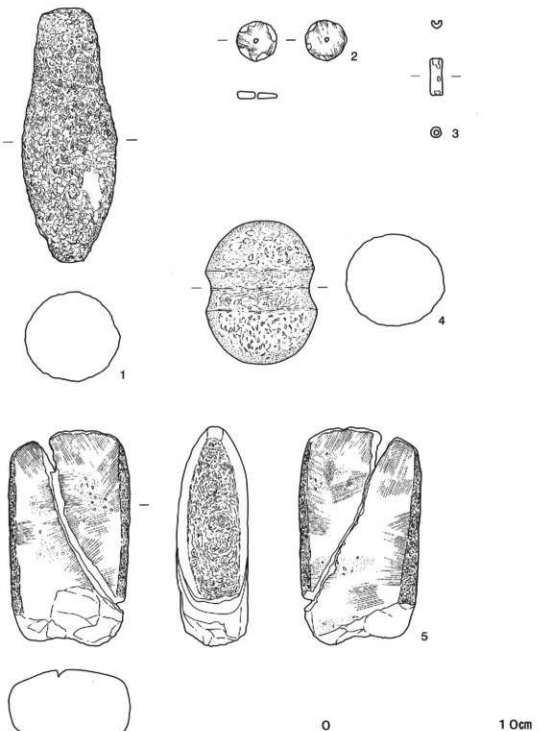
石器及び石製品は、石錘（44-1・4）、石斧（44-5）、砥石（44-1～3）、有孔円盤（44-2）、管玉（44-3）などが出土している。44-1は、有頭錘である。有頭石錘は、弥生後期～古墳前期に駿河湾沿岸部に多く分布する当地域特有の石錘である。今回の出土は有頭石錘の主要な分布域から外れおり、同種のものとしてはおそらく分布の最西端に位置するものであろう。

実測図版	写真図版	区 出土遺構 層位	器種	石材	法量・cm	重量・g	備考
44-1	33	4 7-145 弥生後 砂土層	有頭石錘	ハンレイ岩	長さ：15.4 幅：5.0 厚さ：4.7	635	
44-2	33	包含層	有孔円盤	滑石	長さ：2.2 幅：2.1 厚さ：0.4	—	
44-3	33	包含層	管玉	滑石	長さ：2.0 幅：0.6 厚さ：0.5	—	
44-4	33	5 斜水路	有頭石錘	花崗閃緑岩	長さ：7.5 幅：5.9 厚さ：4.8	348	
44-5	33	4 8-14 5-11	石斧	ハンレイ岩	長さ：11.4 幅：6.4 厚さ：3.5	562	
45-1	34	4 8-13	砥石	中粒砂岩	長さ：13.5 幅：7.2 厚さ：4.8	635	
45-2	34	4 3-15	砥石	結晶片岩	長さ：13.8 幅：9.0 厚さ：3.5	384	
45-3	33	5 斜水路	砥石	細粒砂岩	長さ：11.0 幅：4.7 厚さ：1.5	101	

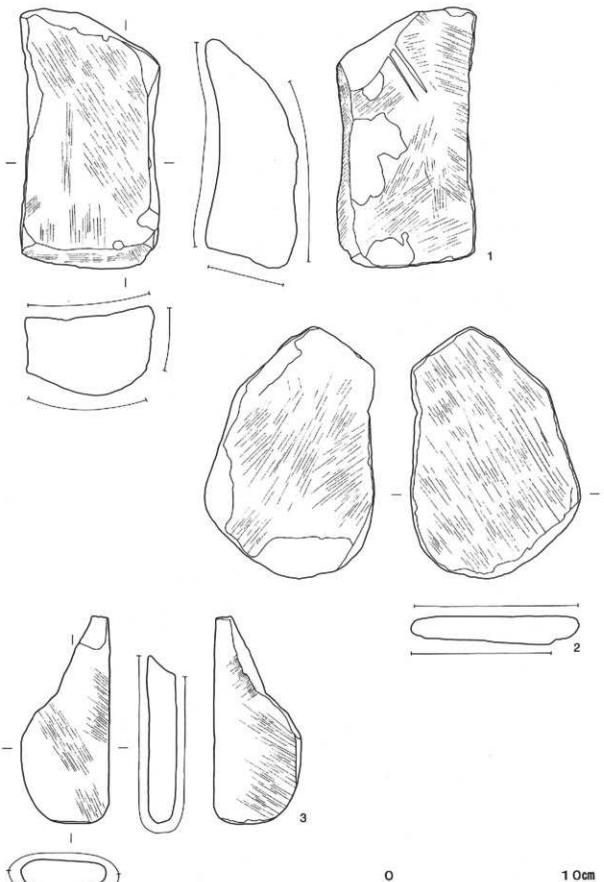
第24表　出土石器一覧表

第Ⅳ章　木器他

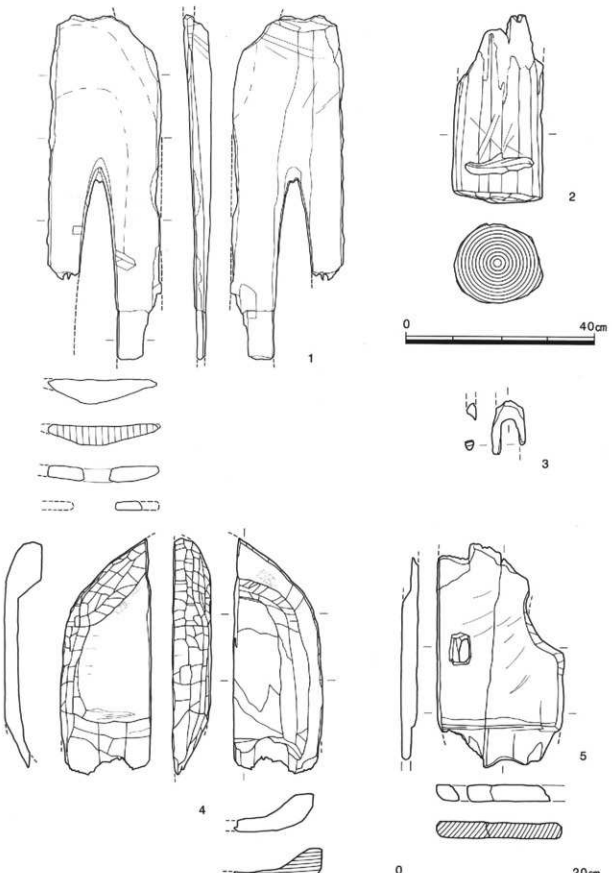
木器は、井戸材や掘立柱建物の柱の礎板に転用された建築材、船などが出土している。また漆塗り製品として竪櫛が一点出土している。井戸材に転用された準構造船の部材については、共伴する土器の編年観を尊重すれば、古墳前期初頭に比定されることから、同時期の準構造船の形態を知る上で貴重な資料になるものと考えられる。



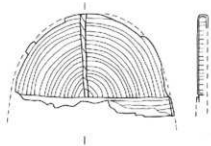
第44図　包含層出土石器実測図

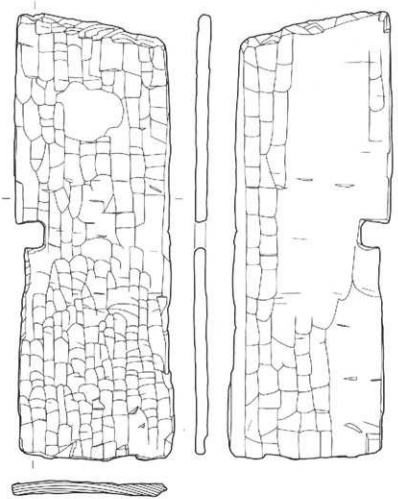


第45図　包含層出土石器実測図

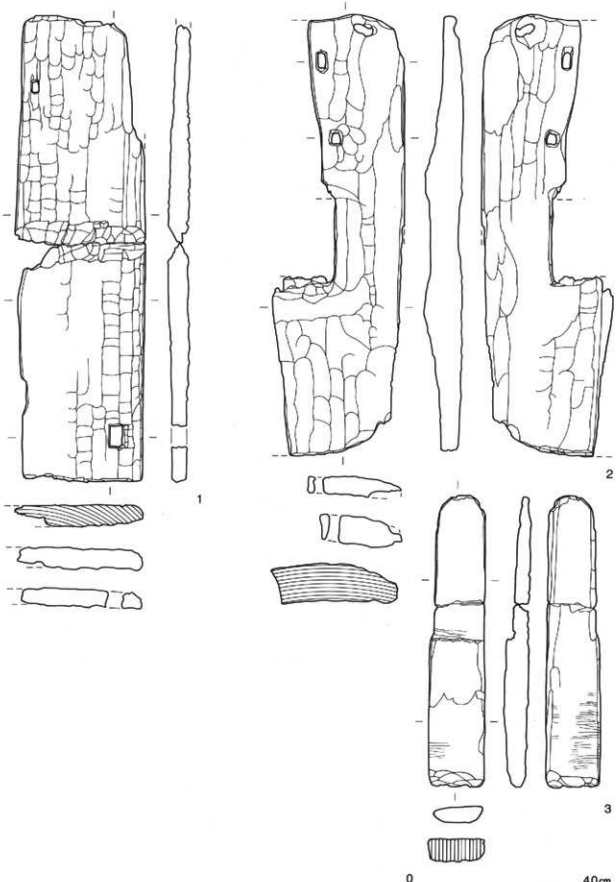


第46図　遺構及び包含層出土木器実測図

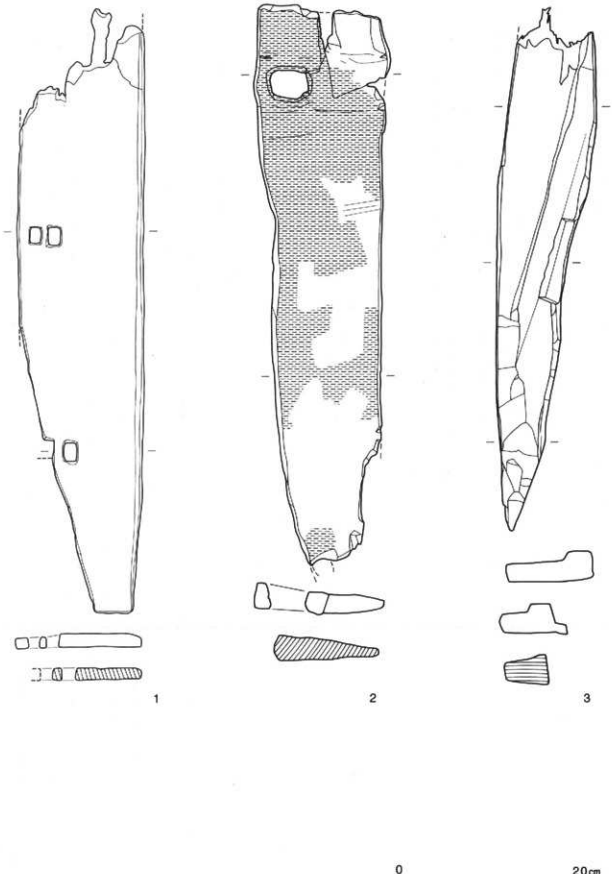




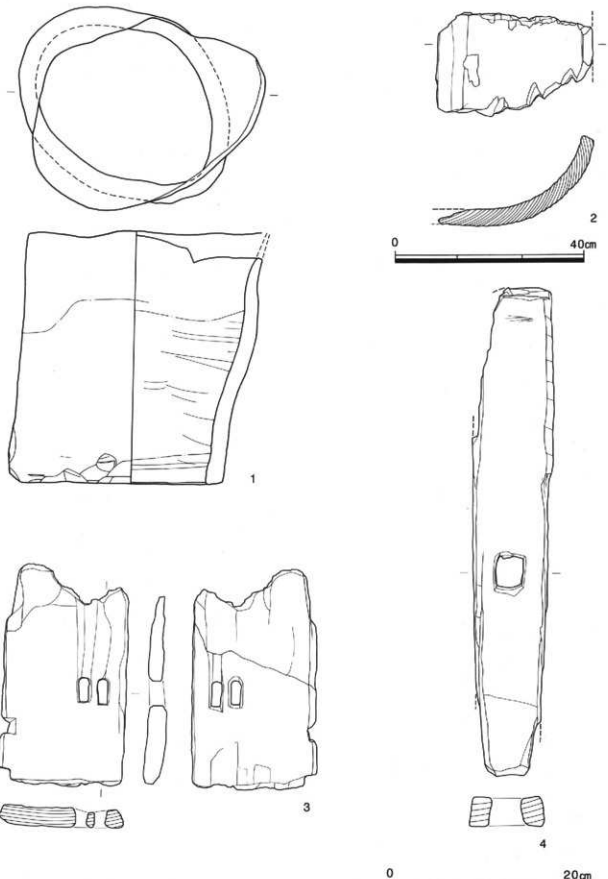
第47図　遺構及び包含層出土木器実測図



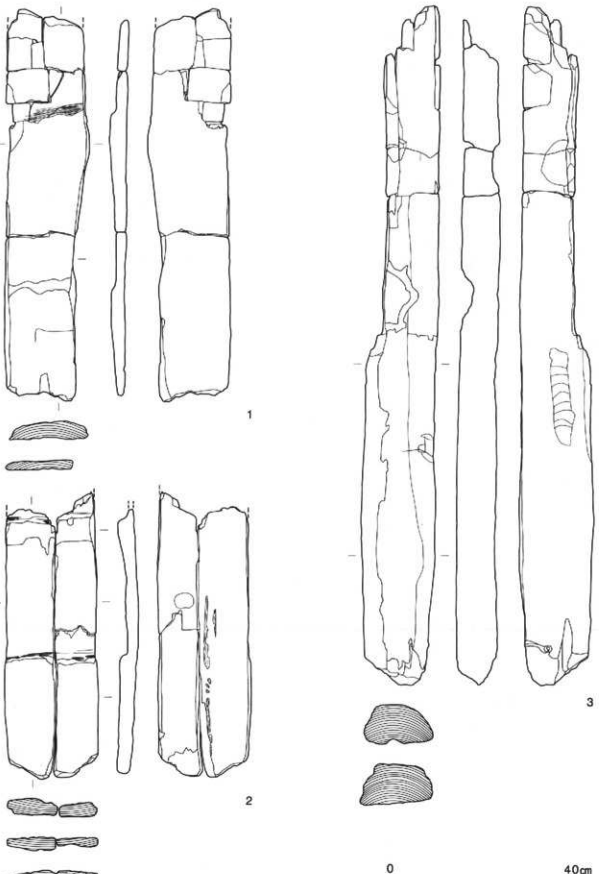
第48図　遺構及び包含層出土木器実測図



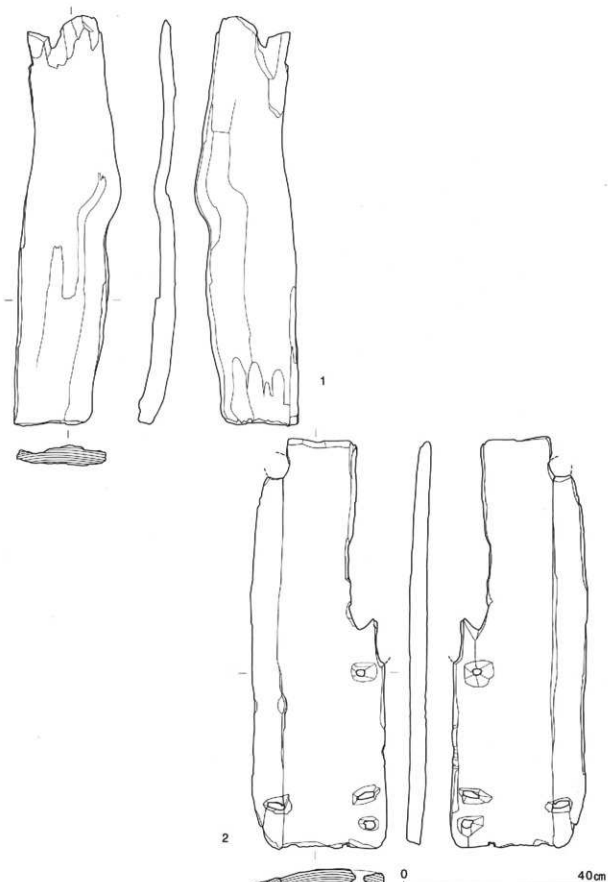
第49図　遺構及び包含層出土木器実測図



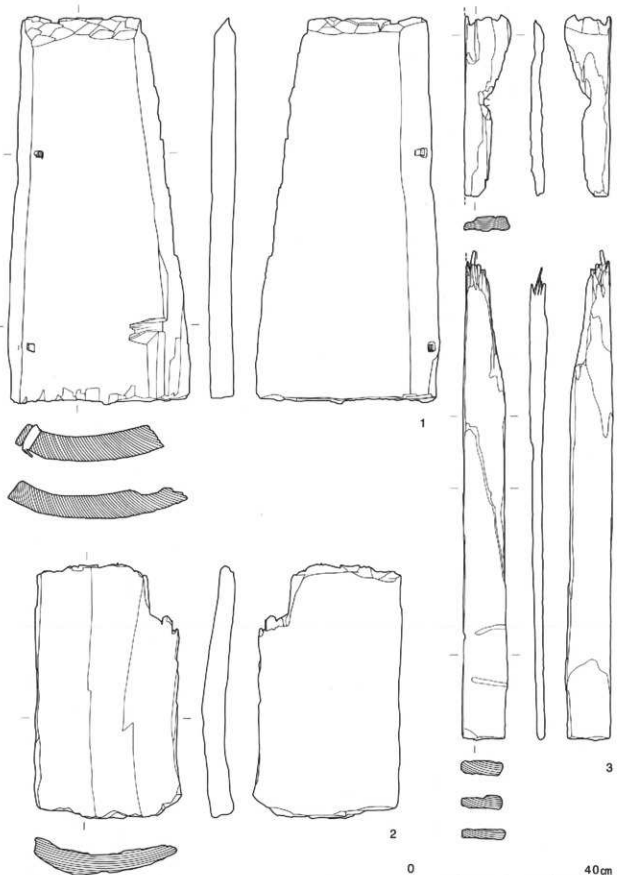
第50図　遺構及び包含層出土木器実測図



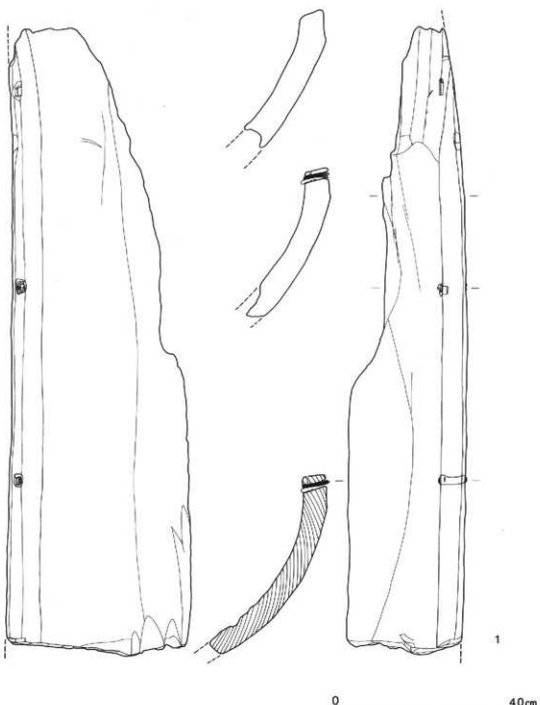
第51図　遺構及び包含層出土木器実測図



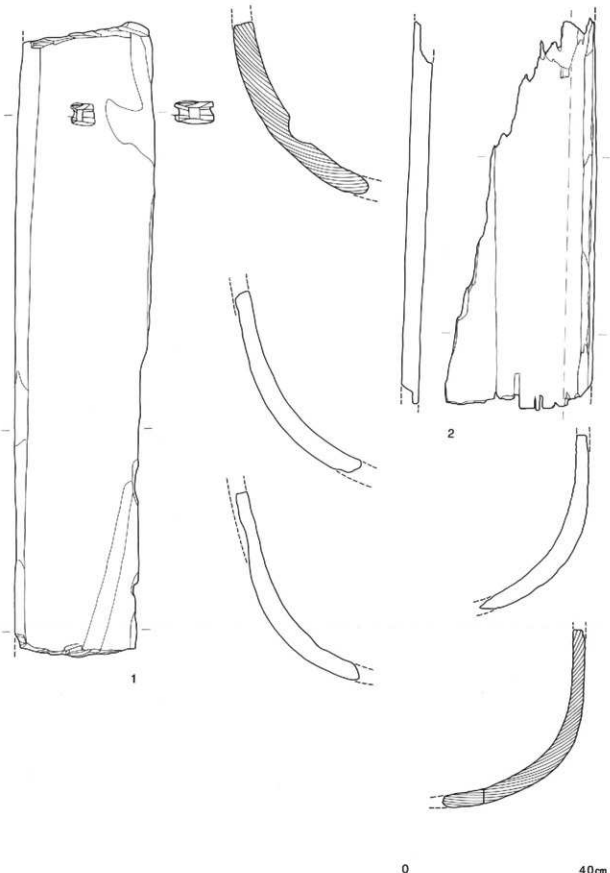
第52図　遺構及び包含層出土木器実測図



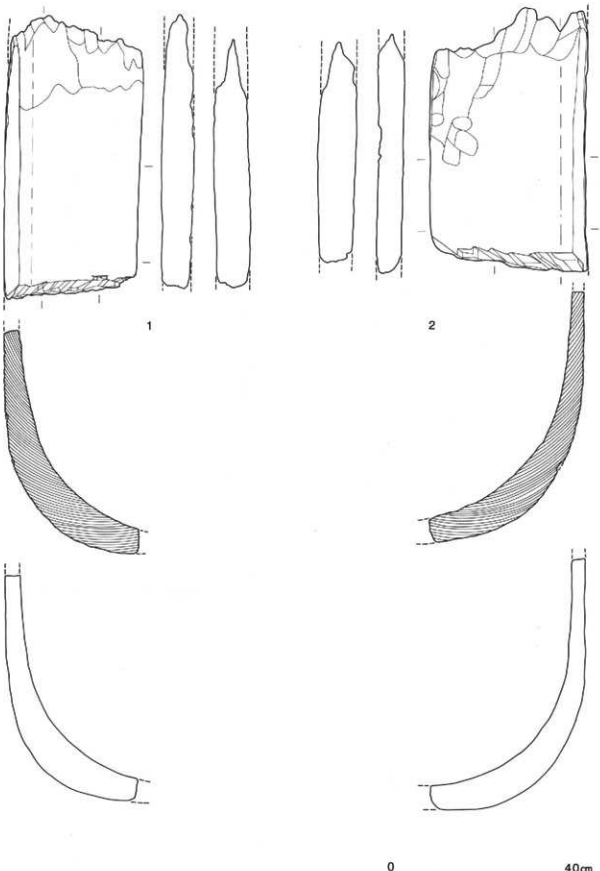
第53図　遺構及び包含層出土木器実測図



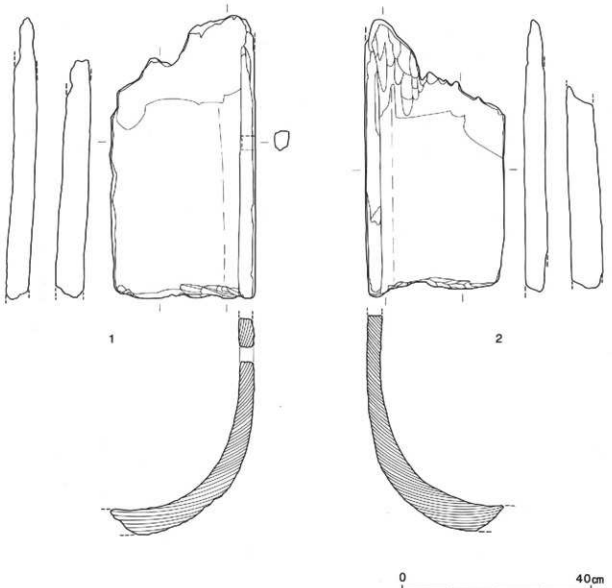
第54図　遺構及び包含層出土木器実測図



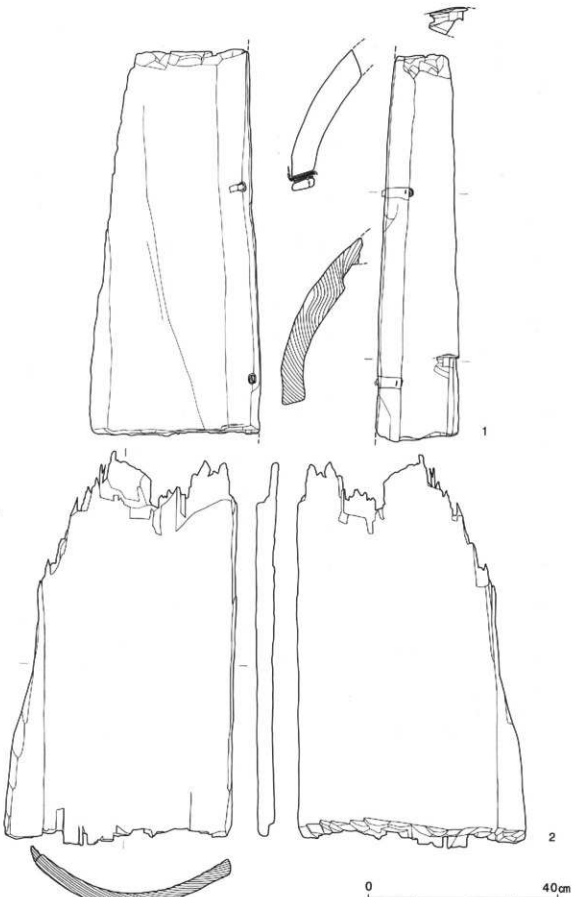
第55図　遺構及び包含層出土木器実測図



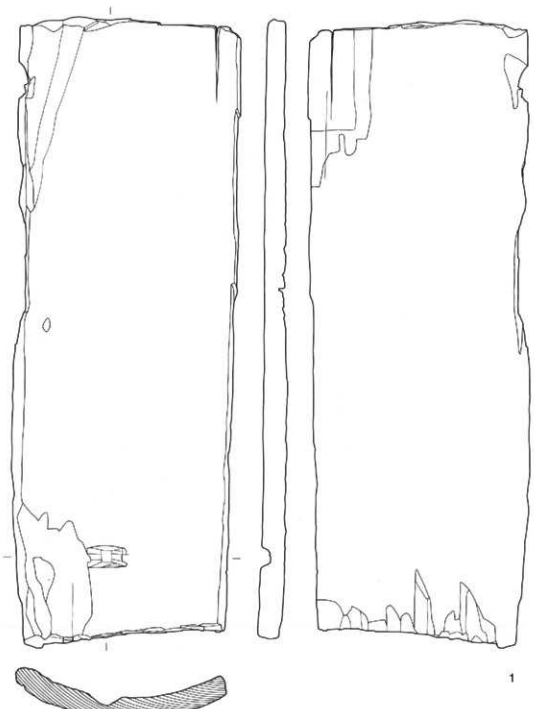
第56図　遺構及び包含層出土木器実測図



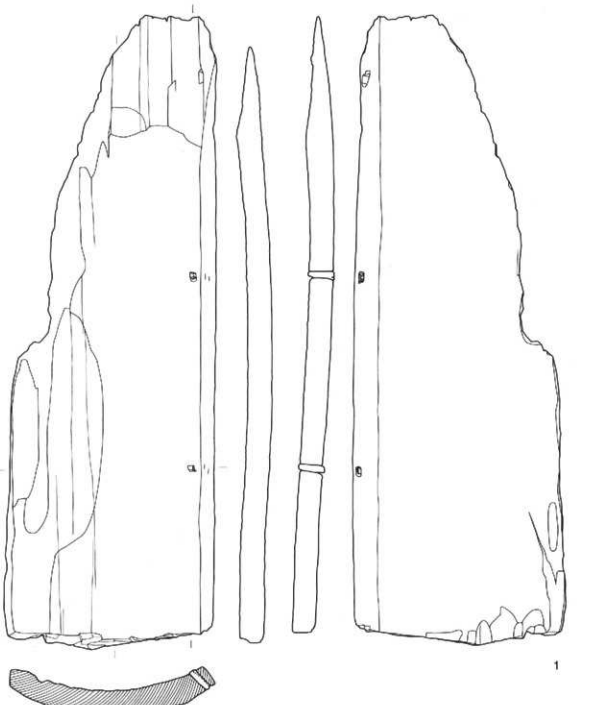
第57図　遺構及び包含層出土木器実測図



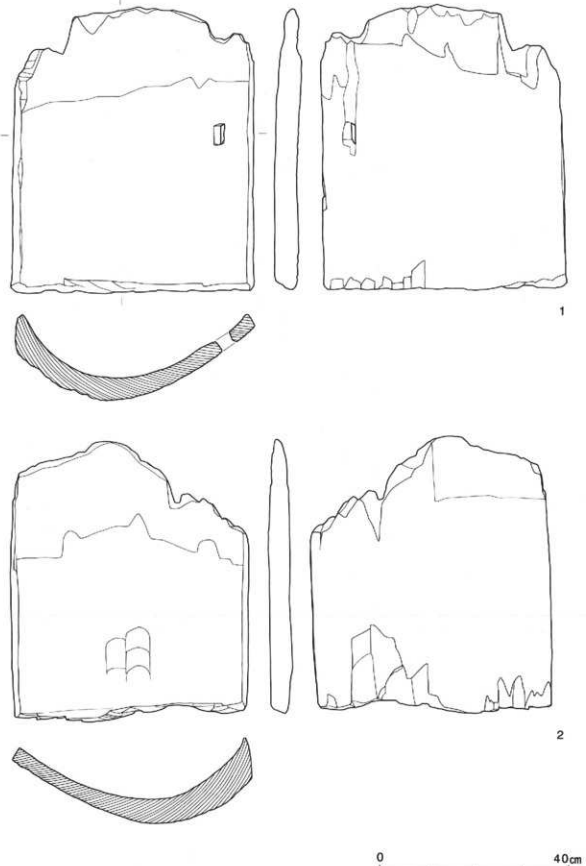
第58図　遺構及び包含層出土木器実測図



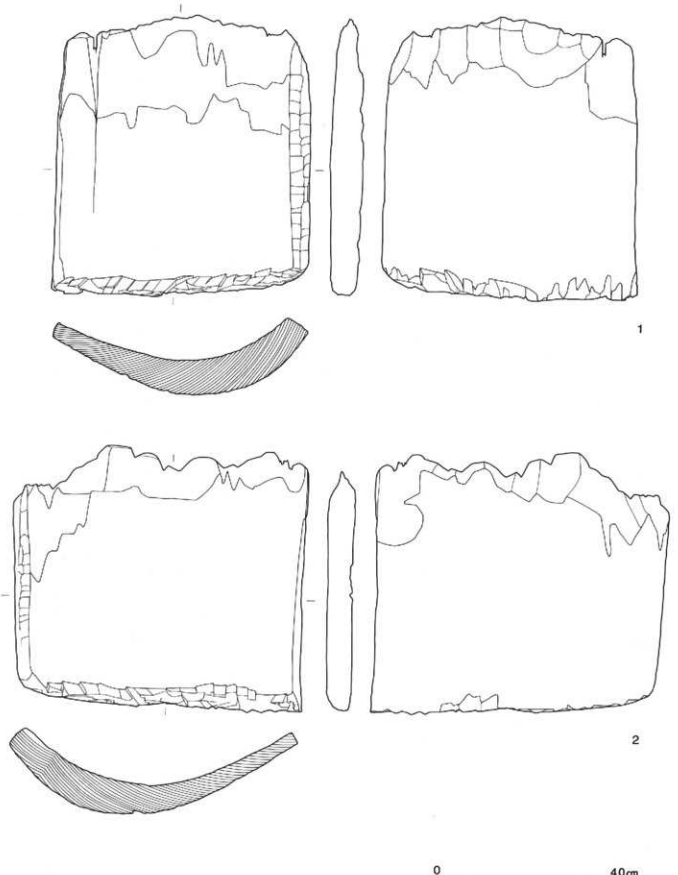
第59図　遺構及び包含層出土木器実測図



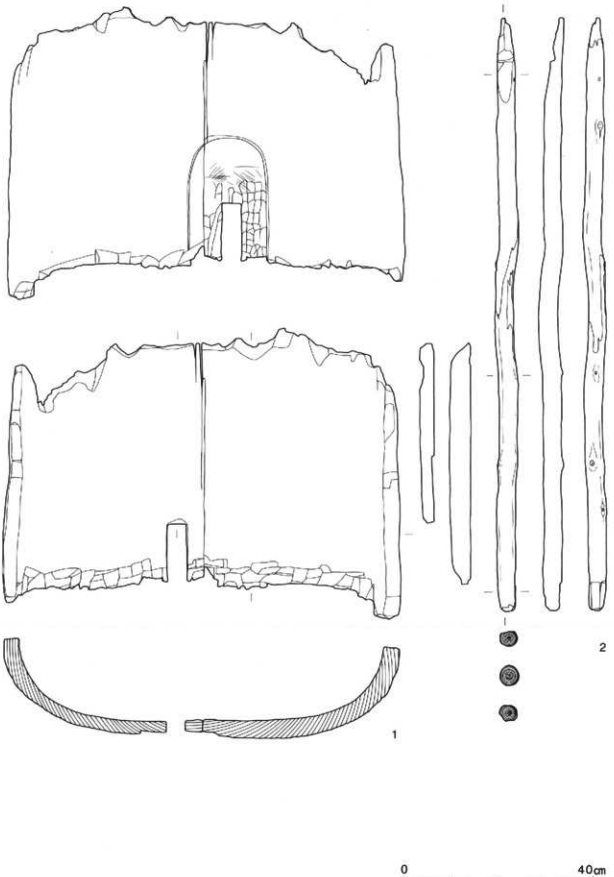
第60図　遺構及び包含層出土木器実測図



第61図　遺構及び包含層出土木器実測図



第62図　遺構及び包含層出土木器実測図



第63図　遺構及び包含層出土木器実測図

実測図版	写真図版	器種	転用区分	区	グリッド	出土遺構	樹種	長辺	短辺	厚さ	備考
46-1	35	二又鍬	鍬板か	4	Q-11	SH1-P4	不明	(36.4)	(11.6)	26.0	
46-2	35	柱	-	4	Q-12	SH5-P4	スダジイ	39.6	19.0	17.0	
46-3	35	用途不明	-	4	R-12	SD12	不明	(5.6)	(3.5)	(1.0)	U字型の加工品
46-4	35	槽	-	4	S-12	小穴	ヒノキ	(24.9)	(9.5)	4.1	
46-5	35	建築材	鍬板か	4	Q-12	SP135	不明	(23.6)	(13.2)	1.8	
47-1	35	竪櫛	-	4		SX3	竹	(2.7)	(4.3)	(0.3)	漆塗り
47-2	36	建築材	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	93.7	34.0	2.9	
48-1	36	建築材	井戸材	4	S-13	SE4	スギ	(98.6)	(26.2)	4.8	
48-2	36	曲物	井戸材	4	S-13	SE4	スギ	93.4	(27.7)	8.7	
48-3	36	用途不明	井戸材	4	S-13	SE4	不明	61.8	11.8	5.1	
49-1	37	建築材	井戸材	4	S-14		ヒノキ	(63.6)	13.55	1.4	
49-2	37	建築材	井戸材	4	S-14	SE5	ムクロジ	(59.2)	14.4	2.8	
49-3	37	用途不明	井戸材	4	S-14	SE5	スギ	(55.3)	10.4	3.3	
50-1	37	井戸材	-	4		SE6	タスノキ	(24.8)	25.6	1.6	
50-2		丸木船	井戸材	4	R-12	SE1	スギ	(21.9)	(33.1)	1.9	
50-3	37	建築材	井戸材	4	R-12	SE1	スギ	23.4	13.3	2.3	
50-4	37	建築材	井戸材	4	S-15	SE8	スギ	(51.4)	8.5	3.4	
51-1	38	簀子か	井戸材	4	S-13	SE3	不明	82.0	17.5	3.7	
51-2	38	簀子か	井戸材	4	S-13	SE3	クリ	(60.2)	19.5	3.9	
51-3	38	用途不明	井戸材	4	S-13	SE3	ツブラジイ	142.0	15.8	8.6	
52-1	39	用途不明	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	85.7	19.7	4.5	
52-2	39	用途不明	井戸材	4	S-13	SE3	モミ	85.9	28.7	3.8	
53-1	40	準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	81.3	38.5	5.6	
53-2	40	準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	53.4	30.9	4.9	
53-3	39	準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	(102.3)	9.9	2.4	
54-1	41	準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	(131.2)	(24.5)	6.0	■同一個体か
55-1		準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	(132.4)	(29.9)	5.5	■同一個体か
55-2	42	丸木船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	(82.0)	(31.0)	4.2	
56-1	42	丸木船	井戸材	4	S-13	SE8	スギ	(59.0)	(29.1)	7.9	●同一個体か
56-2	42	丸木船	井戸材	4	S-15	SE8	スギ	(55.6)	(33.5)	8.0	●同一個体か
57-1	43	丸木船	井戸材	4	S-15	SE8	スギ	(60.1)	(50.2)	5.2	●同一個体か
57-2	43	丸木船	井戸材	4	S-15	SE8	スギ	(58.4)	(50.1)	6.1	●同一個体か
58-1		準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	(81.2)	(36.0)	5.6	■同一個体か
58-2		丸木船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	83.0	48.1	4.0	
59-1		準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	132.9	47.6	5.0	
60-1		準構造船	井戸材	4	S-13	SE3	スギ	132.2	44.5	5.5	
61-1		準構造船	井戸材	6	S-15	SE8	スギ	60.1	50.2	5.2	
61-2		準構造船	井戸材	7	S-15	SE8	スギ	58.4	50.1	6.1	
62-1		準構造船	井戸材	4	S-15	SE8	スギ	58.8	60.0	7.6	
62-2		準構造船	井戸材	5	S-15	SE8	スギ	55.4	61.9	7.5	
63-1	43	丸木船	井戸材	4	R-12	SE1	不明	61.5	83.0	4.4	
63-2	40	棒状	井戸材	4	S-13	SE3	イヌマキ	123.9	4.2	-	

第25表　出土木器一覧表

第V章　まとめ

本遺跡では、弥生時代から中世・近代にわたる時期の土器が多数出土した。ここでは、弥生時代から奈良時代にわたる時期の土器・土製品・石器・石製品・木器について報告した。

今回の調査で時期的に最も古いものとして包含層から出土した弥生時代中期中葉の壺があげられる。いわゆる嶺田式と呼ばれるものであり、壺は、細頸長頸でヘラ描紋や縄文によって加飾することを基本とする。同時期に比定される遺構・遺物は皆無であり、遺跡内において一定規模に展開するには次段階を待たなければならない。弥生中期後葉には方形周溝墓群が展開し、遺構・遺物共に前段階とは量的に格段の飛躍を見せている。方形周溝墓出土土器をはじめ、遺物包含層からは、壺・甕といった該期の土器様式を構成する基本的な器種を確認することができた。いわゆる白岩式と呼ばれるものであり、擬描紋で加飾するものや、無紋化し器壁を丁寧にミガキ調整する壺が特徴的である。また、暗灰色～黒色を呈する特徴的な胎土を持つことが特徴である。なお、これに並行するとみられる口縁部に波状文（簾状文）を施す土器片は、搬入品の可能性が高い。畿内第Ⅲ～Ⅳ様式に並行すると考えられ、遺跡の立地とあわせて当時の地域間交流を考える上で注目される資料である。弥生後期になると、遺構・遺物の量が激減する。これは、当時の自然環境、例えば海岸線や河川の流れの等の変化によって、本遺跡周辺において該期には生活に適さなかったことが考えられる。ところが、後続する古墳時代前期になると遺構・遺物の量は爆発的に増加する。該期には井戸・土坑といった遺構がいくつか確認され、流路または地形的な落ち込み部分には遺物包含層が厚く堆積しており、多量の遺物が出土した。主体となるのはやはり土器であり、当地域の基本的な器種構成を網羅するだけでなく、近接した東海東部、東海西部をはじめとして、畿内～山陰地方から搬入または模倣した土器が出土した。また、管状土錘が多量に出土しており、当遺跡が漁撈とも密接な関係を有していたことが推測できる。また、同じく漁撈具として駿河湾最奥部に分布の中心があるいわゆる有頭石錘が出土しており、当時の活発な地域間交流がうかがえる。そして、井戸材に転用された準構造船の部材については、共伴する土器から古墳前期の時期が考えられ、当該期の準構造船の構造を知る上で貴重な発見となった。古墳中期では前代と同様多くの遺構・遺物が出土した。新聞報道などでも話題となった「舟形粘土棺」を主体部にもつ小規模な古墳が築造された時期に相当する。TK208～23型式並行というやや古相の須恵器が認められた。古墳後期以降奈良時代に至る時期になると、遺構・遺物量は徐々に減じていく。

以上のように弥生中期後葉と古墳前期、中期に遺跡の盛行時期があり、各時期に散見される他地域からもたらされた土器・石器のあり方から、当遺跡が立地する沿岸部は、他地域との交流の窓口的な役割を担っていた可能性が高く、外来系文物を受け入れる必要条件が整っていた可能性が考えられる。

今回の調査では上述のように多量の土器が出土している。したがって、本報告では出土遺物の典型的なものを図化したに過ぎない。これらに関する分析・検討は機会を改めて行うこととしたい。

本報告の執筆に際しては、以下の方々に御世話になるとともに貴重な御教示をいただいた。記して感謝申し上げる。（五十音順・敬称略　浅野　毅、岩木智絵、菊田　宗、柴田　稔、白澤　崇、鈴木隆夫、塚本和弘、永井義博、中野　宥、巻田克彦、早川保子、松井一明、森井雅彦、守屋豊人、八木勝行、山口和夫、山本恵一、吉岡伸夫、渡井英誉）

参考・引用文献

赤塚次郎　1994　「松河戸様式の設定」　松河戸遺跡　愛知県埋蔵文化財センター

赤塚次郎　1990　廻間遺跡　愛知県埋蔵文化財センター

赤塚次郎　1992　「東海系のトレース」　古代文化　第44号第6巻　古代學協会

岩本　貴　1997　「袋井市小山角田遺跡出土の古式土師器について」　静岡県考古学研究　第29号　静岡県考古学会

熊野正也　1974　「特殊な器台形土器について（1）」　史館　第3号　史館同人

鈴木敏則　1999　「遠江の古墳時代中期土器様式（山ノ花様式）」　東国土器研究　第5号　東国土器研究

中嶋郁夫　1997　「東海東部の古式土師器」　静岡県史研究第13号　静岡県史編さん室

松井一明　1995　「第4章総括　第2節遺物について　古墳時代前半期の土器編年」
坂尻遺跡 -遺物・総括編-　袋井市教育委員会

渡井英誉　1994　「東駿河における庄内式期の様相」　庄内式土器研究Ⅶ　庄内式土器研究会

渡井英誉　1994　「月の輪平遺跡第1号住居址出土のS字甕」　庄内式土器研究Ⅴ　庄内式土器研究会

渡井英誉　1998　「大廓式土器小考　-大廓式土器の画期とその展開-」　庄内式土器研究ⅩⅥ　庄内式土器研究会

磐田市教育委員会　1994　野際遺跡発掘調査報告書

袋井市教育委員会　1991　川田・藤蔵洞遺跡

静岡県埋蔵文化財調査研究所　1996　川田・藤蔵洞遺跡

静岡県埋蔵文化財調査研究所　1994　新堀遺跡

浅羽町教育委員会 1997　浅羽町史

柴田　稔　1984　青木、馬場第1・第2遺跡　浅羽町教育委員会

写 真 図 版

1-12

1-1

1-8

1-6

2-4

4-15

4-3

4-2

図版 2

4-13

4-16

4-17

5-14

5-5

5-7

5-11

5-6

5-3

5-1

5-2

6-15

5-4

6-1

6-6

6-11

図版 4

6-12

7-6

7-3

7-5

7-1

7-7

8-4

8-9

9-2

9-8

9-3

10-3

9-6

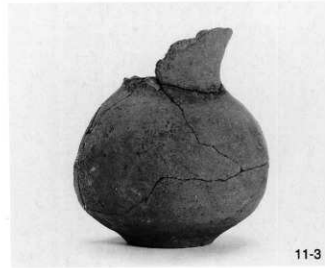
10-5

図版 6

10-2

10-1

10-4


11-3

11-4

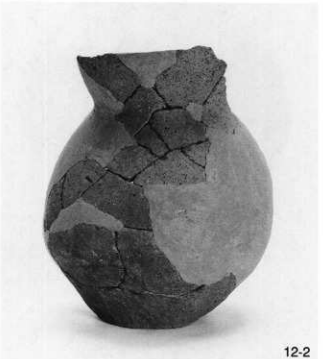
11-6

11-2

11-1

12-6

11-5



12-2

12-3

12-1

図版 8

14-6

14-9

13-1

14-4

13-4

15-9

15-3

15-1

15-4

17-7

15-6

17-5

15-8

17-3

図版 10

17-8

17-2

17-1

18-7

18-4

18-6

18-1

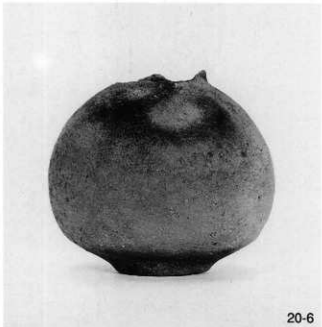
19-6

19-5

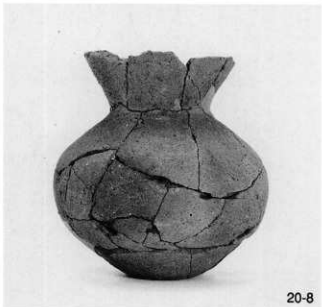
20-5

20-10

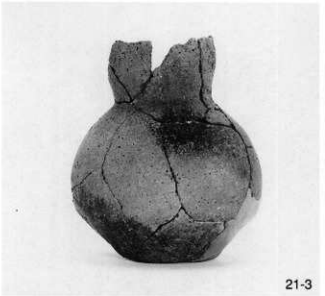
20-11


20-6

20-9


20-8

図版 12


21-3

21-4

20-3

21-7

21-1

21-10

21-9

21-3

21-8

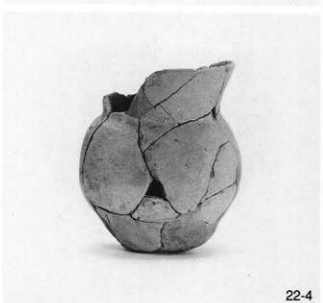
22-12

22-2

22-1

21-5

22-9


22-4

22-10

図版 14

22-7

22-3

22-8

22-6

23-9

23-13

23-10

23-3

23-14

23-11

23-12

25-2

24-8

24-9

24-10

25-1

図版 16

26-11

27-7

28-6

28-2

25-4

28-13

26-6

28-9

30-6

30-3

29-4

30-9

29-6

30-10

29-1

33-5

図版 18

33-1

33-3

33-6

33-8

33-4

33-2

33-7

34-11

34-9

34-15

34-14

34-5

34-8

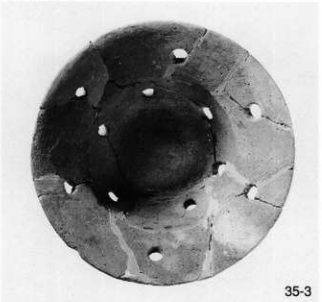
34-2

34-13

34-12

35-6

図版 20


35-3

35-1

35-3

35-2

35-10

35-5

35-12

35-9

35-4

36-8

35-11

36-17

36-5

36-4

36-16

36-9

図版 22

36-6

36-11

36-18

36-7

36-12

36-3

36-10

37-15

37-4

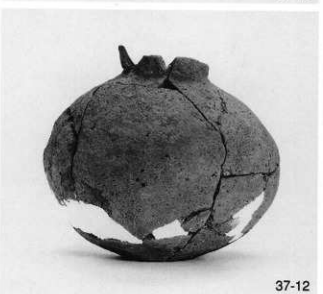
37-16

37-5

37-14

37-13

37-18


37-12

37-17

図版 24

37-8

37-11

37-1

37-2

37-10

38-12

37-3

37-19

38-6

38-15

38-1

38-9

38-10

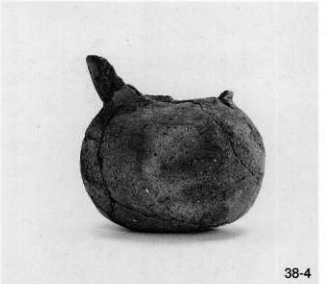
38-16

38-17

38-13

38-7

図版 26


38-4

38-18

38-3

39-35

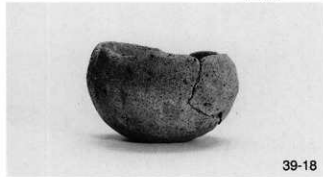
38-2

39-31

38-5

39-23

39-22


39-18

39-33

39-13

39-32

39-14

39-26

39-19

39-29

39-34

図版 28

39-27

39-3

39-36

39-4

36-24

39-6

39-21

39-9

39-2

39-11

39-8

39-10

39-7

39-17

40-8

40-7

40-2

40-4

40-1

図版 30

40-5

41-6

40-6

41-8

40-3

40-11

41-1

41-3

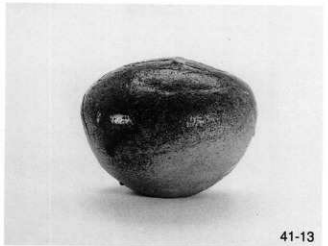
40-13

40-9

40-15

40-16

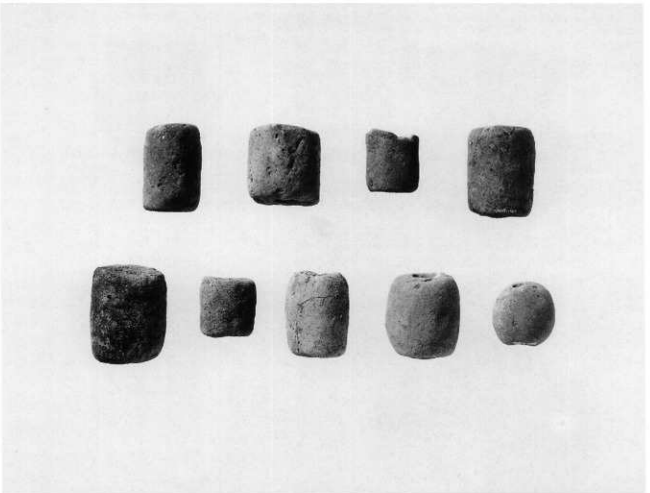
41-10

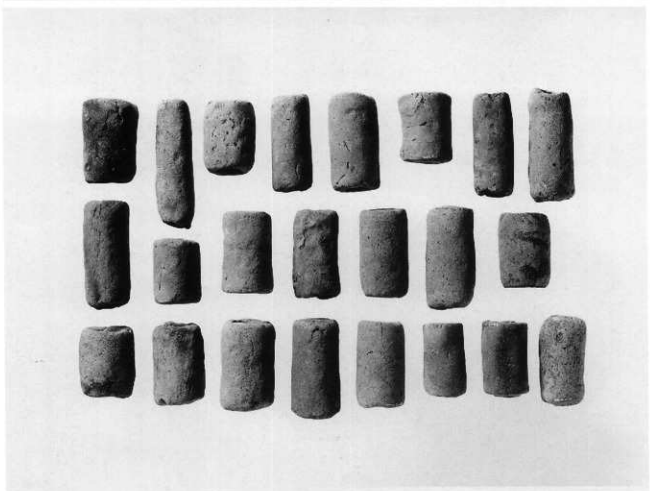

41-13

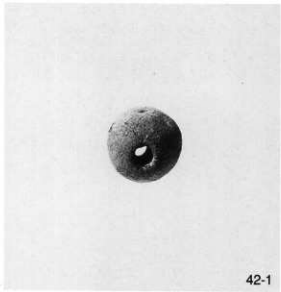
41-17

41-21

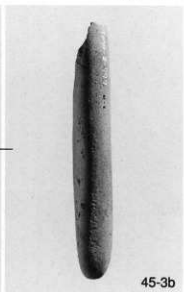
図版 32

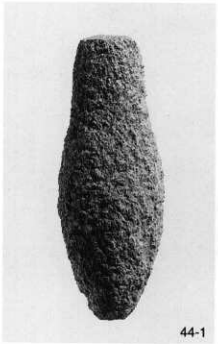




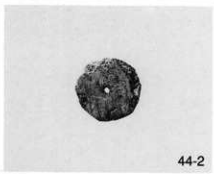

42-1

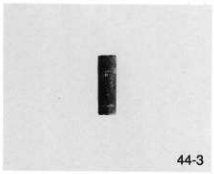
45-3a


45-3b

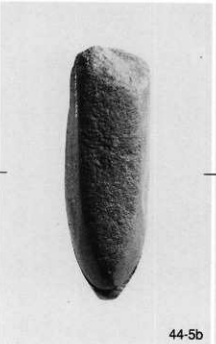

44-1

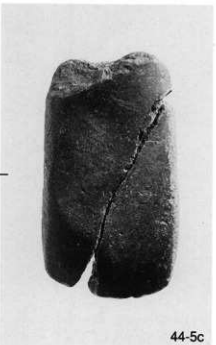
44-4


44-2


44-3

44-5a


44-5b


44-5c

図版 34

45-1a

45-1b

45-2a

45-2b

46-1a

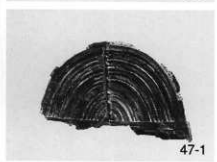
46-1b

46-2

46-5a

46-5b

46-3


47-1

46-4a

46-4b

46-4c

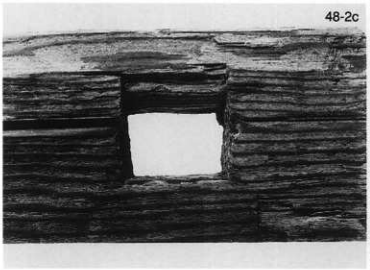
図版 36

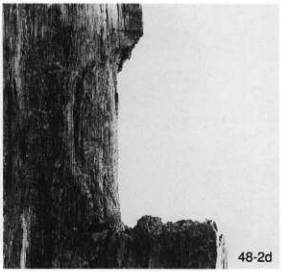
48-1a

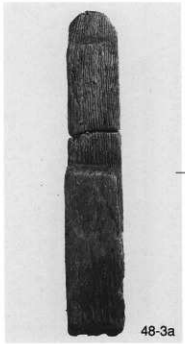
48-1b

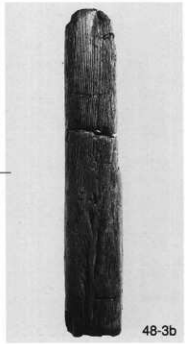
48-2a

48-2b

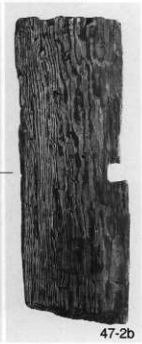

48-2c

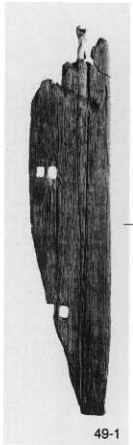

48-2d


48-3a


48-3b

47-2a


47-2b


49-1

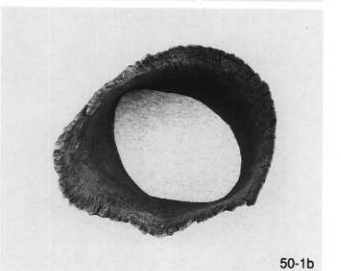
49-2a

49-2b

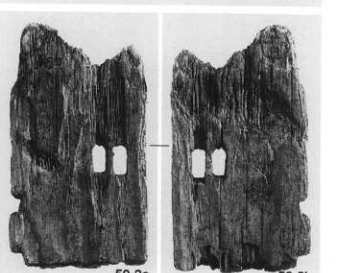
49-3

50-4

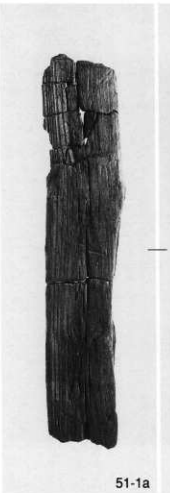
50-1a


50-1b

50-1c


50-3a 50-3b

図版 38



51-1a

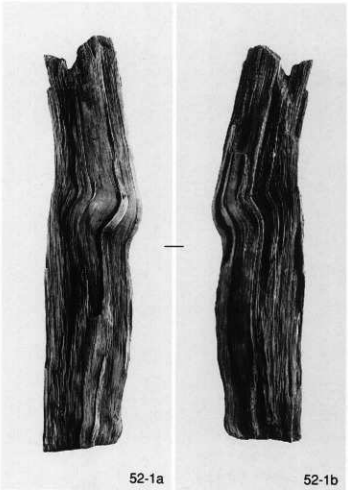
51-1b

51-2a

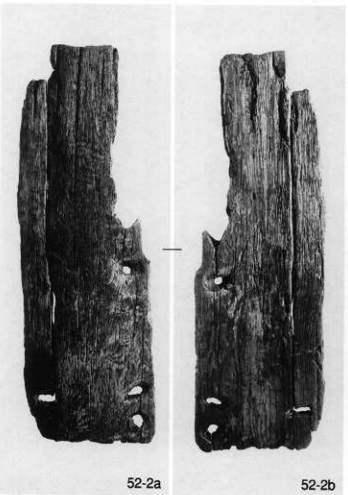
51-2b

51-3a

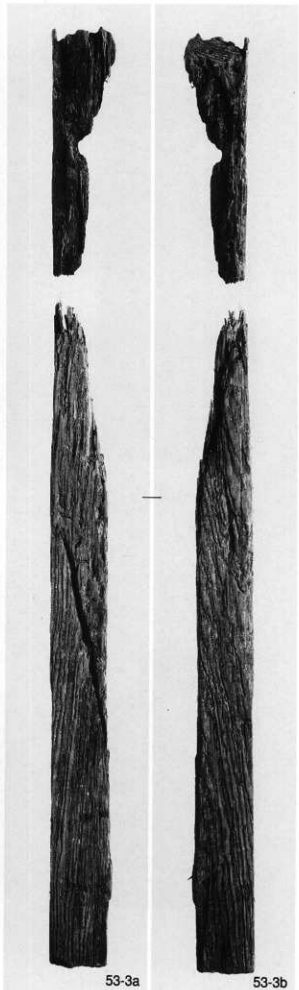
51-3b



52-1a　52-1b



52-2a　52-2b

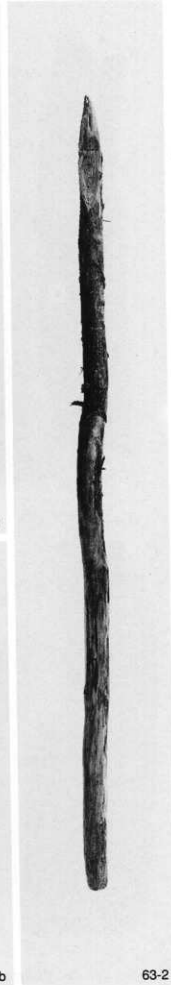


53-3a　53-3b

図版 40

53-1a

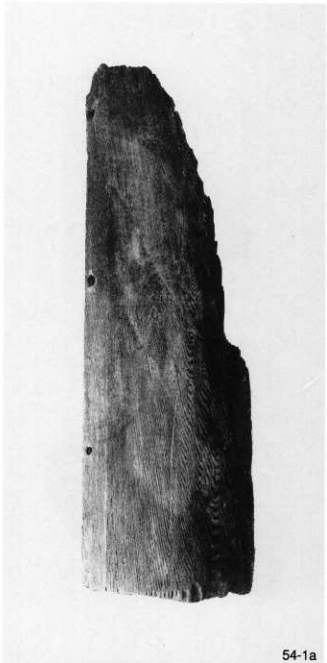
53-1b



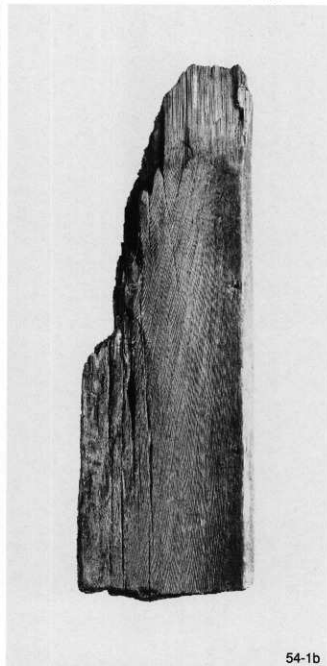
63-2

53-2a

53-2b

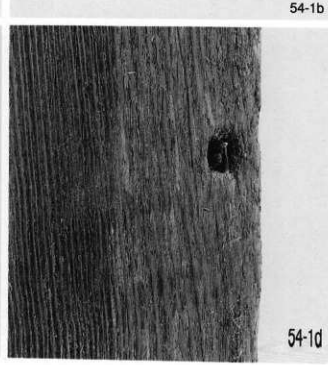


54-1a



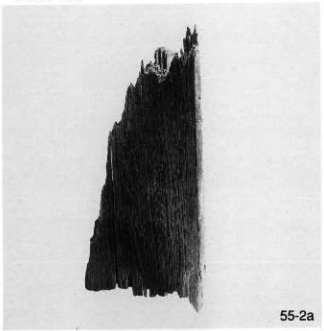
54-1b

54-1c



54-1d

図版 42

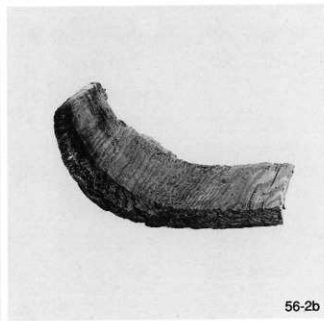

55-2a

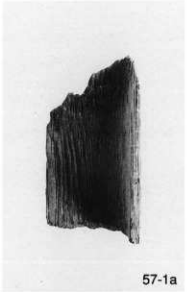
55-2b

56-1a

56-1b

56-2a


56-2b

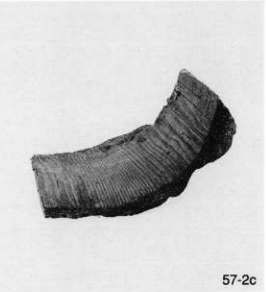

57-1a

57-1b

57-1c

57-2a

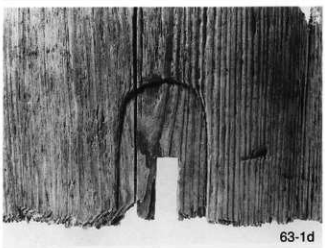
57-2b


57-2c

63-1a

63-1b

63-1c


63-1d

報告書抄録

ふりがな	もとじまいせきⅠ　いぶつ・こうさつへん２　こふんじだい
書名	元島遺跡Ⅰ　（遺物・考察編２　－古墳時代－）
副書名	太田川住宅宅地基盤特定治水施設等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所報告
シリーズ番号	第116集
編著者名	岩本　貴
編集機関	財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所
所在地	〒422-8002　静岡市谷田23－20
発行年月日	西暦　1999年３月20日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
元島遺跡（もとじまいせき）	静岡県磐田郡（しずおかけんいわたぐん） 福田町豊浜（ふくたちょうとよはま） 字一本松（あざいっぽんまつ）1634 他	22482	2	34° 41′ 05″	137° 53′ 45″	19940701 ～ 19970831	55,590	太田川住宅宅地基盤特定治水施設等整備工事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元島遺跡	集落	平安時代～ 鎌倉時代 室町時代～ 戦国時代	掘立柱建物 溝状遺構 井戸 土坑 墓	輸入陶磁器 国内産陶磁器 土製鍋類 かわらけ 貨幣 鉄製農具 木製農具 漆製品 船材 建築部材	掘立柱建物115軒 墓12基 井戸８基 土坑63基 中世集落は、クリーク条の溝で区画されていた。
			掘立柱建物 溝状遺構 土坑	山茶碗 伊勢湾 建築部材	掘立柱建物７棟 洪水によって、大部分が破壊されていた。
		弥生時代～ 古墳時代	方形区画 掘立柱建物	土師器 須恵器	方形区画に囲まれた区域を確認
			墳墓 土坑	土師器 須恵器	墳墓３基 主体部を確認
			掘立柱建物 井戸	土師器・匂玉 準構造船・丸木船	掘立柱建物28棟 井戸枠が船材の転用
			方形周溝墓	弥生土器	方形周溝墓８基

元島遺跡 Ⅰ

（遺物・考察編 2 －古墳時代－）

平成6・7・8・9・10年度太田川住宅宅地基盤特定
治水施設等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成11年3月20日

編集発行　財団法人
静岡県埋蔵文化財調査研究所
〒422-8002
静岡市谷田23－20

印刷所　株式会社 開 明 堂
〒430-0904
浜松市中沢町１－１